

令和 6 年 度

# 主 要 施 策 の 成 果 説 明 書

佐 渡 市



## 目 次

1 歳入歳出決算の概要	1
2 各会計別決算の状況	2
3 一般会計	3
(1) 歳入の状況	3
○ 財源構成	4
○ 市税の状況	5
○ 目的税等の使途に関する調書	6
(2) 歳出の状況	7
○ 目的別内訳	7
○ 性質別内訳	9
(3) 決算額の推移	11
(4) 基金現在高	12
(5) 基金残高と市債残高の推移	13
(6) 款別主要な施策の成果	14
2款 総務費	14
3款 民生費	36
4款 衛生費	57
5款 労働費	69
6款 農林水産業費	70
7款 商工費	74
8款 土木費	82
9款 消防費	94
10款 教育費	95
11款 災害復旧費	102
12款 公債費	112
(7) 原油価格・物価高騰対策に関する成果（令和6年度分）	113
(8) 原油価格・物価高騰対策に関する成果（令和5年度からの繰越分）	115
4 国民健康保険特別会計	116
5 後期高齢者医療特別会計	118
6 介護保険特別会計	119
7 小水力発電特別会計	128
8 歌代の里特別会計	129
9 すこやか両津特別会計	130

# 1 歳入歳出決算の概要

## ○令和6年度決算の状況

一般会計決算		(前年度決算)
歳入額	525億9,918万6千円	(536億6,518万6千円)
歳出額	503億8,894万9千円	(516億3,028万9千円)
特別会計決算(10会計合計)		
歳入額	163億9,867万1千円	(166億8,049万2千円)
歳出額	158億6,613万1千円	(161億4,007万9千円)
普通会計決算		
歳入額	513億2,328万円	(510億2,958万3千円)
歳出額	491億1,304万3千円	(489億9,468万6千円)

## ○令和6年度一般会計決算の特色

### 1 決算の規模が前年度を下回りました。

歳入では、脱炭素移行・再エネ推進交付金の増により国庫支出金が増額となったものの、合併特例債の発行期限の終了や借換債の発行の減により市債が減額となったことから、前年度比10億6,600万円の減となりました。

歳出では、令和6年能登半島地震により被災した施設の復旧事業により災害復旧費が増額となった一方で、本庁舎整備事業の終了により総務費が減額となったほか、借換債の発行の減により公債費が減額となったため、前年度比12億4,134万円の減となりました。

### 2 実質収支が黒字となりました。

厳しい財政環境のもと歳出のより効率的な執行に努め、実質収支は14億9,088万6千円(2ページ参照 前年度11億370万8千円)の黒字となりました。なお、前年度実質収支との差額である単年度収支はプラス3億8,717万8千円となりました。

### 3 地方債現在高が減少しました。

合併特例債の発行期限の終了による発行額の減により、一般会計における地方債現在高は478億9,681万1千円(112ページ参照)となり、前年度に比べ9億5,045万7千円減少しました。

### 4 基金現在高が減少しました。(定額運用基金を除く。)

財政調整基金や地域振興基金などの取崩しを行ったことから、基金の現在高は113億6,741万3千円(12ページ参照)となり、前年度に比べ15億8,556万2千円減少しました。

## 2 各会計別決算の状況

区 分	予 算 現 額	歳 入 決 算 額		歳 出 決 算 額		翌 年 度 繰 越 財 源	差 引 残 額
		金 額	収 入 率	金 額	執 行 率		
一 般 会 計	円 56,206,148,007	円 52,599,186,291	% 93.6	円 50,388,948,874	% 89.7	円 719,351,600	円 1,490,885,817
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	5,587,090,000	5,642,049,957	101.0	5,528,828,881	99.0	0	113,221,076
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	924,010,000	938,878,378	101.6	922,431,552	99.8	0	16,446,826
介 護 保 険 特 別 会 計	8,900,057,000	8,930,867,910	100.3	8,551,215,350	96.1	0	379,652,560
小 水 力 発 電 特 別 会 計	37,800,000	37,091,292	98.1	37,091,292	98.1	0	0
歌 代 の 里 特 別 会 計	235,357,000	232,243,715	98.7	232,243,715	98.7	0	0
す こ や か 両 津 特 別 会 計	601,063,000	608,438,821	101.2	588,800,929	98.0	2,530,000	17,107,892
五 十 里 財 産 区 特 別 会 計	188,000	879,397	467.8	133,785	71.2	0	745,612
二 宮 財 産 区 特 別 会 計	3,277,000	3,506,576	107.0	1,910,895	58.3	0	1,595,681
新 畑 野 財 産 区 特 別 会 計	3,484,000	1,317,969	37.8	1,295,929	37.2	0	22,040
真 野 財 産 区 特 別 会 計	3,268,000	3,397,008	103.9	2,178,580	66.7	0	1,218,428
合 計	72,501,742,007	68,997,857,314	95.2	66,255,079,782	91.4	721,881,600	2,020,895,932

### 3 一般会計

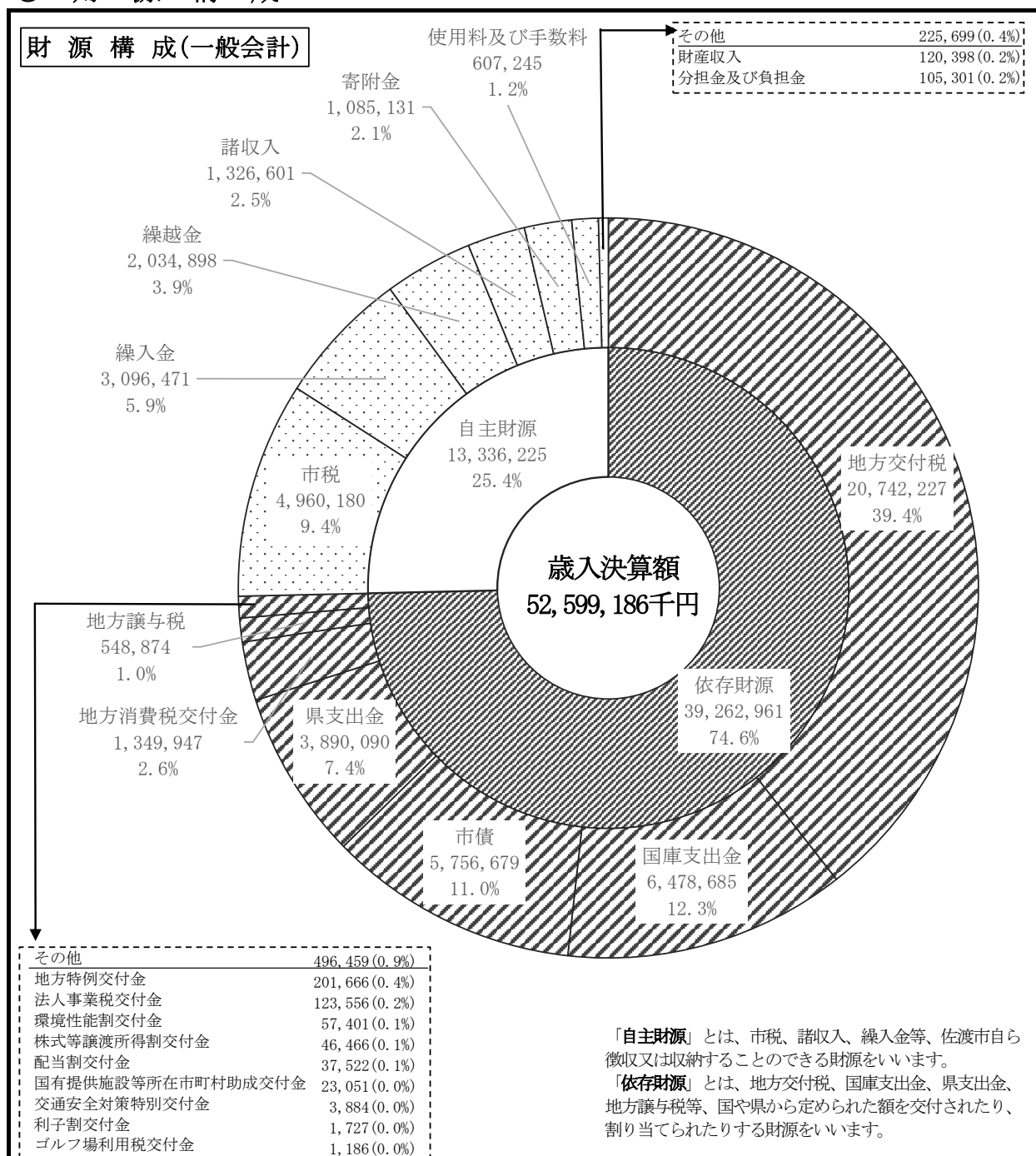
#### ( 1 ) 歳入の状況

(単位：千円、%)

項 目	令和 6 年度		令和 5 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 市 税	4,960,180	9.4	5,030,644	9.4	△ 70,464	△ 1.4
2. 地 方 譲 与 税	548,874	1.0	537,259	1.0	11,615	2.2
3. 利 子 割 交 付 金	1,727	0.0	1,117	0.0	610	54.6
4. 配 当 割 交 付 金	37,522	0.1	25,597	0.1	11,925	46.6
5. 株式等譲渡所得割交付金	46,466	0.1	27,485	0.1	18,981	69.1
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	123,556	0.2	115,472	0.2	8,084	7.0
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	1,349,947	2.6	1,307,158	2.4	42,789	3.3
8. ゴルフ場利用税交付金	1,186	0.0	1,792	0.0	△ 606	△ 33.8
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	57,401	0.1	46,028	0.1	11,373	24.7
10. 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	23,051	0.0	23,550	0.1	△ 499	△ 2.1
11. 地 方 特 例 交 付 金	201,666	0.4	20,418	0.0	181,248	887.7
12. 地 方 交 付 税	20,742,227	39.4	20,533,284	38.3	208,943	1.0
13. 交通安全対策特別交付金	3,884	0.0	3,889	0.0	△ 5	△ 0.1
14. 分 担 金 及 び 負 担 金	105,301	0.2	103,654	0.2	1,647	1.6
15. 使 用 料 及 び 手 数 料	607,245	1.2	601,692	1.1	5,553	0.9
16. 国 庫 支 出 金	6,478,685	12.3	5,117,076	9.5	1,361,609	26.6
17. 県 支 出 金	3,890,090	7.4	3,772,198	7.0	117,892	3.1
18. 財 産 収 入	120,398	0.2	128,912	0.2	△ 8,514	△ 6.6
19. 寄 附 金	1,085,131	2.1	665,726	1.2	419,405	63.0
20. 繰 入 金	3,096,471	5.9	3,565,808	6.7	△ 469,337	△ 13.2
21. 繰 越 金	2,034,898	3.9	2,044,692	3.8	△ 9,794	△ 0.5
22. 諸 収 入	1,326,601	2.5	1,072,952	2.0	253,649	23.6
23. 市 債	5,756,679	11.0	8,918,783	16.6	△ 3,162,104	△ 35.5
歳 入 合 計	52,599,186	100.0	53,665,186	100.0	△ 1,066,000	△ 2.0

## ○ 財 源 構 成

(単位：千円、%)



### ◆国庫支出金（前年度比 13億6,160万9千円の増）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が5億5,940万2千円の減額となった一方で、ゼロカーボンアイランド推進事業に係る脱炭素移行・再エネ推進交付金の10億4,434万4千円の増額、廃棄物処理施設災害復旧事業補助金の4億8,400万円の増額、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の1億6,829万5千円の増額により、国庫支出金は増となりました。

### ◆寄附金（前年度比 4億1,940万5千円の増）

佐渡ふるさと島づくり寄附金が4億6,742万3千円増額したことにより、寄附金は増となりました。

### ◆繰入金（前年度比 4億6,933万7千円の減）

減債基金繰入金が 5,864万7千円の増額、世界遺産推進基金繰入金が4,864万3千円の増額となった一方で、財政調整基金繰入金が6億3,041万円の減額となったことにより、繰入金は減となりました。

### ◆市債（前年度比 31億6,210万4千円の減）

合併特例債の発行期限が終了したことなどにより市債は減となりました。

## ○ 市 税 の 状 況

税 目	令和 6 年度			令和 5 年度			比 較	
	調定額 (千円)	収入額 (千円)	徴収率 (%)	調定額 (千円)	収入額 (千円)	徴収率 (%)	収入額	
							増減額 (千円)	増減率 (%)
1. 市 民 税	1, 925, 821	1, 893, 819	98. 3	1, 990, 237	1, 957, 965	98. 4	△ 64, 146	△ 3. 3
個 人	1, 637, 976	1, 614, 470	98. 6	1, 757, 241	1, 728, 622	98. 4	△ 114, 152	△ 6. 6
法 人	287, 845	279, 349	97. 0	232, 996	229, 343	98. 4	50, 006	21. 8
2. 固 定 資 産 税	2, 807, 481	2, 388, 396	85. 1	2, 820, 943	2, 385, 885	84. 6	2, 511	0. 1
固 定 資 産 税	2, 793, 754	2, 374, 669	85. 0	2, 807, 220	2, 372, 162	84. 5	2, 507	0. 1
国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	13, 727	13, 727	100. 0	13, 723	13, 723	100. 0	4	0. 0
3. 軽 自 動 車 税	312, 386	299, 894	96. 0	311, 357	298, 163	95. 8	1, 731	0. 6
4. 市 た ば こ 税	354, 298	354, 298	100. 0	364, 656	364, 656	100. 0	△ 10, 358	△ 2. 8
5. 入 湯 税	23, 984	23, 773	99. 1	24, 186	23, 975	99. 1	△ 202	△ 0. 8
合 計	5, 423, 970	4, 960, 180	91. 4	5, 511, 379	5, 030, 644	91. 3	△ 70, 464	△ 1. 4



## ○ 目的税等の使途に関する調書

市税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税しているものを目的税といいます。入湯税は、観光振興、消防施設などの整備や環境衛生施設に要する経費に充てるため、入湯客に課税しています。

また、平成26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分については、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています（平成26年1月24日付け総務省通知）。森林環境譲与税は森林整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の使用促進等に要する経費に充てるものとされています（平成31年法律第3号 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律）。

### 1 入湯税

決算額23,773千円

(単位：千円)

経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
観光振興	381,112	155,680	51,200	62,981	111,251	19,973
消防施設	123,396	9,221	69,900	423	43,852	3,364
環境衛生施設	15,568	7,773	0	0	7,795	436
合 計	520,076	172,674	121,100	63,404	162,898	23,773

### 2 地方消費税交付金

決算額1,349,947千円のうち社会保障財源分748,995千円

(単位：千円)

経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
社会福祉	3,218,583	2,127,342	13,000	63,678	1,014,563	252,587
社会保険（国保・介護等）	1,756,689	258,575	0	438	1,497,676	372,863
保健衛生	582,775	3,902	0	11,196	567,677	123,545
合 計	5,558,047	2,389,819	13,000	75,312	3,079,916	748,995

### 3 森林環境譲与税

決算額56,814千円

(単位：千円)

経費区分	決算額	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国・県支出金	市債	その他		うち充当額
私有林整備	26,771	7,091	0	0	19,680	17,793
林道・林専道の整備等	34,446	0	0	0	34,446	20,744
林業就業者の育成	3,354	0	0	0	3,354	3,354
木造公共建築物の整備等	5,483	0	0	0	5,483	5,483
担い手確保	5,749	0	0	0	5,749	5,749
その他（専門員の雇用）	3,691	0	0	0	3,691	3,691
合 計	79,494	7,091	0	0	72,403	56,814

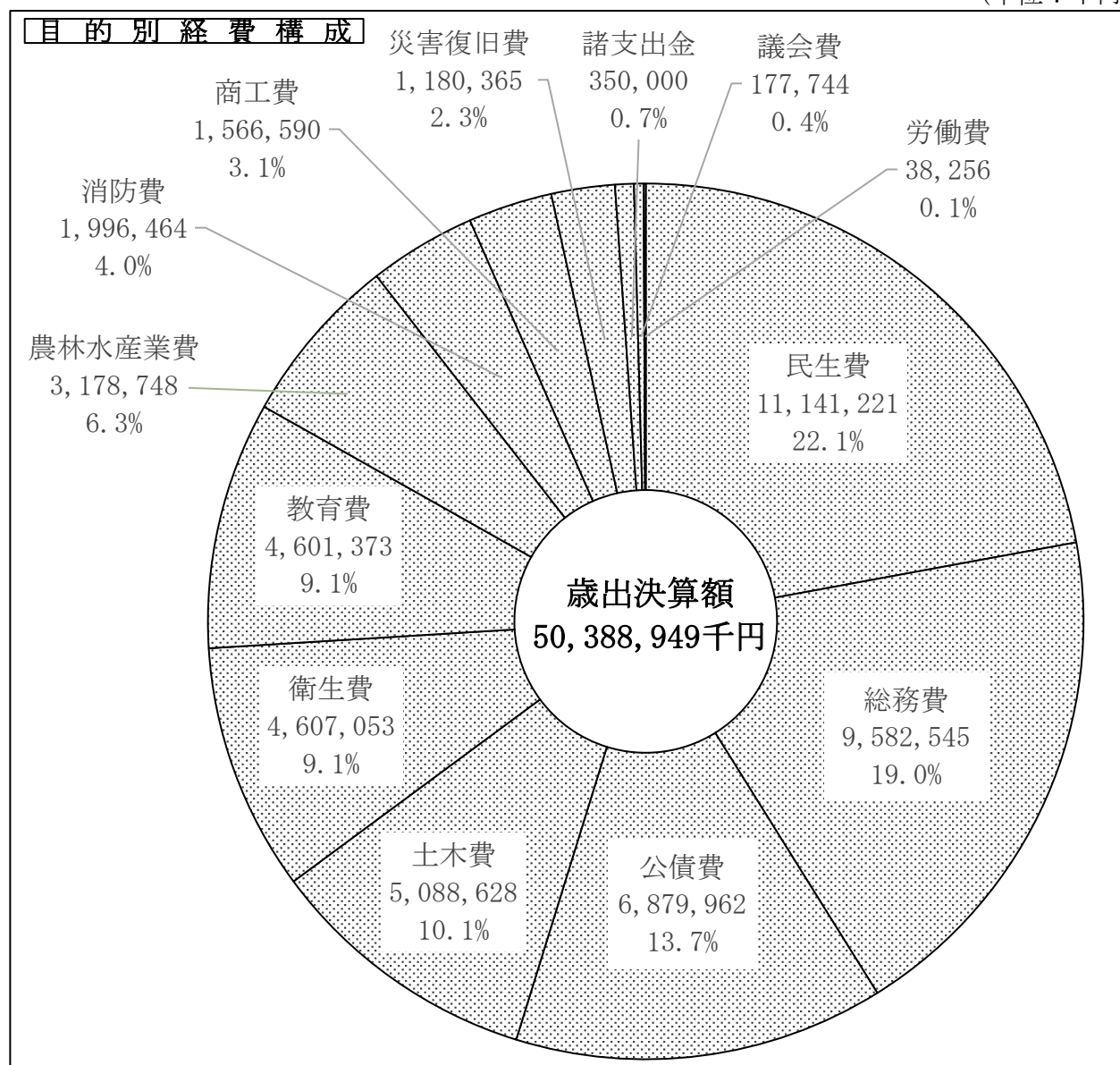
( 2 ) 歳出の状況

○ 目的別内訳

(単位：千円、%)

項 目	令和 6 年度		令和 5 年度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 議 会 費	177,744	0.4	177,043	0.3	701	0.4
2. 総 務 費	9,582,545	19.0	10,304,194	20.0	△ 721,649	△ 7.0
3. 民 生 費	11,141,221	22.1	10,815,909	20.9	325,312	3.0
4. 衛 生 費	4,607,053	9.1	4,706,338	9.1	△ 99,285	△ 2.1
5. 労 働 費	38,256	0.1	28,836	0.1	9,420	32.7
6. 農 林 水 産 業 費	3,178,748	6.3	3,195,925	6.2	△ 17,177	△ 0.5
7. 商 工 費	1,566,590	3.1	1,836,968	3.6	△ 270,378	△ 14.7
8. 土 木 費	5,088,628	10.1	4,929,425	9.5	159,203	3.2
9. 消 防 費	1,996,464	4.0	2,505,863	4.9	△ 509,399	△ 20.3
10. 教 育 費	4,601,373	9.1	4,482,149	8.7	119,224	2.7
11. 災 害 復 旧 費	1,180,365	2.3	362,528	0.7	817,837	225.6
12. 公 債 費	6,879,962	13.7	8,285,111	16.0	△ 1,405,149	△ 17.0
13. 諸 支 出 金	350,000	0.7	0	0.0	350,000	-
歳 出 合 計	50,388,949	100.0	51,630,289	100.0	△ 1,241,340	△ 2.4

(単位：千円)



◆総務費（前年度比 7億2,164万9千円の減）

ゼロカーボンアイランド推進事業（繰越分）が10億4,434万4千円の増額、定額減税補足給付金事業が3億9,593万5千円の増額、佐渡ふるさと島づくり寄附金事業が2億2,008万2千円の増額となった一方で、本庁舎整備事業の終了により庁舎整備費（継続費及び繰越分）が25億4,731万4千円の減額となったことにより、総務費は減となりました。

◆消防費（前年度比 5億939万9千円の減）

相川消防署高千出張所建設事業の終了による3億3,955万8千円の減額や消防防災施設・設備整備費（繰越分）が1億4,665万2千円の減額となったことにより、消防費は減となりました。

◆災害復旧費（前年度比 8億1,783万7千円の増）

令和6年能登半島地震により被災した施設の復旧事業により、災害復旧費は増となりました。

◆公債費（前年度比 14億514万9千円の減）

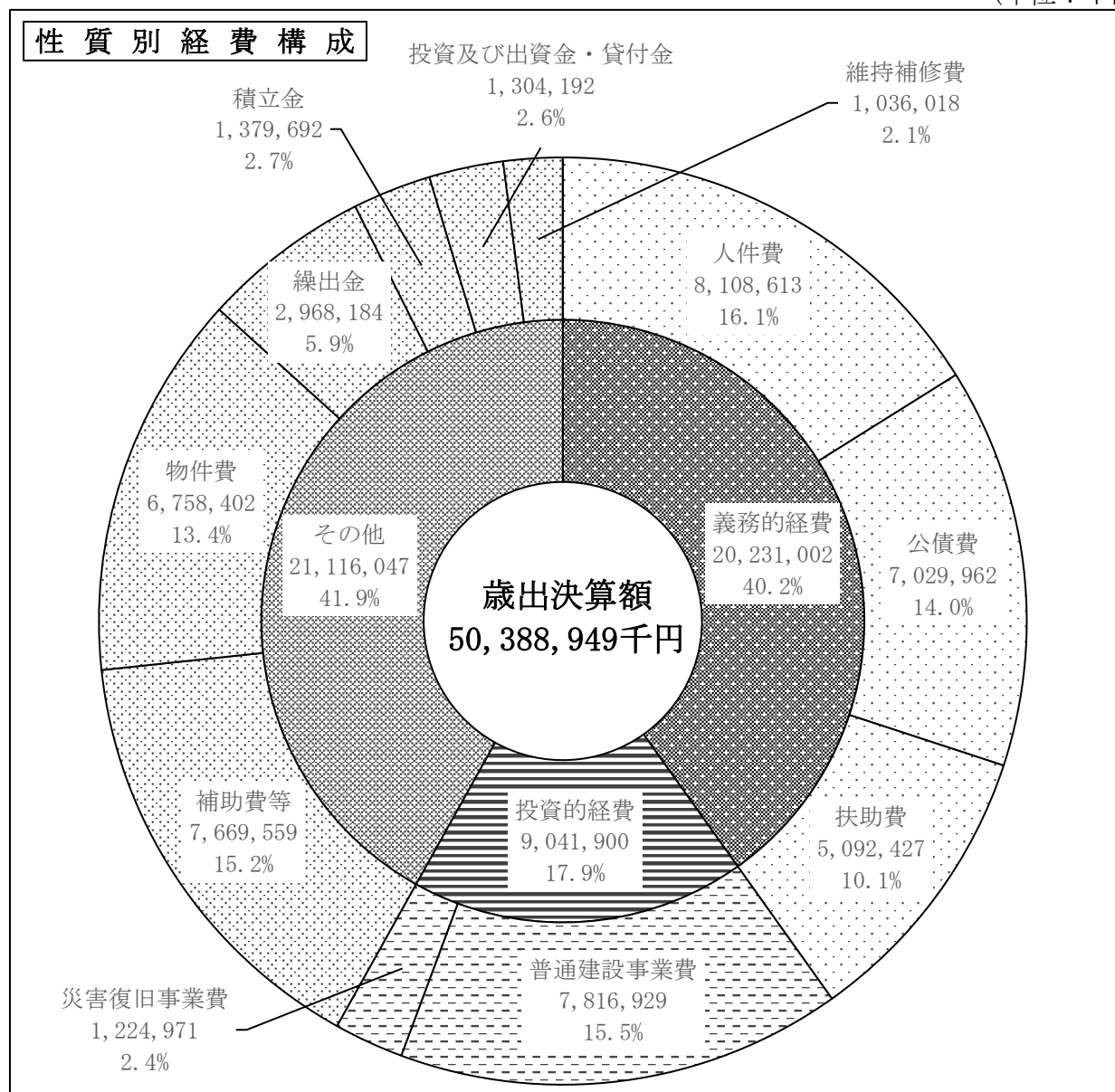
借換債の発行の減により、公債費は減となりました。

# ○ 性 質 別 内 訳

(単位：千円、%)

項 目	令 和 6 年 度		令 和 5 年 度		比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 人 件 費	8,108,613	16.1	7,890,206	15.3	218,407	2.8
2. 物 件 費	6,758,402	13.4	6,464,174	12.5	294,228	4.6
3. 維 持 補 修 費	1,036,018	2.1	851,695	1.6	184,323	21.6
4. 扶 助 費	5,092,427	10.1	5,108,214	9.9	△ 15,787	△ 0.3
5. 補 助 費 等	7,669,559	15.2	8,112,231	15.7	△ 442,672	△ 5.5
6. 公 債 費	7,029,962	14.0	8,435,111	16.3	△ 1,405,149	△ 16.7
7. 投資及び出資金・貸付金	1,304,192	2.6	1,037,194	2.0	266,998	25.7
8. 繰 出 金	2,968,184	5.9	2,994,722	5.8	△ 26,538	△ 0.9
9. 積 立 金	1,379,692	2.7	1,361,419	2.7	18,273	1.3
10. 普 通 建 設 事 業 費	7,816,929	15.5	9,012,795	17.5	△ 1,195,866	△ 13.3
11. 災 害 復 旧 事 業 費	1,224,971	2.4	362,528	0.7	862,443	237.9
12. 失 業 対 策 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	—
13. 前 年 度 繰 上 充 用 金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計	50,388,949	100.0	51,630,289	100.0	△ 1,241,340	△ 2.4

(単位：千円)



- ◆義務的経費…人件費、公債費、扶助費 (前年度比 12億252万9千円の減)  
・歳出のうち、その支出が義務付けられており、任意に削減することができない経費。

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業等の減額により扶助費が減額となったほか、借換債の発行の減により公債費が減額となったため、義務的経費は減となりました。

- ◆投資的経費…普通建設事業費、災害復旧事業費 (前年度比 3億3,342万3千円の減)  
・歳出のうち、公共施設や道路など社会資本の形成のために支出された経費。

令和6年能登半島地震により被災した施設の復旧事業により災害復旧事業費が増額となった一方で、本庁舎整備事業や相川消防署高千出張所建設事業の終了により普通建設事業費が減額となったため、投資的経費は減となりました。

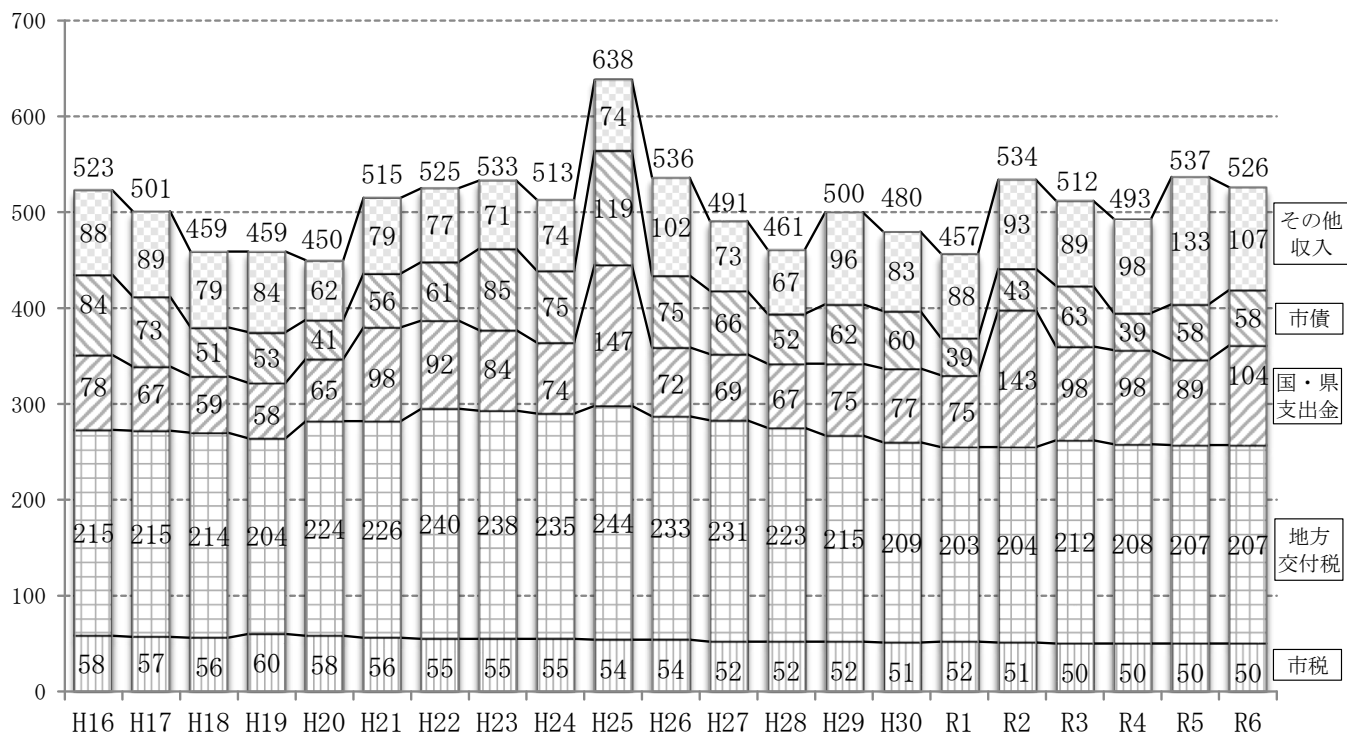
- ◆その他経費…補助費等、物件費、繰出金、積立金、投資及び出資金・貸付金、維持補修費  
・義務的経費及び投資的経費以外の経費。 (前年度比 2億9,461万円2千円の増)

佐渡ふるさと島づくり寄附金事業に係る返礼品業務委託料や佐渡クリーンセンター等の長期包括運営管理業務委託料の増額により物件費が増額となったほか、病院事業会計に対する公営企業短期貸付金の増額による投資及び出資金・貸付金の増額、道路除雪費の増額による維持補修費の増額により、その他経費は増となりました。

### ( 3 ) 決算額の推移

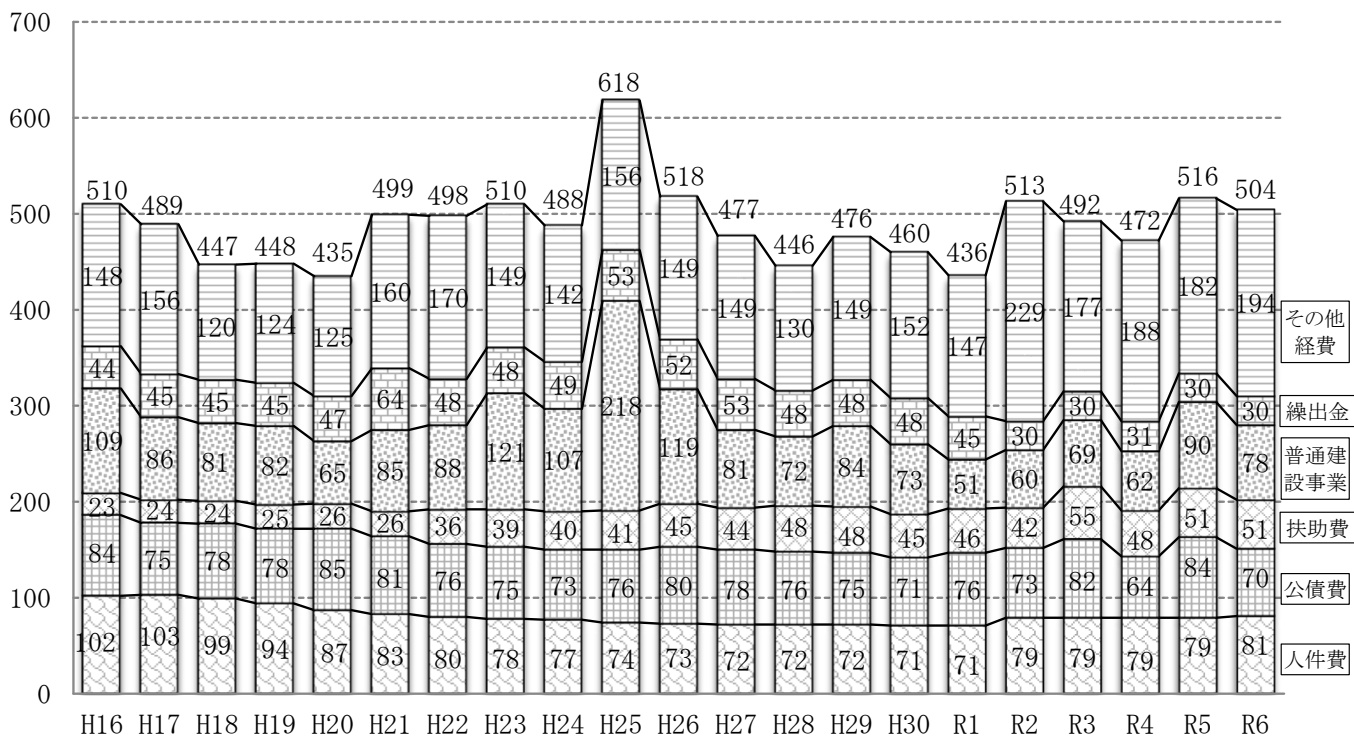
歳 入

単位：億円



歳 出

単位：億円



## ( 4 ) 基金現在高

### 1. 一般会計

(単位：千円、%)

区分	令和5年度 末 残 高	令和6年度中の増減		令和6年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
財政調整基金	3,418,902	561,768	1,606,141	2,374,529	△ 1,044,373	△ 30.5
減債基金	1,189,399	144,671	271,479	1,062,591	△ 126,808	△ 10.7
行政庁舎建設基金	421,516	181	0	421,697	181	0.0
地域福祉基金	77,979	13,317	9,900	81,396	3,417	4.4
トキ環境整備基金	144,972	100,049	68,711	176,310	31,338	21.6
国営・県営総合土地改良事業基金	327,676	140	491	327,325	△ 351	△ 0.1
産業振興基金	110,357	48	22,370	88,035	△ 22,322	△ 20.2
教育文化振興基金	137,896	76,158	77,600	136,454	△ 1,442	△ 1.0
地域振興基金	5,118,355	39,104	395,700	4,761,759	△ 356,596	△ 7.0
堀口基金	148,683	10,900	8,947	150,636	1,953	1.3
過疎地域持続的発展特別事業基金	1,225,466	202,665	336,800	1,091,331	△ 134,135	△ 10.9
世界遺産推進基金	304,854	141,476	78,643	367,687	62,833	20.6
子ども未来応援基金	100,306	89,054	32,923	156,437	56,131	56.0
地域医療基金	224,791	49	53,724	171,116	△ 53,675	△ 23.9
企業版ふるさと納税基金	1,823	110	1,823	110	△ 1,713	△ 94.0
計	12,952,975	1,379,690	2,965,252	11,367,413	△ 1,585,562	△ 12.2

### (定額運用基金)

(単位：千円、%)

区分	令和5年度 末 残 高	令和6年度中の増減		令和6年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
土地開発基金	1,004,796	257	0	1,005,053	257	0.0
計	1,004,796	257	0	1,005,053	257	0.0

### 2. 特別会計

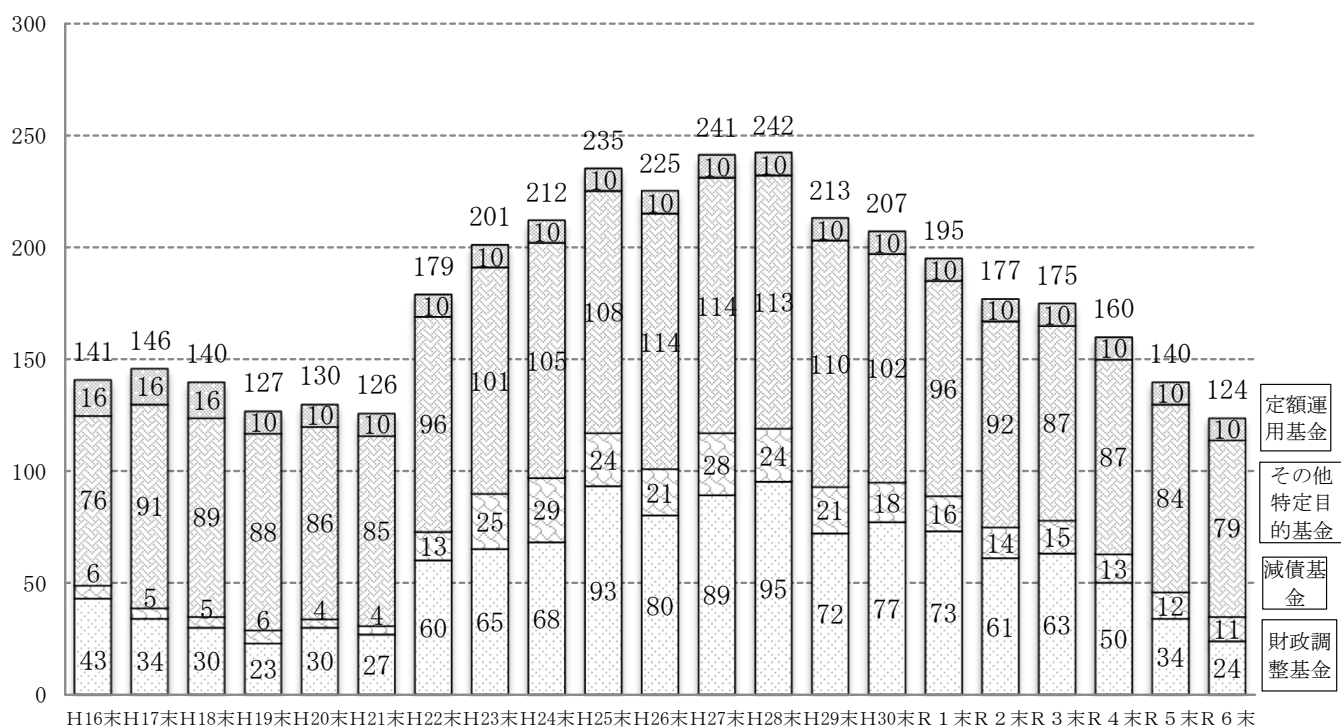
(単位：千円、%)

区分	令和5年度 末 残 高	令和6年度中の増減		令和6年度 末 残 高	比較	
		積立額	取崩額		増減額	増減率
国民健康保険事業財政調整基金	46,899	21	0	46,920	21	0.0
介護給付費準備基金	593,151	26,826	0	619,977	26,826	4.5
特別養護老人ホーム歌代の里運営基金	6	0	6	0	△ 6	皆減
五十里財産区財政調整基金	15,315	1	0	15,316	1	0.0
二宮財産区財政調整基金	13,641	3	0	13,644	3	0.0
真野財産区基金	2,658	0	0	2,658	0	0.0
小水力発電所運営事業基金	57,652	8,247	0	65,899	8,247	14.3
計	729,322	35,098	6	764,414	35,092	4.8

## ( 5 ) 基金残高と市債残高の推移

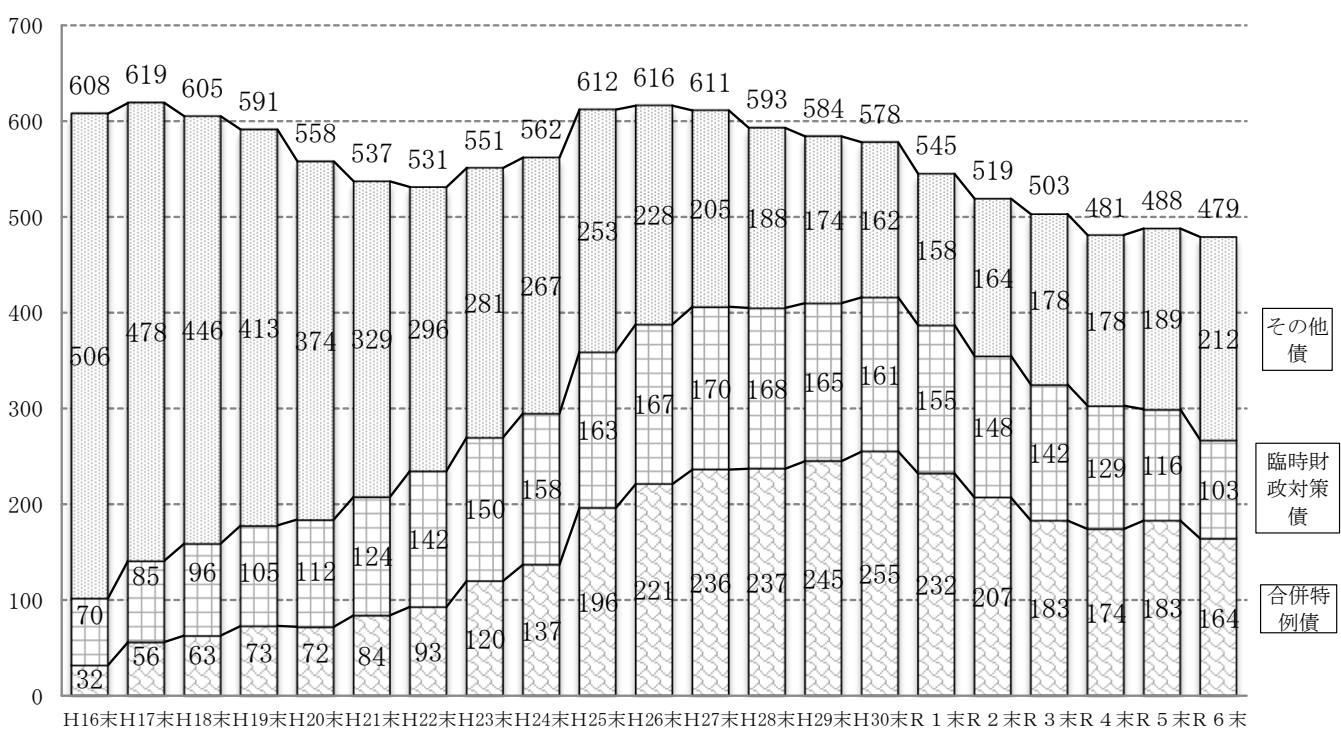
### 基金残高

単位：億円



### 市債残高

単位：億円





## (6) 款別主要な施策の成果

### 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 1目 一般管理費	外部人材活用 事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		32,564,000円	45,884,000円	△13,320,000円	P78
		<b>目的</b> おもてなし、デジタル、企業支援、プロモーション分野に関する民間外部人材を活用し、プロフェッショナルの視点から佐渡市の課題解決を図るとともに、市職員の人材育成を図る。			
		<b>取組内容・実績</b> ・おもてなし向上事業委託料（日本航空）2,594,000円 ・デジタル人材派遣負担金（富士通 1人、富士通Japan 1人）19,800,000円 ・企業支援人材派遣負担金（第四北越銀行 1人、6月末まで）1,650,000円 ・プロモーション人材派遣負担金（サントリー 1人）8,520,000円			
		<b>成果</b> 外部人材を活用することで、佐渡市全体のデジタル化の推進と、おもてなしの向上を図るとともに、ふるさと納税を大幅に増額することができた。また、外部人材と業務を進めていく中で、市職員の人材育成や組織風土の変革につながった。			
1項 総務管理費 2目 文書広報費	シティプロ モーション推 進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		1,386,310円	(新規)	—	P80
		<b>目的</b> 市公式LINEを最大限活用して、市民のみならず観光客にとっても欲しい情報を届けられ、便利なツールになるよう工夫し、登録者の増加を図る。また、SNSを通じて佐渡の魅力を国内外に広く発信してもらう仕掛けをつくり、市のイメージ、認知度向上を図るとともに、交流人口の拡大につなげる。			
		<b>取組内容・実績</b> <b>1 LINEキャンペーン</b> 情報発信の基盤づくりとして、市公式LINEの新規登録・受信設定者を増やすため、抽選で佐渡産品が当たるキャンペーンを3回実施した。 新規登録者：1,939人増加、受信設定者：2,218人増加 <b>2 Instagramフォトコンテスト</b> 市公式Instagramフォローと共通ハッシュタグをつけた応募を条件にしたフォトコンテストを実施した。 応募（投稿）作品数：1,601件、市公式Instagramフォロワー数：943人増加 <b>3 職員広報研修</b> 情報発信力の土台づくりを目的に情報発信の質と量を高めるため、職員の意識付けを行う研修を4回実施した。 延べ参加人数：98人			
		<b>成果</b> キャンペーン等を行うことで新規登録者等が増加し、市の情報を多くの方に発信することにつながった。また、広報研修を実施することで、職員による情報発信の質と量を高め、受け手に伝わるより良い情報発信ができるよう意識向上が図られた。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 6目 庁舎建設費	庁舎整備費	23,589,016円	(新規)	—	P82
		<p>目的</p> <p>新庁舎整備計画に伴い、老朽化した旧第2庁舎を解体し、市民・職員の駐車場整備を行い、利便性の向上を図る。併せて、駐車場スペースを活用した創エネルギー(自らエネルギーを創る)事業などを効率的に実施するべく設計計画に組み込み、災害時の対策及び再生可能エネルギー(自然由来の枯渇しないエネルギー)を活用した「ZEB」庁舎として脱炭素に寄与する。</p> <p>※ZEBには、下記ランクが定義されており、現在の本庁舎は①「ZEB Ready」である。</p> <p>①「ZEB Ready」：電力などのエネルギー消費量50%以下に削減</p> <p>②「Nearly ZEB」：電力などのエネルギー消費量50%以下の削減と併せ、創エネルギー(太陽光など)により更に25%以下に削減</p> <p>③「ZEB」：電力などのエネルギー消費量50%以下の削減と併せ、創エネルギー(太陽光など)により、更に0%以下に削減</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>(1)業務期間 着工／令和6年5月29日 竣工／令和7年3月14日</p> <p>(2)事業概要</p> <p>○旧第2庁舎解体工事設計業務委託 4,464,900円</p> <p>・構造：木造＋鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺き 平屋建て</p> <p>・規模：延床面積 1,008㎡</p> <p>○旧第2庁舎解体工事に伴う家屋調査業務委託 1,848,000円</p> <p>・木造建物 3棟</p> <p>○佐渡市駐車場整備工事設計業務委託 16,995,000円</p> <p>・カーポート新築 3棟(延床面積 600㎡)</p> <p>・車庫棟改修 1.0式</p>			
		<p>成果</p> <p>旧第2庁舎解体工事の設計が完了し、その後の撤去工事が円滑に進行している。また、駐車場整備工事の設計完了により、駐車場スペースを活用した創エネ事業を効率的に実施する準備が整った。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 7目 企画費	男女共同参画 推進事業	2, 154, 190円	277, 040円	1, 877, 150円	P84
		<p>目的</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けて、男女平等意識の向上と多様な性への理解を深め、誰もが尊重され認め合える地域社会の構築を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 第4次佐渡市男女共同参画計画策定</p> <p>市民及び事業所を対象に、男女共同参画に関する意識・事業所調査を実施し、得られた結果をもとに外部委員との懇談会を年4回開催し、懇談会での意見やパブリックコメントを踏まえ、第4次佐渡市男女共同参画計画の策定を行った。</p> <p>市民意識調査（令和6年8月実施、有効回答率36.5%）</p> <p>事業所調査（令和6年8月実施、有効回答率43.0%）</p> <p>懇談会（年4回開催）</p> <p>パブリックコメント（令和7年2月実施）</p> <p>実績額 男女共同参画計画策定業務委託料 1, 463, 000円</p> <p>2 各種セミナーの実施</p> <p>(1) 男女平等意識啓発セミナーの開催</p> <p>日時・場所 令和6年11月3日 あいぽーと佐渡</p> <p>テーマ 「みんなで子育てせんかっちゃ！～子育て今昔物語～」</p> <p>参加者数 19名（前年度19名）</p> <p>実績額 講師謝礼 100, 000円</p> <p>(2) 多様な性に関する理解促進セミナーの開催</p> <p>日時・場所 令和6年11月30日 あいぽーと佐渡</p> <p>テーマ 「Ally（アライ）とは？～共に生きる社会を作るために～」</p> <p>参加者数 15名（前年度51名）</p> <p>実績額 講師謝礼 127, 020円</p>			
		<p>成果</p> <p>調査を通じて市民及び事業所の現状や課題を把握できたことにより、実効性のある計画策定につながった。</p> <p>セミナー実施後の参加者アンケートでは、どちらも100%の割合で参加者の満足度が非常に高い結果となり、家庭や職場における固定的性別役割分担意識の解消と、多様な性への理解を深めることにつながった。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 7目 企画費	佐渡ふるさと 島づくり寄附 金事業	509,898,630円	289,816,303円	220,082,327円	P86
		<p>目的</p> <p>本市の重点施策に係る事業の財源を確保するとともに、返礼品に佐渡産品等を用いることで、佐渡産品のブランド力向上と地域経済の活性化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録が決定したことで佐渡が注目される中、Webやイベントなどによる効果的な情報発信を実施した。また、全国的な米の需要の高まりへの対応や、果物等の新規返礼品、先行予約を実施することで寄附者に選んでもらえるラインナップを充実させたほか、SNS等による佐渡ファンを増やすことで、寄附の増額に向けた取組を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附金額：実績1,013,181,688円（前年度538,216,039円）</li> <li>・寄附件数：実績50,193件（前年度25,447件）</li> <li>・返礼品掲載数：1,400品（前年度1,121品）</li> </ul> <p>※石川県豪雨に係る代理寄附（石川県珠洲市）211件 4,664,000円は除く。</p>			
		<p>成果</p> <p>寄附金額と必要経費の差引は507,947,058円となり、本市の財源を確保したほか、産業の活性化に寄与した。</p>			
	交通対策事業	408,407,464円	418,364,648円	△9,957,184円	P86
		<p>目的</p> <p>持続可能な公共交通を確保・維持するため、市内を運行する路線を維持確保するとともに、路線バス減便地域において市営コミュニティバスを運行し市民の移動を支援する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 運行費補助金（補助対象14路線31系統） 251,549,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止代替路線：13路線30系統 247,431,000円</li> <li>利用者数 209,310人（前年度204,934人）</li> <li>・幹線：1路線1系統 4,118,000円</li> <li>利用者数 191,708人（前年度177,676人）</li> </ul> <p>2 市営コミュニティバス運行 6,883,875円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行地区：6地区</li> <li>・運行便数：698便</li> </ul> <p>3 小木直江津航路運営費等補助金 146,660,000円（継続）</p> <p>佐渡航路の安定確保のため、小木直江津航路「こがね丸」導入に伴う行政支援を行った。</p>			
		<p>成果</p> <p>生活交通の維持と利用促進を図りつつ、市民の移動の足として寄与できた。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 7目 企画費	新モビリティサービス推進事業	162, 991, 225円	121, 486, 990円	41, 504, 235円	P88
		<p>目的</p> <p>EV車による自動運転技術の導入やタクシー不足などの交通課題を解決するため、次世代モビリティサービスの社会実装を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 自動運転実証調査業務委託 99, 998, 000円</p> <p>自動運転EV車の実装に向け、昨年度の実証調査で手動走行を余儀なくされた狭隘道路や路上駐車回避、トンネル内において自動運転できるよう実証調査を実施</p> <p>(1) 運行ルート：「きらりうむ佐渡」～「岩谷口」（約36km） 「きらりうむ佐渡」～「尖閣湾揚島遊園」（約8km）</p> <p>(2) 運行期間：令和6年11月10日から令和6年11月24日まで（うち11日間）</p> <p>(3) 実証調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転レベル2での走行（非常時対応として運転手と保安員が乗車）</li> <li>・自動運転率の調査</li> </ul> <p>(4) 実証調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チューニング精度を高めた結果、自動運転率が昨年度よりも10%向上し80%を達成</li> </ul> <p>2 走行空間実証実験業務委託 55, 830, 000円</p> <p>トンネルの内壁に設置した特殊塗装シートを車両が認識し自己位置を把握することで、支障なく自動運転走行が可能かを検証した。</p> <p>(1) 対象となるトンネル：鹿の浦トンネル（270m）、南片辺トンネル（1, 911m）、大倉トンネル（422m）、禿の高隧道（427m）</p> <p>(2) 走行空間実証実験：令和6年9月16日から令和6年9月30日まで</p> <p>(3) 実証実験内容：各トンネルにおける自己位置把握</p> <p>(4) 実証実験結果：4つのトンネルで98%の確率で自己位置を把握</p> <p>3 自家用有償旅客運送実証調査業務委託 3, 587, 225円</p> <p>自治体版ライドシェア（佐渡版ライドシェア）の実証調査事業を行い、タクシーが不足する地域、時期及び時間帯並びにそれぞれの不足車両数を定量的に把握し、観光二次交通及び市民の足として新しい移動手段の構築を図った。</p> <p>(1) 運行期間：令和6年7月26日から令和6年9月1日まで</p> <p>(2) 運行時間：7時から22時</p> <p>(3) 実証調査内容：タクシーが不足する地域、時期及び時間帯並びにそれぞれの不足車両数を定量的に把握</p> <p>(4) 実証調査結果：注文数208件、配車台数104件 配車率50%</p>			
		<p>成果</p> <p>自動運転については、自動運転率の向上やトンネル内での自動走行などレベル4（運転操作がシステムによって自動化される）の実装に向け貴重なデータを取得できた。また、自家用有償旅客運送（佐渡版ライドシェア）については、タクシー不足の詳細なデータを取得しつつ、効率的にドライバーを配置し観光二次交通に寄与できた。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 7目 企画費	ゼロカーボン アイランド推 進事業	44,287,482円	50,828,706円	△6,541,224円	P88
		目的 2050年ゼロカーボンアイランドの実現に向けて、再生可能エネルギーを活用した持続可能な島づくりを推進する。			
		取組内容・実績 1 脱炭素先行事業支援業務委託 環境省に選定された脱炭素先行地域づくり事業を円滑に実施するため、専門的な知見をもとにした会議の運営、各種資料の作成支援等を委託した。 (1)業務期間 令和6年7月1日から令和7年3月31日まで (2)実績額 4,961,000円 2 EVカーシェアリング導入実証事業 両津支所にEV2台（日産リーフ）を配置し、公用車としての利用とともに、ビジネスや観光での来島者の利用、市民の体験などの利用を促し、レンタカー不足の解消や移動の脱炭素化及び市民等のEVに対する理解促進に取り組んだ。 (1)事業期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (2)実績額 EVカーシェアリング使用料 2,560,167円 (3)利用実績 一般利用 95回（前年度81回） 公用利用 173回（前年度88回） 3 再エネ推進補助制度の実施 再生可能エネルギーの有効活用と災害時等の電源確保等を図り、地球温暖化の防止及び災害に強い島づくりを推進するため、太陽光発電設備や電気自動車等の導入に対する補助制度を実施した。 (1)対象者 市内の個人及び法人 (2)補助実績 ・太陽光発電設備 7件 1,257,000円(前年度 11件 1,871,000円) ・蓄電池設備 8件 2,358,000円(前年度 12件 3,266,000円) ・高効率エネルギー設備 95件 17,510,000円(前年度 56件 9,662,000円) ・薪ストーブ 11件 1,481,000円(前年度 8件 1,090,000円) ・V2H充電設備 6件 1,270,000円(前年度 2件 448,000円) ・充電インフラ 2件 141,000円(前年度 0件) ・電気自動車 1件 275,000円(前年度 14件 4,343,000円)			
		成果 佐渡市脱炭素先行地域計画を推進し、市施設への太陽光発電設備の導入を進めるとともに、EVのカーシェアリング、公用車への導入を継続実施し、CO <sub>2</sub> の削減に寄与した。また、市内の個人宅等においても太陽光発電設備等の導入を促進し、エネルギーの有効活用と非常時等における自立電源の確保が図られた。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 7目 企画費	「佐渡株式会社」運営体験事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		8,500,000円	6,518,077円	1,981,923円	P90
		<p>目的</p> <p>子どもたちの会社経営体験を通して、「佐渡の魅力」を知り、学び、理解し、発信する一連の過程から郷土愛の醸成につなげる。また、マーケティングやプロモーションなどを通して、子どもたちの情報化社会で生き抜く力を育む。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○会社運営等支援委託業務 8,500,000円（前年度6,499,999円）</p> <p>・メディア「佐渡放送局」（仮想会社）の運営</p> <p>佐渡で活躍する事業者から佐渡産品を学び、子どもたちから見た佐渡産品の新しい魅力を発掘し発信した。</p> <p>(1)参加学校 金泉小学校 3年生、4年生、6年生 14名 金井小学校 6年生 59名</p> <p>(2)取組内容 専門家講義、グループワーク、動画撮影、販売会 商談会、首都圏での取組周知</p>			
		<p>成果</p> <p>会社経営体験を通して、佐渡の魅力を知り、学び、理解し、発信する一連の過程により郷土愛の醸成を図った。また、学校と地域事業者の連携を通して、企画運営、情報発信の方法等についてのノウハウを教育現場に蓄積させることができた。</p>			
	若者の活躍拠点づくり推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		40,961,176円	4,328,716円	36,632,460円	P90
		<p>目的</p> <p>金井地区の民間施設を活用し、大学生をターゲットにした宿泊施設の整備を進め、研究活動や地域と連携した課題解決の取組のために来訪する大学生等の交流人口拡大を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 活躍拠点の改修工事</p> <p>(1)業務期間 着工／令和6年5月30日 竣工／令和6年11月25日</p> <p>(2)総事業費 39,444,900円</p> <p>(3)事業内訳 延床面積348.23㎡、内改修部分144.08㎡</p> <p>○建築工事 17,977,300円</p> <p>○電気工事 6,424,000円</p> <p>○機械設備工事 12,403,600円</p> <p>○監理業務委託料 2,640,000円</p>			
		<p>成果</p> <p>若者活躍拠点の施設改修工事が完了し、令和7年度の運用開始による交流人口の拡大に向けた受入環境が整った。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																																			
1項 総務管理費 8目 電子計算費	情報システム 活用事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																
		258, 790, 951円	263, 296, 081円	△4, 505, 130円	P92																																
		◎いつでもどこでも誰でも行政手続できますよ事業																																			
		目的																																			
		行政手続の利便性の向上に貢献するため、市ホームページのみでなく、多くの市民に身近なスマホアプリであるLINEを入口として、時間・場所を問わずに電子申請ができる仕組みを実現し、市民の利便性向上につなげる。																																			
		取組内容・実績																																			
		令和5年10月から新潟県内12自治体で汎用電子申請システムを共同調達し、市の公式LINEアカウントとも連携することで、いつでも、どこでも、誰でも行政手続ができる環境を整備した。（令和6年10月より共同利用自治体は13団体）																																			
		電子申請システム共同利用負担金 614, 274円 システム等借上料 14, 281円																																			
		・令和6年度中に公開した電子申請手続件数：270件【前年度比+28件】																																			
		・令和6年度中の電子申請受付実績：約6, 300件【前年度比約+4, 700件】 （以下、市民手続で利用の多かったもの）																																			
<table><tr><th>No.</th><th>手続名</th><th>受付件数</th></tr><tr><td>1</td><td>令和7年度佐渡市児童クラブ入会申請書</td><td>381</td></tr><tr><td>2</td><td>特定健診 受診予約(令和6年11月実施)</td><td>86</td></tr><tr><td>3</td><td>特別支援学校児童生徒就学援助補助金交付申請書 兼実績報告書(様式第1号)</td><td>67</td></tr><tr><td>4</td><td>産後ケア事業利用申請書</td><td>53</td></tr><tr><td>5</td><td>省エネ家電製品等購入促進事業補助金交付請求</td><td>51</td></tr><tr><td>6</td><td>小木子育て支援センター利用許可申請書 (5歳児土曜保育)</td><td>43</td></tr><tr><td>7</td><td>令和7年度畑野児童館利用登録申請（継続）</td><td>39</td></tr><tr><td>8</td><td>土曜日午後保育申請書</td><td>38</td></tr><tr><td>9</td><td>所得（課税）証明書の交付申請</td><td>34</td></tr><tr><td>10</td><td>省エネ家電製品等購入促進事業補助金実績報告</td><td>33</td></tr></table>					No.	手続名	受付件数	1	令和7年度佐渡市児童クラブ入会申請書	381	2	特定健診 受診予約(令和6年11月実施)	86	3	特別支援学校児童生徒就学援助補助金交付申請書 兼実績報告書(様式第1号)	67	4	産後ケア事業利用申請書	53	5	省エネ家電製品等購入促進事業補助金交付請求	51	6	小木子育て支援センター利用許可申請書 (5歳児土曜保育)	43	7	令和7年度畑野児童館利用登録申請（継続）	39	8	土曜日午後保育申請書	38	9	所得（課税）証明書の交付申請	34	10	省エネ家電製品等購入促進事業補助金実績報告	33
No.	手続名	受付件数																																			
1	令和7年度佐渡市児童クラブ入会申請書	381																																			
2	特定健診 受診予約(令和6年11月実施)	86																																			
3	特別支援学校児童生徒就学援助補助金交付申請書 兼実績報告書(様式第1号)	67																																			
4	産後ケア事業利用申請書	53																																			
5	省エネ家電製品等購入促進事業補助金交付請求	51																																			
6	小木子育て支援センター利用許可申請書 (5歳児土曜保育)	43																																			
7	令和7年度畑野児童館利用登録申請（継続）	39																																			
8	土曜日午後保育申請書	38																																			
9	所得（課税）証明書の交付申請	34																																			
10	省エネ家電製品等購入促進事業補助金実績報告	33																																			
成果																																					
時間・場所を問わず電子申請ができる仕組みにより、市民の利便性向上及び負担軽減につながった。																																					



## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 9目 情報化推進費	ノーコード／ ローコード ツール活用に よる市民サー ビス向上事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		8, 146, 952円	(新規)	—	P94
		<p>目的</p> <p>庁内業務において、紙や手作業、エクセル等で行われている業務をWebアプリケーション化することで、業務の効率化・高度化を図ることを目的とする。プログラミング等の専門的なシステム開発知識を不要とし、職員自身が業務アプリ実装が可能な環境の導入、職員自身によるアプリ実装の実践研修を行うことで、庁内DXのステップとする。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>職員が普段行っている業務を対象に、実際にツールを操作してアプリケーションを作成するハンズオン形式の実践的なアプリケーション開発プログラムを実施し、スキルの習得を行った。</p> <p>なお、実践プログラムへの参加職員の選定にあたっては、Webアプリケーション化することによって業務の効率化・高度化を図ることが可能と考えられる業務について全庁的な洗い出しを実施のうえ、当該事業に係る担当職員を選定し、デジタルリーダーとともに実践プログラムの実施にあたった。</p> <p>【実践プログラムの構成及び参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎講習 2時間×1回 29名</li> <li>・操作レクチャ 2時間×2回 計29名</li> <li>・現場実装 2時間×5回 計23名</li> </ul> <p>【実装されたアプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設管理台帳</li> <li>・庁舎予算管理簿</li> <li>・公用車管理台帳</li> <li>・駐車場利用許可一覧</li> <li>・課内業務進捗管理</li> <li>・上下水道料金納付管理</li> <li>・家屋敷課税対象者管理</li> <li>・普通財産貸付契約一覧</li> <li>・スクールバス運行・管理台帳</li> <li>・移住者リスト</li> <li>・行政手続オンライン化対応管理台帳</li> <li>・SNSの統計作業</li> <li>・奨学金管理</li> </ul> <p style="text-align: right;">など20業務</p> <p>成果</p> <p>煩雑かつ属人化している業務についてWebアプリケーション化することで、誰もが実践を通じてノーコードツールを活用できるという、庁内のDX化に向けたステップを築くことができた。</p> <p>今後は、実践プログラムの参加者を中心にノーコードツールの活用範囲を広げるとともに、今回開発したWebアプリケーションをさらに最適化し、業務時間の圧縮や効率性についての検証を行い、もって市民サービスの向上につなげる。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 9目 情報化推進費	時空を超えて江戸時代の佐渡にタイムスリップ事業	11,212,859円	(新規)	—	P94
		<p>目的</p> <p>メタバース空間上に“なんだかおもしろそう”な江戸時代にタイムスリップした参加型プラットフォームを構築し、世界中の誰もが佐渡の歴史を楽しめる空間を作り上げる。令和6年度に構築することで世界文化遺産登録を盛り立て、「佐渡島の金山」の価値を新たな手段で広げ、これまでにない層の佐渡ファンの獲得を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年8月1日に第1弾として「金山採掘場内部エリア（金を知る）」を公開。次いで、「京町エリア（暮らしを知る）」、「佐渡奉行所エリア（佐渡奉行を知る）」を順次公開し12月にフルオープンした。</li> <li>・並行して、関係課と連携し、市内外の関連イベントにおいて活用した。現地来訪前に遠隔からでも世界遺産価値や「佐渡島の金山」周辺エリアの江戸時代の繁栄を伝えることができる唯一の体験型コンテンツとして好評を得た。</li> <li>・令和6年12月～令和7年2月にかけて、認知度向上のためのキャンペーンを実施した。「奉行所エリア」におけるお白洲クイズの全問正解者に、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施した。この期間中に、令和6年8月オープン以来の新規登録ユーザー数の約42%にあたる228ユーザーが新規登録した。</li> </ul> <p>キャンペーン結果：一等（6名）：佐渡汽船乗船クーポン5,000円分、 きらりうむ・奉行所のソロ招待券 二等（10名）：きらりうむ・奉行所ペア招待券</p> <p>・令和7年3月31日現在のユーザー登録数は555人</p>			
		<p>成果</p> <p>新たな佐渡ファン獲得のきっかけづくりに貢献するとともに、メタバースをきっかけとしたユーザーアクションとして、文化財保全のための協力金として10件11,156円の実績を得た。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 11目 移住促進費	U・Iターン サポート事業	52,705,217円	38,433,908円	14,271,309円	P96
		<p>目的</p> <p>市内に就労し定着した若者への奨学金返還助成や家賃補助、引越し費用助成をはじめ、空き家改修費補助など、移住希望者への支援を拡充しUIターン促進を図る。また、佐渡UIターンサポートセンターと連携して、移住者の定着率を高めるための仕組みづくりや、関係人口や移住希望者のコミュニティの活性化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>令和6年度移住者数：445名（前年度：572名） うち若者移住者数253名（前年度：313名）全体比率57%</p> <p>(1) 佐渡UIターンサポートセンター業務委託料 6,897,000円 定住促進イベントの企画・運営、情報発信及び相談業務等</p> <p>(2) 佐渡部イベント運營業務委託料 1,350,000円 佐渡部交流イベント参加者数：30名（前年度：42名）</p> <p>(3) 空き家改修費等補助事業補助金 6,833,000円 計画：7件 実績：8件（前年度：8件）</p> <p>(4) 若者定住家賃補助事業補助金 4,886,000円 計画：43件 実績：37件（前年度：47件）</p> <p>(5) 移住・就業支援事業補助金 12,200,000円 計画：9件 実績：6件（前年度：9件）</p> <p>(6) 引越し補助金 450,000円 計画：15件 実績：9件（前年度：16件）</p> <p>(7) UIターン者奨学金返還支援事業補助金 6,870,000円 計画：42件 実績：50件（前年度：37件）</p> <p>(8) 島留学生生活支援金 1,530,000円 計画：10件 実績：13件（前年度：8件）</p>			
		<p>成果</p> <p>移住者数は減少となったが、UIターン者奨学金返還支援事業をはじめ、各支援制度を効果的に情報発信したことで有効に活用された。 空き家バンクの掲載物件は52件が新規登録された。また、30件の売買と2件の賃貸が成立し、空き家の利活用につながった。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 総務管理費 11目 移住促進費	お試し住宅体験事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		8, 563, 451円	12, 535, 480円	△3, 972, 029円	P96
		目的 移住希望者の移住と定着を図るとともに、関係人口の拡大と将来的な親子世帯の移住者獲得を目指す。また、お試し住宅の利用の75%が単身利用者であることから利便性の高い地域に若者定着シェアハウスを整備し、若者移住者の定着と関係人口の拡大を図る。			
		取組内容・実績 既存10棟のお試し住宅の利用促進を図るとともに、保育園留学で来島する家族の滞在場所としても活用した。移住希望者を集落と連携して受け入れる体制を構築し、若者移住希望者や親子ワーケーション世帯の受入れを進めた。 また、若者移住希望者や二地域居住者などの受入促進のため、泉地区に若者移住者等定着シェアハウスを整備し民間ノウハウを活かした運用に向けて調整を進めた。 ・お試し住宅集落管理委託料 452, 000円 ・建物賃借料 1, 370, 742円 ・機械器具購入費 1, 049, 141円			
		成果 令和6年度の成果として、27組58名を受け入れ（8組11名の移住につながった。）、そのうち、かじまち住宅を利用した保育園留学の家族は、8組28名で、その後のリピーターにつながるなど、第2の故郷として関係人口の拡大と深化が確実に進んだ。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 12目 特定有人国境 離島地域社会 維持推進費	滞在型観光促進事業（世界遺産登録推進対応）	83,956,716円	81,960,118円	1,996,598円	P98
		<p>目的</p> <p>佐渡の自然・歴史・文化などの独自の資源を活かした体験型滞在プランの販売促進を行い、着地型観光の受入体制整備に取り組む。また、歴史を感じさせる町並みの保全と新しい観光業の促進を図るため、分散型ホテル事業を手がける地域協議会などの支援に取り組む。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○個人フリー型企画乗船券の販売</p> <p>着地型旅行商品及び佐渡汽船航路往復乗船券をパッケージにした企画乗船券を、佐渡市内に1泊以上滞在する者を対象に販売した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数2,680人（前年度1,520人）</li> </ul> <p>○団体型旅行商品の造成促進</p> <p>佐渡汽船航路往復乗船券と、佐渡市内での宿泊及び着地型旅行商品をセットにしたパッケージ商品の造成を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品造成による団体利用者数9,499人（前年度8,282人）</li> </ul> <p>○体験クーポン付き企画乗船券の販売</p> <p>体験クーポン券及び佐渡汽船航路カーフェリー往復乗船券をパッケージにした企画乗船券を、佐渡市内に1泊以上滞在する者を対象に販売した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数120人（前年度325人）</li> </ul> <p>○4泊以上滞在型企画乗船券の販売</p> <p>島内のみで利用できるクーポン券の発行及び佐渡汽船航路往復乗船券をパッケージにした企画乗船券を、佐渡市内に4泊以上滞在する者を対象に販売した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数2,222人（前年度1,882人）</li> </ul> <p>○分散型ホテル事業への支援</p> <p>分散型ホテルの構築により、旅行者の地域内回遊による域内観光関連産業の消費喚起を図るために必要な経費に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相川地区：令和6年7月、分散型ホテル4棟7室を開業</li> <li>・小木地区：次年度に向けて、計画策定と実行体制整備に向けた方向性を整理</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>企画乗船券・団体型旅行商品については、世界文化遺産登録効果もあり、昨年度と比較して大幅に利用人数を増加させることができた。</p> <p>分散型ホテルについては、佐渡市初の分散型ホテルが相川地区で開業し、周辺飲食店やDMOなどとの連携により、町ごとホテルの取組として地域を楽しむ宿泊プランの提供を開始することができた。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 12目 特定有人国境 離島地域社会 維持推進費	創業・事業拡大等支援事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		306,913,836円	433,785,730円	△126,871,894円	P98
		<p>目的</p> <p>雇用増を伴う創業又は事業拡大を行う民間事業者等に対して、その事業資金の一部を支援するとともに、民間事業者を活用したフォローアップ支援による事業者の早期の自立化を促すことにより、特定有人国境離島地域における持続的な居住が可能となる環境の整備を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○雇用機会拡充事業補助金</p> <p>補助実績 32件、273,018,000円 (前年度 50件、405,740,000円)</p> <p>○採択事業者フォローアップ支援業務委託料</p> <p>採択事業者に対してモニタリングを実施し、業績評価指標の達成状況や雇用の状況を把握した上で必要な経営指導や助言を行った。 件数：100件、委託料：26,719,000円 (前年度 件数：75件、委託料：27,247,000円)</p>			
		<p>成果</p> <p>雇用機会の拡充に寄与する創業又は事業拡大を行おうとする民間事業者を支援することにより50名の新規雇用者を創出し、雇用の受け皿づくりに寄与した。また、フォローアップ支援により、事業者の早期の自立化促進を図ることができた。</p>			
1項 総務管理費 13目 コミュニティ 活動推進費	地域の活力再生事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		33,920,239円	54,378,357円	△20,458,118円	P100
		<p>目的</p> <p>人口減少に伴う少子高齢化が進む地域の課題を解決するため、都市等から人材を受け入れ、地域コミュニティや集落行事等の維持・活性化を図り、地域の賑わい創出と地域への定住を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○地域活動支援委託料 18,360,600円</p> <p>・地域おこし協力隊</p> <p>新規採用 2人 (前年度4人) 退任 3人 (前年度10人) 継続任用 6人 【うち2人は会計年度任用職員】 (前年度9人)</p> <p>・地域活動支援員</p> <p>地域おこし協力隊サポート：2人、大学等受入支援：1人、祭り支援：3人</p> <p>○コミュニティ助成事業補助金</p> <p>2件 4,800,000円 (前年度3件 6,300,000円)</p> <p>○大学と地域が連携した地域づくり応援事業補助金</p> <p>24団体 4,158,000円 (前年度22団体 4,493,000円) 連携した地域 27地域 (前年度19地域)</p>			
		<p>成果</p> <p>集落活動の維持や地域との継続した交流を支援することで、交流・関係人口の拡大を図ることができた。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 14目 支所及び行政 サービスセン ター費	支所・行政 サービスセン ター拠点化事 業	54,248,978円	45,976,764円	8,272,214円	P100
		<p>目的</p> <p>個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域活動団体等が提案する元気な地域づくり支援事業に対する補助金の交付などにより、地域コミュニティの維持を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○元気な地域づくり支援事業補助金 48,872,000円</p> <p>支所・行政サービスセンターが地域活性化の拠点となり、地域の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動促進事業 32件 9,428,000円（前年度27件 7,844,000円）</li> <li>・コミュニティ活動促進事業（集会施設修繕） 52件 11,542,000円（前年度41件 9,389,000円）</li> <li>・地域のまつり支援事業 13件 27,902,000円（前年度13件 24,130,000円）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>地域活動団体等が提案する事業を支援することで、地域コミュニティの維持・創出に寄与することができた。</p>			
	支所・行政 サービスセン ター拠点化事 業（地域コ ミュニティづ くり）	4,934,445円	11,104,876円	△6,170,431円	P102
		<p>目的</p> <p>支所・行政サービスセンターを中心にした地域づくりを促進し、地域の自主的な地域づくり活動を支援する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○地域コミュニティ交付金</p> <p>補助実績 71集落 3,785,263円 （前年度 72集落 4,792,470円、災害対応分26集落 4,541,126円）</p> <p>○各支所・行政SC独自事業</p> <p>6件 1,149,182円（前年度6件 1,771,280円）</p>			
		<p>成果</p> <p>地域の特性にあわせて、支所・行政サービスセンターで独自の事業を進め、市民が主体となって地域の課題解決や賑わいの創出につながった。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 15目 防災対策費	防災対策事業	54,343,867円	71,950,917円	△17,607,050円	P102
		目的 市民の安全・安心の確保や防災意識の高揚を図り、自助・共助による地域防災力を高める。			
		取組内容・実績 ・ V2H充放電設備機器購入 5,060,000円 災害時（停電）に地区避難所となっている施設にV2H（電気自動車にためられた電気を建物の電気設備等で使用できるようにする装置）を設置した。 3台（R6新規事業） ・ 防災情報システム構築 17,429,500円 市から発信する情報や民間事業者が提供するライフラインの情報を一元的に、かつ多様な手段でアクセスできるWebサイトを構築した。 ・ 自主防災組織訓練奨励金 575,000円 39組織（前年度 34組織） ・ 地域防災リーダースキルアップ研修 87,998円 参加人数111人（前年度 150人） ・ 自主防災組織資機材整備補助金 904,100円 10組織（前年度 6組織）			
		成果 【V2H設置】 電気自動車から拠点となる地区避難所への給電が可能となり、災害時（停電）でも常時通電の確保が可能となった。 【防災情報システム構築】 市民や観光客に対し、行政が発信する災害関連情報や民間事業者が提供するライフラインの状況など、多様な情報をタイムリーに提供することが可能となった。			



## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進 費	世界遺産登録 推進事業	32,873,842円	45,460,148円	△12,586,306円	P104
		<p>目的</p> <p>世界文化遺産登録を契機とした、構成資産の保全活動や次世代への教育活動の実施等により、世界遺産の価値を継承するための情報発信を強化し、資産の保存と活用に向けた市民意識の醸成を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 世界遺産登録推進活動費補助金</p> <p>(1)対象者 世界遺産登録の推進に関する普及、啓発活動及び世界遺産登録決定を契機にした教育、普及、広報活動等を行う団体等</p> <p>(2)補助限度額 上限50万円～100万円</p> <p>(3)補助実績 6団体10事業（前年度6団体10事業） 2,367,000円</p> <p>2 イコモス審査関連事業負担金（新潟県と折半） 19,947,092円</p> <p>(1)世界遺産委員会・イコモス対応業務</p> <p>世界遺産委員会への参加やイコモス勧告への対応を行った。</p> <p>(2)世界遺産登録決定対応業務</p> <p>世界遺産委員会パブリックビューイング、登録報告会、記念式典等を実施した。</p> <p>3 歴史的経緯調査関係事業負担金（新潟県と折半） 1,927,200円</p> <p>世界文化遺産登録前後の歴史や価値についての説明戦略のアドバイスを受けた。</p> <p>4 小中学生向け副読本の更新</p> <p>世界文化遺産登録を契機に副読本の内容を更新した。 919,600円 （R7年度に市内全小学校に10部・全中学校に7部配布）</p>			
		<p>成果</p> <p>令和6年7月27日に「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録され、登録を契機とした情報発信や各種イベントを開催したことで、市民意識の向上につなげることができた。</p>			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進費	世界遺産史跡 保存整備費	51,174,235円	17,780,511円	33,393,724円	P106
		目的 世界文化遺産の構成資産となる西三川砂金山や相川鶴子金銀山に関する文化財（国史跡）の保存と活用を図る。			
		取組内容・実績 1 佐渡金銀山遺跡・金子勘三郎家住宅の保存修理工事 (1) 牛納屋保存修理工事の設計監理業務委託 5,412,000円 (2) 牛納屋の保存修理工事 25,109,700円  2 佐渡金銀山遺跡の保存修理工事 (1) 北沢火力発電所屋根応急措置工事 2,167,000円  3 佐渡金銀山遺跡の各種サイン製作設置 (1) 解説・誘導板等31基の製作設置業務委託 14,432,000円 ① 相川上寺町地区……解説10基＋規制(立入禁止)2基＋誘導7基 ② 鶴子銀山大滝地区…解説5基＋規制(立入禁止)1基＋誘導6基  4 佐渡金銀山遺跡の測量 (1) 大立地区法面近代遺構の3D測量業務委託 3,410,000円			
		成果 世界文化遺産の構成資産となる西三川砂金山や相川鶴子金銀山に関する文化財（国史跡）の適切な保存や公開活用に向けた準備を進めることができた。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進費	重要伝統的建造物群保存事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		43,693,173円	43,751,474円	△58,301円	P108
		目的 宿根木地区の保存と活用を図るとともに、小木町の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、制度の周知や文化財の魅力を発信しながら、選定後の町並みの保存と活用に向けた取組を進める。			
		取組内容・実績 1 宿根木伝統的建造物群保存地区補助金 (1) 補助実績 2件（前年度3件） 2,375,000円  2 宿根木の重要伝統的建造物群保存事業 (1) 令和7年度以降の修理に向けた調査業務委託 3,410,000円 (2) 修理工事実施の際の設計監理業務委託 2,134,000円 (3) 防災工事実施の際の設計監理業務委託 2,475,000円 (4) 災害復旧工事実施の際の設計監理業務委託 1,155,000円 (5) 防災工事 11,990,000円 (6) 災害復旧工事 16,720,000円  3 小木町の重伝建地区選定関連事業 (1) 重伝建地区選定記念懸垂幕掲出 59,950円 掲出期間 令和6年10月～12月 (2) 伝統的建造物プレート製作 123枚 405,900円 伝統的建造物所有者に配布し、プレートの設置を推進した。 (3) 小木町重伝建地区パンフレット作成 281,600円 重伝建地区選定を契機にパンフレットを作成した。 (4) 小木町重伝建地区ガイドライン作成 1,089,000円 重伝建地区選定を契機に運用方針をガイドラインとして作成した。 (5) 小木町伝統的建造物群保存地区シンポジウムの開催 令和6年7月6日開催 あゆす会館 参加者数 70名 (6) 小木町重伝建地区選定記念まち歩きを開催 令和6年10月20日開催 小木町 参加者数 58名			
		成果 令和6年8月に小木町が国から重伝建地区に選定された。重伝建地区選定を周知し、重伝建地区の保存と活用について機運醸成を図ることができた。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進費	世界遺産建造物保存整備費	73,012,974円	112,894,359円	△39,881,385円	P110
		目的 世界文化遺産の構成資産となる重要文化的景観及び関係する重要文化財建造物の保存と活用を図る。			
		取組内容・実績 1 重要文化的景観整備事業補助金 (1) 対象者 物件の所有者及び管理者又は保存を目的とする非営利団体等 (2) 補助限度額 指定物件上限900万円、指定外物件上限700万円 (3) 補助実績 5事業（前年度2事業） 24,591,000円  2 相川地区の重要文化的景観保護推進事業 (1) 令和7年度以降の修理に向けた調査業務委託 4,268,000円 (2) 修理工事実施の際の設計監理業務委託 4,235,000円 (3) 相川新五郎住宅の保存修理工事設計監理業務委託 9,075,000円 (4) 相川新五郎住宅の保存修理工事 24,571,800円 (5) 相川地区解説板4基の製作設置業務委託 1,518,000円 (6) 相川地区銘板設置工事 605,000円  3 重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設保存修理工事 (1) 高任粗碎場地盤観測業務委託 572,000円			
		成果 世界文化遺産の構成資産や関係する国文化財の適切な保存を進めることができた。			

## 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進費	世界遺産を核とした総合的情報発信事業	17,517,801円	27,328,593円	△9,810,792円	P112
		<p>目的</p> <p>世界文化遺産の文化的価値や魅力を伝え、来訪者が満足するおもてなしを実現するため、広域的な連携体制の構築及び各種媒体による情報発信を行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 「金の道」交流促進及び情報発信</p> <p>「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機に、佐渡～江戸・東京までの「金の道」沿線地域との交流促進や「金の道」の認知度を向上させるプロモーションを実施した。 13,970,000円</p> <p>(1)「金の道」プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「金の道」のメディア及びSNSを活用した情報発信 雑誌AERA広告掲載 発行部数50,477部 「御金荷の道ウォークin長野」動画配信 視聴数6,352回</li> <li>「金の道」特設Webサイトの運営 開設期間：令和6年7月1日から令和7年3月14日まで アクセス数：37,459回（前年度 13,025回）</li> </ul> <p>(2)「金の道」交流人口拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「金の道」フォーラムの開催 実施日時：令和6年9月27日 有楽町朝日ホール 参加者数：304名（前年度 157名）</li> <li>「金の道」PRブースの出展 出展地域：3域（長野県東御市、長野県小諸市、東京都板橋区） 参加者数：延べ2,497名（前年度 4地域開催 3,230名参加）</li> <li>「御金荷の道ウォーク」の開催 開催地域：3地域（新潟県上越市、長野県、東京都内） 参加者数：延べ260名（前年度 3地域開催 194名参加）</li> </ul> <p>(3)「金の道」デジタルスタンプラリー 実施期間：令和6年9月14日から令和7年3月10日まで スポット：「金の道」沿線施設21か所 参加者数：1,020名（前年度 748名）</p>			
		<p>成果</p> <p>「金の道」沿線地域同士が交流する場を提供することで、地域間交流の促進につなげるとともに、新潟県内外に「金の道」の認知度向上を図ることができた。なお、「金の道」デジタルスタンプラリー参加者のアンケート結果によると、参加者の「金の道」の認知度は低かったものの、令和5年度より認知度が向上していることから（知っていた11%→21%、知らなかった89%→78%）、事業実施による「金の道」の新規周知の効果があつた。</p>			

2款 総務費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 総務管理費 18目 世界遺産推進費	(継続費) 大立地区法面整備事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		77,100,000円	(新規)	—	P112
		<p>目的</p> <p>重要文化財に指定されている大立堅坑櫓の北側法面の落石対策を行い、文化財や将来の現地公開に向けた安全対策を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 大立地区法面落石対策工事（令和6～7年度）</p> <p>大立堅坑北側法面の岩盤落石対策工事（岩接着・落石防護網）</p> <p>契約額298,430,000円（2カ年）のうち前払い額77,100,000円</p>			
		<p>成果</p> <p>令和7年度工事完了に向けて引き続き計画どおりに事業を進めていく。</p>			
1項 総務管理費 19目 都市再生整備計画費	高質空間形成施設整備事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		42,400,000円	59,300,000円	△16,900,000円	P112
		<p>目的</p> <p>佐渡市相川地区整備計画に基づき「金銀山とともに育まれた歴史・文化を誇るまち相川」として、歴史的な景観を活用した魅力あふれるまちづくりを進め、町並みにあった散策路や歴史的建造物の整備を推進し、来訪者の増加を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施設の美装化を図り、安全性、利便性及び景観の向上に取り組んだ。</p> <p>側溝改修 1件（前年度1件） 42,400,000円</p> <p>相川98号線ほか（工事1件）</p>			
		<p>成果</p> <p>散策路における景観に配慮した整備により、来訪者の満足度及び生活道路の機能向上を図り、魅力あふれるまちづくりに寄与した。</p>			
	(繰明) 高質空間形成施設整備事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		131,331,100円	—	—	P114
		<p>目的</p> <p>佐渡市相川地区整備計画に基づき「金銀山とともに育まれた歴史・文化を誇るまち相川」として、歴史的な景観を活用した魅力あふれるまちづくりを進め、町並みにあった散策路や歴史的建造物の整備を推進し、来訪者の増加を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施設の美装化を図り、安全性、利便性及び景観の向上に取り組んだ。</p> <p>舗装・側溝改修 2件 85,004,400円</p> <p>相川125号線ほか(工事2件)</p> <p>階段改修 1件 46,326,700円</p> <p>長坂ほか（工事1件）</p>			
		<p>成果</p> <p>散策路における景観に配慮した整備により、来訪者の満足度及び生活道路の機能向上を図り、魅力あふれるまちづくりに寄与した。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	社会福祉法人 運営費助成事業	147, 190, 000円	110, 114, 000円	37, 076, 000円	P130
		<p>目的</p> <p>法人運営費・地域福祉活動推進事業費の補助を行うことで、市民の福祉サービスの提供確保、向上を図る。また、地域に根差した福祉活動を行う社会福祉協議会との連携、協働により地域づくり及び地域福祉推進体制の整備を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○法人運営事業</p> <p>地域福祉の推進を目的に、地域の福祉団体から構成された法定機関（社会福祉法109条）である佐渡市社会福祉協議会の法人運営の安定化を図り、社会福祉に関する事業の企画・実施、住民参加のための援助活動を支援</p> <p>①人件費に対する補助（2/3） 46, 704, 602円</p> <p>②法人運営事業費に対する補助（2/3） 16, 277, 796円</p>			
		<p>○地域福祉活動推進事業</p> <p>地域における支え合いの仕組みづくりを推進するため、次の事業を実施。高齢単身世帯への気配り、日中孤立しがちな高齢者等の閉じこもり予防や仲間づくりによる孤立感の解消を図った。</p> <p>①人件費に対する補助（10/10） 67, 783, 086円</p> <p>②地域福祉活動推進事業費に対する補助（2/3） 16, 424, 516円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはようコール（週1～4回、98名利用）</li> <li>・配食サービス（週2～3回、実利用者236名）</li> <li>・地域の居場所づくり（実施箇所117箇所、延べ参加者12, 761名）</li> <li>・生活支援ボランティア派遣（実施回数2, 447回、実利用者114名）</li> <li>・ボランティアセンター運営（講座、研修会、福祉教育出前塾68回）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>地域住民同士が交流することで、互いの理解を深めるとともに、生きがいづくりや支え合い意識の高揚、住民同士のつながりを深め、地域交流を活性化することができた。また、他機関と連携し困りごとの解決につなげることができた。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	生活困窮者自立支援費	69,375,967円	64,095,828円	5,280,139円	P132
		目的 生活困窮者の自立を促進するとともに、地域共生社会の実現を図る。			
		取組内容・実績 ○生活困窮者自立支援事業委託 26,657,000円 失業や借金、人間関係など様々な困りごとを抱え経済的に困窮されている方からの相談を受けて、ご本人の状況に応じた支援プランを作成し、自立に向けた支援を行った。 ・相談、援助件数:3,415件（前年度3,955件） ・自立プラン作成件数:78件（前年度63件） ・家計再生プラン作成件数:34件（前年度34件） ・就労準備支援事業プラン作成件数:5件（前年度8件） ・被保護者就労準備支援事業プラン作成件数:1件（前年度0件）  ○地域力強化推進事業委託 41,572,000円 市民が主体的に地域の生活課題を把握して解決を試みる体制づくり及び複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりとして、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）による何でも相談やアウトリーチによる包括的な相談支援を行った。 ・CSW相談件数:2,024件（前年度1,952件） ・包括化相談員相談件数:171件（前年度165件） ・地域福祉懇談会 開催数:17回（前年度24回） 参加者数:延べ220人（前年度290人） ・地域住民等に関する研修 開催数:1回（前年度3回） 参加者数:延べ20人（前年度46人）			
		成果 多様で複合的な課題を抱えた生活困窮者に対して、適切な支援を行うことによって生活困窮状態の改善を図ることができた。総合的な相談支援体制としてCSW等を配置することにより、相談件数も増え、地域生活課題を包括的に受け止める体制の構築を図ることができた。			



3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	成年後見推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		51,197,720円	37,477,771円	13,719,949円	P132
		<p>目的</p> <p>認知症、知的障がい、精神障がい等により判断力が十分でない方の権利を守り、成年後見制度の推進を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度普及啓発等事業 相談及び連絡調整件数： 559件（前年度521件） 成年後見セミナーの開催（11月25日、あいぼーと佐渡、参加者56人）</li> <li>・成年後見制度法人後見支援事業 法人後見セミナー（2月27日、畑野行政サービスセンター、7法人9人）</li> <li>・市民後見推進事業 市民後見人養成講座（全10日間）：講座修了者10人（前年度15人） 随時相談3,281件、フォローアップ研修4回、受任調整15件</li> <li>・地域連携ネットワーク（中核機関） 関係機関連絡会議10回、運営委員会6回</li> </ul> <p>（委託先：佐渡市社会福祉協議会 成年後見推進事業委託料 51,142,000円）</p>			
		<p>成果</p> <p>成年後見制度の普及啓発及び利用促進が図られた。</p>			
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	老人福祉一般経費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		64,464,875円	59,951,864円	4,513,011円	P136
		<p>◎佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会負担金</p> <p>目的</p> <p>医療・介護・福祉の連携を強化し、持続可能な社会保障サービスの体制整備を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金交付額 52,473,975円 （以下交付団体での取組実績） 資源管理・人材養成・広報の3つの柱を重点とした従事者確保についての協議が行われた。</li> <li>・通常総会 1回 ・理事会 4回</li> <li>・作業部会の実施</li> <li>・『住民向け研修会』の実施 2回</li> <li>・オンライン交流サロン「ゆるつなcafé」の開催（毎月1回開催）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>持続可能な社会保障体制の構築に寄与することができた。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	介護老人福祉 の人材育成・ 確保事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		3, 474, 000円	2, 916, 000円	558, 000円	P138
		目的 介護職員の人材確保を図り、福祉の向上に寄与する。			
		取組内容・実績（）内数は前年度実績 福祉従事者の資格取得、就業及び定着支援のための補助金を交付した。 ○資格取得費助成事業補助金355, 000円（805, 000円）			
			計画	実績	うち30歳以下
		初任者研修過程	3人	1人（0人）	1人（0人）
		社会福祉主事	1人	0人（0人）	0人（0人）
		介護福祉士	1人	0人（4人）	0人（0人）
		社会福祉士	1人	0人（0人）	0人（0人）
		実務者研修過程	7人	4人（11人）	2人（7人）
介護支援専門員	1人	2人（0人）	0人（0人）		
喀痰吸引等研修	1人	0人（0人）	0人（0人）		
○就業支度金補助金1, 229, 000円（510, 000円）					
		計画	実績		
施設見学旅費		1人	1人（0人）		
面接旅費		1人	1人（1人）		
就業支度金		8人	12人（4人）		
○定着支援事業補助金1, 890, 000円（1, 601, 000円）					
		計画	実績		
住宅支援		11人	10人（10人）		
成果 介護人材の確保につながった。					
老人保護措置 費		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		23, 615, 452円	22, 472, 509円	1, 142, 943円	P138
		目的 環境上及び経済的な理由から在宅での生活が困難な高齢者の生活を支援する。			
		取組内容・実績（）内数は前年度実績 ○措置者数：8人（令和7年3月末現在） 養護老人ホーム松鶴荘：1人（1人） 養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家：6人（5人） 養護盲老人ホーム第二光が丘ハウス：1人（1人）			
		成果 自宅での生活が困難な高齢者の支援につながった。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	老人クラブ活動事業	2,917,000円	3,511,000円	△594,000円	P138
		目的 高齢者の生きがいをづくりを推進する。			
		取組内容・実績 単位老人クラブ及び老人クラブ連合会に対して助成を行った。 ○老人クラブ数及び会員数 ・老人クラブ数 34クラブ（前年度 43クラブ） ・会員数 1,014人（前年度 1,279人）  ○補助実績 ・老人クラブ連合会 1,476,000円（前年度 1,768,000円） ・単位老人クラブ 1,441,000円（前年度 1,743,000円）			
		成果 生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を促進することができた。			
	高齢者生活支援事業	15,413,908円	17,245,005円	△1,831,097円	P138
		目的 高齢者等の在宅生活支援、高齢者等を介護する介護者の負担を軽減する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ○外出支援サービス 計画：380人 実績：350人 5,079,200円（381人 4,884,700円） ○緊急通報サービス 計画：160人 実績：149人 4,870,800円（163人 5,550,600円） ○介護用品支給事業 計画：92人 実績：96人 1,403,623円（87人 1,440,156円） ○高齢者生活支援サービス事業 計画：20人 実績：16人 57,000円（12人 41,500円） ○軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業 計画：156人 実績：99人 3,375,000円（139人 4,774,000円）			
		成果 高齢者の在宅での生活支援につながった。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	高齢者住宅整備費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書													
		2, 767, 000円	4, 047, 000円	△1, 280, 000円	P140													
		目的 高齢者・障がい者等が住み慣れた住宅で安心して暮らせる住環境整備の推進を図る。																
		取組内容・実績 高齢者・障がい者等が自身の身体状況に適応するための住宅改修（居室・廊下・玄関等の段差解消及び手すりの設置、トイレ・浴室の改造など）を行う場合に、費用の一部を補助した。 計画 17件 実績 14件（前年度21件） （内訳）高齢者 13件（前年度19件） 障がい者 1件（前年度 2件）																
		成果 高齢者・障がい者等が住み慣れた住宅で安心して暮らせる環境の確保につながった。																
介護手当給付事業		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書													
		9, 150, 000円	9, 255, 000円	△105, 000円	P140													
		目的 高齢者等の生活の向上と福祉の増進を図る。																
		取組内容・実績 寝たきり、認知症等の重度心身障がい者等を介護する介護者に助成を行った。 ・介護手当受給者数 実績 206人（前年度225人）																
		成果 高齢者の生活の向上と家族への支援につながった。																
高齢者いきいきお出かけ応援事業		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書													
		2, 366, 000円	1, 677, 000円	689, 000円	P140													
		目的 高齢者の閉じこもり防止を図り、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加の促進と生きがいを推進する。																
		取組内容・実績（ ）内数は前年度実績 高齢者の市内旅行における貸し切りバスの運賃の一部を助成した。  ○高齢者いきいきお出かけ応援事業補助金 2, 366, 000円																
		<table><tr><td>計画</td><td>実績</td><td>利用者数</td><td colspan="2">内訳</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>60歳未満</td><td>60歳以上</td></tr><tr><td>72団体</td><td>58団体</td><td>1, 067人（839人）</td><td>78人（52人）</td><td>989人（787人）</td></tr></table>				計画	実績	利用者数	内訳					60歳未満	60歳以上	72団体	58団体	1, 067人（839人）
計画	実績	利用者数	内訳															
			60歳未満	60歳以上														
72団体	58団体	1, 067人（839人）	78人（52人）	989人（787人）														
成果 高齢者の外出を促進することにより、閉じこもりを防止し、生きがいに寄与することができた。																		

## 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 2目 老人福祉費	老人福祉施設 整備事業	20,317,077円	(新規)	—	P140
	(事繰) 老人 福祉施設整備 事業	197,851,500円	—	—	(事繰) P140
	(繰明) 老人 福祉施設整備 事業	508,500,000円	—	—	(繰明) P140
	<p>目的</p> <p>老朽化した特別養護老人ホーム歌代の里の民間移行に際し、介護施設の整備を促進するため、介護サービス事業者に対し、介護施設の整備に要する経費を補助する。</p>				
	<p>取組内容・実績</p> <p>整備施設名：特別養護老人ホーム朱鷺いろの杜梅津 補助対象事業者：社会福祉法人勇樹会 整備内容：特養105床・短期入所8床 構造：鉄骨造3階建</p> <p>老人福祉施設整備事業 土地造成工事：19,910,000円 (事繰) 老人福祉施設整備事業 土地造成工事：197,851,500円 (繰明) 老人福祉施設整備事業 施設新設工事：508,500,000円</p>				
	<p>成果</p> <p>市営施設の特別養護老人ホームの民間移行により、民間事業者による安定的な施設運営が期待できるほか、入所者の安全で快適な生活環境の提供につながった。</p>				

## 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)																																
1項 社会福祉費 4目 養護老人ホーム費	人件費・養護老人ホーム費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																													
		163,626,742円	157,272,454円	6,354,288円	(人件費) P142																													
	待鶴荘運営費	19,494,034円	17,449,774円	2,044,260円	(運営費) P142																													
	待鶴荘施設サービス費	70,266,241円	67,546,715円	2,719,526円	(施設サービス費) P144																													
	<p>目的</p> <p>生活環境や経済的理由等により、自宅での生活が困難な高齢者を対象に、老人福祉法の基本理念に基づき「健康と長寿」を目標とし、入所者がその有する能力に応じて自立した日常生活が営めるよう、入所者の処遇に関する計画を策定し、社会復帰の促進及び自立のために必要な指導や訓練等を行い入所者の福祉の増進を図る。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>家庭的な雰囲気を保ち、明るく、心豊かな生活が営めるよう入所者個々の意思を尊重しながら支援した。また、感染症予防対策を徹底しながら、外出機会が減少した入所者が施設内で生きがいをもって楽しめる行事を実施した。</p> <p>○入所者数 ※各年度末現在</p> <table> <tr> <th>定員</th><th>令和2年</th><th>令和3年</th><th>令和4年</th><th>令和5年</th><th>令和6年</th></tr> <tr> <td>100人</td><td>81人</td><td>81人</td><td>71人</td><td>70人</td><td>72人</td></tr> </table> <p>○職員数 ※各年度末現在</p> <table> <tr> <th></th><th>令和2年</th><th>令和3年</th><th>令和4年</th><th>令和5年</th><th>令和6年</th></tr> <tr> <td>正規職員</td><td>19人</td><td>20人</td><td>18人</td><td>17人</td><td>20人</td></tr> <tr> <td>会計年度任用職員</td><td>19人</td><td>21人</td><td>15人</td><td>15人</td><td>13人</td></tr> </table> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設行事 観桜会・バスハイク・お茶会・納涼会・運動会・敬老祝賀会・ホーム祭 ・忘年会・繭玉作り・新年会・節分・演芸歌謡等</li> <li>・行事食 観桜会食・春祭り会食・誕生会食・おやつの日・納涼会食・お好み献立 ・全国みどころ御膳・新年祝賀会食等</li> <li>・サークル活動 お茶・習字・手芸・生花・歌謡・レクリエーション等</li> </ul> <p>成果</p> <p>入所者の生きがいづくり及び生活の安定・充実につながった。</p>					定員	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	100人	81人	81人	71人	70人	72人		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	正規職員	19人	20人	18人	17人	20人	会計年度任用職員	19人	21人	15人	15人
定員	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年																													
100人	81人	81人	71人	70人	72人																													
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年																													
正規職員	19人	20人	18人	17人	20人																													
会計年度任用職員	19人	21人	15人	15人	13人																													

### 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																															
1項 社会福祉費 4目 養護老人ホーム費	待鶴荘特定施設入居者生活介護費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																												
		50, 875, 636円	50, 668, 936円	206, 700円	P144																												
		目的 要支援・要介護認定を受けた入所者に対し、介護支援専門員が作成した特定施設サービス計画に基づく適切な介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持・向上を目指すことを目的とする。																															
		取組内容・実績 自立した日常生活を営むことができるよう計画を作成し、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話等の介護サービスを提供した。 サービス提供にあたっては、地域の保健・医療・福祉サービス事業者と連携を図り、効果的・効率的にサービスを提供し、利用者からの苦情・相談、要望を適切に対応し利用者の権利を擁護するとともに利用者の生活の質を維持した。 ○介護サービス委託料 ・月平均利用者数																															
		<table><tr><th>サービス種別</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>訪問介護</td><td>41 人</td><td>40 人</td><td>43 人</td></tr><tr><td>訪問入浴</td><td>4 人</td><td>4 人</td><td>3 人</td></tr><tr><td>通所介護</td><td>37 人</td><td>36 人</td><td>36 人</td></tr><tr><td>乗降介助</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>福祉用具貸与</td><td>25 人</td><td>18 人</td><td>16 人</td></tr><tr><td>計</td><td>※ 63 人</td><td>※ 58 人</td><td>※ 58 人</td></tr></table> ※月平均利用者数の計は介護サービスの実利用者数の平均				サービス種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度	訪問介護	41 人	40 人	43 人	訪問入浴	4 人	4 人	3 人	通所介護	37 人	36 人	36 人	乗降介助	1 人	1 人	1 人	福祉用具貸与	25 人	18 人	16 人	計	※ 63 人	※ 58 人	※ 58 人
		サービス種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度																												
訪問介護	41 人	40 人	43 人																														
訪問入浴	4 人	4 人	3 人																														
通所介護	37 人	36 人	36 人																														
乗降介助	1 人	1 人	1 人																														
福祉用具貸与	25 人	18 人	16 人																														
計	※ 63 人	※ 58 人	※ 58 人																														
・委託料																																	
<table><tr><th>サービス種別</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>訪問介護</td><td>14, 556, 510 円</td><td>17, 101, 390 円</td><td>17, 281, 700 円</td></tr><tr><td>訪問入浴</td><td>2, 982, 420 円</td><td>3, 367, 980 円</td><td>2, 653, 870 円</td></tr><tr><td>通所介護</td><td>19, 288, 890 円</td><td>21, 795, 540 円</td><td>22, 249, 420 円</td></tr><tr><td>乗降介助</td><td>174, 000 円</td><td>198, 360 円</td><td>261, 870 円</td></tr><tr><td>福祉用具貸与</td><td>2, 432, 580 円</td><td>1, 700, 260 円</td><td>1, 876, 580 円</td></tr><tr><td>計</td><td>39, 434, 400 円</td><td>44, 163, 530 円</td><td>44, 323, 440 円</td></tr></table>				サービス種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度	訪問介護	14, 556, 510 円	17, 101, 390 円	17, 281, 700 円	訪問入浴	2, 982, 420 円	3, 367, 980 円	2, 653, 870 円	通所介護	19, 288, 890 円	21, 795, 540 円	22, 249, 420 円	乗降介助	174, 000 円	198, 360 円	261, 870 円	福祉用具貸与	2, 432, 580 円	1, 700, 260 円	1, 876, 580 円	計	39, 434, 400 円	44, 163, 530 円	44, 323, 440 円		
サービス種別	令和4年度	令和5年度	令和6年度																														
訪問介護	14, 556, 510 円	17, 101, 390 円	17, 281, 700 円																														
訪問入浴	2, 982, 420 円	3, 367, 980 円	2, 653, 870 円																														
通所介護	19, 288, 890 円	21, 795, 540 円	22, 249, 420 円																														
乗降介助	174, 000 円	198, 360 円	261, 870 円																														
福祉用具貸与	2, 432, 580 円	1, 700, 260 円	1, 876, 580 円																														
計	39, 434, 400 円	44, 163, 530 円	44, 323, 440 円																														
成果 施設での安全安心な生活が継続され福祉の増進が図られた。																																	

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）				
1項 社会福祉費 5目 軽費老人ホーム費	人件費・軽費老人ホーム費  ときわ荘運営費  ときわ荘施設サービス費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書	
		55,982,374円	48,719,834円	7,262,540円	(人件費) P144	
		8,292,323円	7,431,570円	860,753円	(運営費) P146	
		45,960,453円	42,754,897円	3,205,556円	(施設サービス費) P146	
	目的 高齢等の理由により独立して生活するには不安が認められる方に対し、日常生活上必要な便宜を図るとともに、生きがいのある豊かな時間を送っていただけるよう、利用者の尊厳を守り、日々の生活を支えることを目的とする。					
	取組内容・実績 低額な料金で、食事の提供、入浴等の準備、相談及び援助、健康管理等の日常生活上必要な支援を行った。 家庭的な雰囲気の中で、利用者の意思を尊重し、生きがいのある毎日を過ごしていただけるよう、常に利用者の立場に立って、施設としてできることを明確に示し、快適で安心安全な生活を営んでいけるように職員が丁寧に関わりを持った。					
	○利用者数 ※各年度末現在					
	定員	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	50人	41人	43人	34人	43人	37人
	○職員数 ※各年度末現在					
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
正規職員	8人	9人	7人	5人	6人	
会計年度任用職員	10人	10人	5人	6人	5人	
○取組内容 ・施設行事 観桜会・運動会・盆踊り大会・紅葉狩・ときわ祭・観月会・忘年会・クリスマス会・新年会・節分 ・バスハイク ランチタイム・バラ園見学・クルーズ船見学・各種イベント見学 ・行事食 誕生会食・おやつタイム・餅もちランチ・蕨玉作り ・サークル活動 踊り・スポーツ・書道・手芸・俳句・生花・茶道・フラダンス ・施設訪問 保育園幼稚園児訪問（3園）・各種団体訪問（舞踊・歌・ギター・フラダンス・文弥人形等9団体）						
成果 利用者の生き活きとした表情、活力、充実した生活につながった。公立施設としての役割を常に意識し、職員が気持ちを合わせ、できることから対応した結果、施設申込者の増につながった。一旦退所が続き、年度末時点の利用者数は前年度よりも減少したが、コンスタントに申込みがある状態を保っている。						



3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 6目 障害福祉費	障害者外出支援事業	15,017,538円	15,666,308円	△648,770円	P148
		目的 通院・通所等に係る経済的な負担を軽減し、障がい者の社会参加を促進する。			
		取組内容・実績 障がい者に係る作業所等通所交通費や通院交通費等の一部助成を行った。 ○心身障害者通所費助成事業 5,916,855円 ・助成延べ件数：2,237件（前年度 2,182件） ○通院交通費助成事業 3,569,479円 ・指定難病等助成延べ件数：357件（前年度 417件） ・人工透析助成延べ件数：836件（前年度 898件）			
		成果 障がい者の経済的な負担の軽減につながった。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 社会福祉費 6目 障害福祉費	障害福祉サービス費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		1, 592, 440, 600円	1, 451, 333, 024円	141, 107, 576円	P148
		目的 障がい児や障がい者が、その有する能力や特性に応じ、日常生活又は社会生活を営むことができるよう自立を支援する。			
		取組内容・実績 ○障害児通所サービス（）内数は前年度実績			
		区 分		利用延べ件数	支給額
		児童発達支援		134件（158件）	2, 432, 516円
		放課後等デイサービス		482件（381件）	60, 879, 785円
		小 計		616件（539件）	63, 312, 301円
		計画相談支援（サービス等利用計画）		216件（218件）	4, 717, 050円
		合 計		832件（757件）	68, 029, 351円
		○障害福祉サービス（）内数は前年度実績			
		区 分		利用延べ件数	支給額
		居宅介護等		1, 497件（1, 451件）	95, 396, 170円
		生活介護・療養介護		2, 248件（2, 199件）	526, 890, 058円
		短期入所		282件（346件）	15, 199, 982円
		施設入所支援等		1, 302件（1, 318件）	236, 046, 607円
		小 計		5, 329件（5, 314件）	873, 532, 817円
		共同生活援助		720件（678件）	101, 087, 079円
		自立訓練等		27件（69件）	5, 088, 399円
		就労移行支援		89件（135件）	13, 954, 194円
		就労継続支援		3, 044件（2, 881件）	405, 812, 522円
		小 計		3, 880件（3, 763件）	525, 942, 194円
		計画相談支援（サービス等利用計画）		2, 597件（2, 438件）	54, 281, 251円
		特定障害者特別給付費		1, 923件（1, 886件）	16, 883, 618円
		合 計		13, 729件（13, 401件）	1, 470, 639, 880円
		成果 生活支援・訓練・介護等の障害福祉サービスを給付し、障がい児や障がい者の自立の促進につながった。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 社会福祉費 6目 障害福祉費	地域生活支援事業	68,186,018円	71,815,864円	△3,629,846円	P150
		<p>◎障害者相談支援事業</p> <p>目的 障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績 障害者相談支援事業委託料 33,930,200円（前年度30,987,788円）</p> <p>○相談支援事業 障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な支援を行った。 実施にあたっては、市内6法人が設置する相談支援事業所に委託するほか、社会福祉課内に基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制の整備を図った。 ・相談支援を利用している障がい者の人数 936人（前年度956人） くうち、基幹相談支援センターが対応した人数 250人（前年度349人）&gt;</p> <p>○佐渡市地域自立支援協議会等への参画 相談支援事業の効果的実施、地域の関係機関との連携強化、地域の課題に応じた社会資源の開発等について協議を行った。 ・自立支援協議会への参画 2回（前年度4回） ・事務局会議への参画 5回（前年度4回） ・専門部会への参画 13回（前年度11回） ・相談支援連絡会への参画 3回（前年度4回） ・障がい福祉フォーラム開催（7月13日、アミューズメント佐渡） ・障がい福祉サービス事業所新任者研修会開催 2回（前年度1回） ・その他、市事業に係る協力</p>			
		<p>成果 委託相談支援事業所と基幹相談支援センターが連携し障がい者相談支援体制の充実が図られているほか、障がい者等が地域で安心して生活できるための障がい福祉に関するシステムづくりに寄与した。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 児童福祉費 3目 保育所費	公立保育所運営費	189,574,930円	239,771,822円	△50,196,892円	P156
		◎幼児教育無償化に伴う副食費免除			
		目的 幼児教育無償化対象外の副食費について、保護者の負担軽減を図る。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 副食費免除対象者以外の3歳以上児童分を佐渡市が負担した。 ・公立保育園・こども園15園：15,087,000円 延べ：3,210人 (16,830,000円 延べ：3,740人)			
		成果 幼児教育無償化と併せて、保護者の負担軽減が図られた。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 児童福祉費 3目 保育所費	私立保育所支援費	823, 280, 413円	799, 002, 344円	24, 278, 069円	P158
		<p>目的</p> <p>児童の健全育成及び児童福祉の向上を図る。また、幼児教育無償化対象外の副食費（3歳以上児童分）について、保護者の負担軽減を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <p>○私立保育園運営委託料</p> <p>委託料：私立保育園6園 493, 186, 690円 延べ4, 036人  (私立保育園6園 476, 030, 080円 延べ4, 244人)  うち副食費免除対象者以外：7, 430, 700円 延べ1, 581人  (7, 002, 000円 延べ1, 556人)  (委託料負担割合：国1/2・県1/4・市1/4)</p> <p>○認定こども園施設型給付費</p> <p>扶助費：認定こども園2園 251, 472, 470円 延べ1, 845人  (認定こども園2園 250, 477, 490円 延べ1, 928人)  うち副食費免除対象者以外：3, 929, 200円 延べ836人  (4, 063, 500円 延べ903人)  (委託料負担割合：国1/2・県1/4・市1/4)  (1号認定地方単独費用部分：県1/2・市1/2)</p> <p>○認可外保育施設保育料補助事業</p> <p>保育料補助：1, 470, 000円 延べ56人 (810, 000円 延べ33人)</p> <p>○私立保育所支援費</p> <p>・子ども・子育て支援交付金</p> <p>延長保育事業（新穂トキっ子、真野第1、双葉）1, 387, 800円  一時預かり事業（沢根）2, 833, 000円  体調不良児対応型病児保育事業（新穂トキっ子）4, 500, 000円  地域子育て支援拠点事業  （新穂トキっ子、真野第1、おおぞら吉井、  みんなのひろば開設準備）  29, 803, 888円</p> <p>・特別保育事業</p> <p>未満児保育事業  （姫津、沢根、平泉、吉井隣保館、新穂トキっ子、真野第1、  双葉、羽茂）  14, 232, 000円</p> <p>障害児等保育事業  （姫津、沢根、新穂トキっ子、真野第1、双葉、羽茂）  5, 845, 000円</p> <p>・保育対策総合支援事業</p> <p>保育体制強化事業（沢根、双葉、羽茂）4, 680, 000円  障害児受入促進事業（双葉、羽茂）1, 834, 000円  熱中症対策事業（双葉）1, 029, 000円</p>			
		<p>成果</p> <p>保育の充実及び児童の健全育成に寄与した。また、副食費や保育料に係る保護者の負担軽減が図られた。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 児童福祉費 3目 保育所費	児童福祉の人 材育成・確保 事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		2,249,781円	3,081,710円	△831,929円	P158
		目的 人材の育成及び確保並びに児童福祉の向上に寄与する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 保育士の資格取得及び就業のための費用に対し補助金を交付した。 ○人材育成事業 65,000円 ・資格取得支援 1人 65,000円 (前年度実績なし) ○人材確保事業 2,130,000円 ・就業支援事業 (施設見学旅費) 1人 20,000円 (1人 20,000円) ・面接旅費 1人 10,000円 (前年度実績なし) ・定着支援 (就業支度金) 7人 1,400,000円 (12人 2,400,000円) ・定着支援 (住宅支援) 4人 700,000円 (3人 500,000円)			
		成果 保育士の資質向上を図られたとともに人材確保につながった。			
	保育所整備費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		4,789,400円	108,535,400円	△103,746,000円	P158
		目的 保育環境整備の充実と良質な保育サービスの向上を図る。			
		取組内容・実績 保育所の不備な設備の改修等を実施した。 河原田保育園 給水設備改修工事 ・改修工事 4,789,400円			
		成果 給水設備改修工事により、老朽箇所や設備不良の改善、安全の確保が図られた。			
	(繰明) 保育 所整備費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		42,602,400円	—	—	P158
		目的 保育環境整備の充実と良質な保育サービスの向上を図る。			
		取組内容・実績 保育所の不具合が生じていた空調設備の更新を実施した。 小木保育園 空調設備改修工事 ・機械設備工事 23,035,300円 ・電気設備工事 17,758,700円			
		成果 空調設備改修工事により、児童が快適に過ごすことができる保育環境の確保が図られた。			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	子育て支援対策事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		6,133,382円	3,985,805円	2,147,577円	P162
		◎子育て支援センター充実事業			
		目的 子育てに孤立感を感じたり、ネット情報等に流され子育てに自信が持てない親が増加していることから、本事業を実施し、子育ての不安や負担を軽減する。			
		取組内容・実績 専門職に相談できる機会の充実を図るため、助産師による母乳育児相談、歯科医師による歯科保健指導を各センターで実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 助産師 55回（前年度 69回）                   歯科医師 4回（前年度 1回）</li> <li>・参加組数 助産師 235組（前年度 293組）                   歯科医師 25組（前年度 2組）</li> </ul>			
		成果 子育てに不安感や孤独感を感じている子育て世帯に寄り添い、心身の負担軽減に努め、必要に応じて、関係機関と連携し、適切な支援につなげることができた。			
	児童館・学童保育運営費	◎いのちの授業			
		目的 「いのちの授業」を通して、子ども達にいのちの大切さを伝え、自己肯定感を育み、他者への関わりを学ぶ機会を与える。			
		取組内容・実績 計画：43回 1,200人      実績：27回 791人 〔保育園2園、小学校9校、中学校5校、高等学校2校〕			
		成果 授業終了後に実施したアンケートでは、「いのちの大切さを実感した」と回答した児童生徒が96%（高校98%、中学校96%、小学校95%、保育園100%）にのぼっており、子ども達の自己肯定感を高め、親や他者を認め大切に思う気持ちを育むことができた。			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		134,699,121円	93,129,530円	41,569,591円	P164
		目的 児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を図る。			
		取組内容・実績 児童館及び学童保育について、地域のニーズや利用者の増減など利用実態に即した施設の整備・運営を計画的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>公立クラブ数14クラブ（前年度13クラブ）</li> <li>・4月から高千児童クラブを新設した。</li> <li>・児童クラブの運営を民間事業者に委託し、民間のノウハウを活用した柔軟な対応と業務のICT化により利用者の利便性向上を図るとともに、支援員の資質向上に努めた。</li> </ul>			
		成果 保護者の仕事と子育ての両立が図られた。			

## 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	児童発達支援事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		1,886,534円	2,010,558円	△124,024円	P164
		<p>目的</p> <p>発達障がいにより社会に適応できない子どもや若者を減らし、将来的に虐待、問題行動、不登校、ひきこもりの予防につなげる。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>・発達障がいやその傾向にある子どもに対して、早期に対応した。 (国から事業所指定を受けて実施)</p> <p>・また、市内の保育園、幼稚園、こども園に幼児の発達等に関する知識を有する職員が訪問し、子どもの発達の遅れや特性に早期に気づき、少しでも早いうちから適切な支援や療育を始めて、発達を促していけるように指導や助言を行った。</p> <p style="text-align: right;">( ) 内数は前年度実績</p>			
		巡回支援	R6実績		
			延べ回数	実件数	延べ件数
		園等巡回支援事業	219回 (198回)	229件 (201件)	328件 (278件)
		相談事業	R6実績		
			実件数		延べ件数
		発達支援相談事業	7件 (20件)	7件 (20件)	
		児童発達支援事業	R6実績		
			開催	実人数	延べ人数
		幼児療育支援教室 (じゃんぶ)	230回 (209回)	75人 (66人)	904人 (815人)
		幼児ことばこころの教室 (さくらんぼ)	152回 (123回)	36人 (22人)	208人 (150人)
		おでかけさくらんぼ	27回 (136回)	10人 (41人)	30人 (282人)
		幼児動作療法教室 (まっぼっくり)	19回 (25回)	2人 (4人)	20人 (34人)
		<p>成果</p> <p>サービス利用に関するアンケートでは、保護者の100%が「満足している」と回答しており、子ども及び保護者双方に対して効果的な支援が提供できた。</p>			



3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																																								
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	子ども若者相談事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																					
		5, 372, 398円	5, 813, 497円	△441, 099円	P166																																					
		目的 次世代を担う佐渡の子ども若者が健やかに成長し、社会との関わりを持ちながら、自立した個人として自己の確立を目指す。																																								
		取組内容・実績 育児不安や不適切な養育をしている親等に対し、関係機関が連携し、妊娠期から乳幼児期、青年期まで切れ目ない支援を行った。 また、不登校、ひきこもりの支援を関係機関と連携して行った。 ( ) 内数は前年度実績																																								
		<table><tr><td rowspan="2">相談事業</td><td colspan="4">R6実績</td></tr><tr><td colspan="2">実件数</td><td colspan="2">延べ件数</td></tr><tr><td>家庭児童相談事業</td><td>400件</td><td>(344件)</td><td>3, 059件</td><td>(2, 892件)</td></tr><tr><td>若者相談事業</td><td>66件</td><td>(68件)</td><td>651件</td><td>(585件)</td></tr></table>				相談事業	R6実績				実件数		延べ件数		家庭児童相談事業	400件	(344件)	3, 059件	(2, 892件)	若者相談事業	66件	(68件)	651件	(585件)																		
		相談事業	R6実績																																							
			実件数		延べ件数																																					
		家庭児童相談事業	400件	(344件)	3, 059件	(2, 892件)																																				
		若者相談事業	66件	(68件)	651件	(585件)																																				
		<table><tr><td rowspan="2">親育ち・子育て応援事業</td><td colspan="4">R6実績</td></tr><tr><td>開催</td><td colspan="2">実人数</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td>BPプログラム（4回コース）</td><td>4回</td><td>(3回)</td><td>4人</td><td>(4人)</td><td>14人</td><td>(10人)</td></tr><tr><td>セカンドステップ（13回コース）</td><td>52回</td><td>(51回)</td><td>69人</td><td>(104人)</td><td>936人</td><td>(1, 176人)</td></tr><tr><td>NPプログラム（7回コース）</td><td>18回</td><td>(27回)</td><td>16人</td><td>(19人)</td><td>60人</td><td>(74人)</td></tr><tr><td>パパさん講座（4回コース）</td><td>4回</td><td>(4回)</td><td>6人</td><td>(11人)</td><td>22人</td><td>(23人)</td></tr></table>				親育ち・子育て応援事業	R6実績				開催	実人数		延べ人数	BPプログラム（4回コース）	4回	(3回)	4人	(4人)	14人	(10人)	セカンドステップ（13回コース）	52回	(51回)	69人	(104人)	936人	(1, 176人)	NPプログラム（7回コース）	18回	(27回)	16人	(19人)	60人	(74人)	パパさん講座（4回コース）	4回	(4回)	6人	(11人)	22人	(23人)
		親育ち・子育て応援事業	R6実績																																							
			開催	実人数		延べ人数																																				
		BPプログラム（4回コース）	4回	(3回)	4人	(4人)	14人	(10人)																																		
		セカンドステップ（13回コース）	52回	(51回)	69人	(104人)	936人	(1, 176人)																																		
		NPプログラム（7回コース）	18回	(27回)	16人	(19人)	60人	(74人)																																		
パパさん講座（4回コース）	4回	(4回)	6人	(11人)	22人	(23人)																																				
成果 児童虐待の防止に寄与するとともに、子どもが一步踏み出せる機会を与えることができた。																																										
子どもが元気な佐渡が島（たからじま）事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																						
	15, 800, 000円	18, 500, 000円	△2, 700, 000円	P166																																						
	目的 佐渡市に生まれた子どもの誕生を祝い、次世代を担う子どもの健やかな成長を願うとともに、子育てに係る費用の経済的負担軽減を図る。																																									
	取組内容・実績 子どもの保護者に対し、出生祝金を支給した。 児童 1 人につき現金10万円支給 ・対象児童数158人（前年度 185人）																																									
	成果 子育てに係る費用の経済的負担軽減が図られた。																																									

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	多子世帯出産 成長祝金事業	8,800,000円	8,800,000円	0円	P166
		<p>目的</p> <p>多子世帯の子育てに係る経済的負担を軽減することにより、子育て世代の第3子以降の妊娠、出産の後押しとなり、かつ、本市の重要課題である少子化の減速、移住・定住の促進及び本市の活性化に寄与する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>子どもの保護者に対し、出生成長祝金を支給した。</p> <p>児童1人につき現金20万円支給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出生成長祝金支給者数 42人（前年度 44人）</li> <li>・対象児童数 44人（前年度 44人）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>多子世帯の子育てに係る費用の経済的負担軽減が図られた。</p>			
5項 災害救助費 1目 災害救助費	(繰明)被災 者住宅応急修 理支援事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		27,184,410円	—	—	P170
		<p>目的</p> <p>災害救助法及び新潟県の令和6年能登半島地震による被災者住宅応急修理事業補助金交付要綱により、被災者住宅の応急修理を市が代行し、被災者の生活再建を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>国県事業を活用し、被災住宅の被害の程度に応じて工事を実施した。</p> <p>応急修理 46件</p> <p>全壊・大規模半壊 1件</p> <p>中規模半壊・半壊 16件</p> <p>準半壊 29件</p> <p>財源内訳</p> <p>国制度 15,881,001円</p> <p>県制度 11,303,409円</p>			
		<p>成果</p> <p>被災住宅において早期復旧を支援し、生命・財産の保護及び生活再建に寄与した。</p>			

3款 民生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
5項 災害救助費 1目 災害救助費	(繰明) 地震 被災復旧応援 金事業	39,684,112円	—	—	P170
		目的 令和6年能登半島地震による被災住宅の復旧経費を扶助し、被災者の生活 再建を図る。			
		取組内容・実績 市単独費により被災住宅等の被害の程度に応じて復旧経費を支援した。			
		応援金 382件 全壊・大規模半壊 1件 中規模半壊・半壊 14件 準半壊 30件 一部損壊 218件 非住宅 80件 構築物 39件			
		成果 被災住宅等において早期復旧を支援し、生命・財産の保護及び生活再建 に寄与した。			

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	すこやかな妊娠・出産事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		23, 482, 646円	23, 792, 834円	△310, 188円	P172
		<p>目的</p> <p>妊産婦やその家族の身体・知識・精神面のケアを行うことにより安心して出産を迎えられるよう支援するとともに、産後ケアの実施により、育児不安を和らげ、子どもの健やかな成長を育む。</p> <p>不妊・不育症に悩む夫婦の負担を軽減し、出産へ結びつける。</p> <p>また、妊産婦への疾病の早期発見・早期治療のため、医療費などの経済的負担を軽減する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○妊婦一般健康診査</p> <p>妊婦253人 歯科64人 産婦151人 (前年度：妊婦259人 歯科78人 産婦174人)</p> <p>○不妊・不育治療費補助</p> <p>治療費及び市外医療機関への交通費と宿泊費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数：計画20件 実績17件 延べ21件</li> <li>うち不妊治療：実績14件 延べ17件</li> <li>うち不育治療：実績2件 延べ3件</li> <li>うち不妊治療及び不育治療：実績1件 延べ1件</li> </ul> <p>(前年度：計画20件 実績20件 延べ25件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金額：2, 114, 060円</li> <li>(うち交通費助成：932, 060円 宿泊費助成：14, 000円)</li> <li>(前年度：3, 018, 690円</li> <li>うち交通費助成：1, 576, 770円、宿泊費助成：39, 020円)</li> </ul> <p>○妊産婦医療費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数：計画75件 実績83件 延べ99件</li> <li>(前年度：計画88件 実績63件 延べ83件)</li> <li>・助成金額：1, 949, 456円 (前年度：1, 498, 230円)</li> </ul> <p>○【R6新規】産後ケア事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所型：計画25件 実績5件 延べ14件</li> <li>訪問型：計画延べ70件 実績41件 延べ84件</li> <li>(1回目44件 2回目18件 3回目11件 4回目7件 5回目4件)</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>○不妊・不育治療費補助</p> <p>不妊・不育治療を行う方は、市外の医療機関に通院する方が多く、治療費に加えて交通費や宿泊費の負担が大きかった。治療費や交通、宿泊費の助成を行ったことで、経済的・精神的不安の軽減につながった。</p> <p>○妊産婦医療費助成</p> <p>令和3年度まで非課税世帯のみを対象としていた。令和4年度以降、課税世帯も対象としたこと、事業を広く周知できたことにより、申請件数が増加し、妊娠期・子育て世帯の経済的支援につながった。</p> <p>○産後ケア事業</p> <p>令和5年度までは、支援が必要と判断された産婦は産婦新生児訪問で複数回訪問をしていた。令和6年度から産後ケア事業を実施したことにより、支援が必要と判断された産婦以外にも幅広い産婦が助産師の支援を受けられ、育児不安の軽減につながった。</p>			

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	健康づくり事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		6,133,382円 (うち103,163円)	3,985,805円	2,147,577円	(3款子育て支援対策事業) P162
		2,996,090円 (うち187,990円)	4,293,809円	△1,297,719円	(4款健康づくり事業) P174
		44,331,072円 (うち282,691円)	43,503,250円	827,822円	(10款スポーツ推進事業) P298
		417,222円	683,104円	△265,882円	(国保特会・健幸ばいんと事業)P24
		48,647,071円 (うち700,600円)	42,799,428円	5,847,643円	(介護特会・一般介護予防事業)P22
	◎健幸ばいんと事業				
目的 健康寿命の延伸を図るために、生活習慣病の予防・改善や運動の習慣化を目的としたポイント事業を実施する。健診・がん検診の受診や各種教室への参加など健康づくりに取り組んだ成果に対してポイント（健幸ばいんと）を付与し、抽選で賞品がもらえる個人インセンティブ事業。 この事業を通じて健康づくりの実践者を増やし、市民の健康意識の向上及び生活習慣の改善を促し、将来的には医療費の減少と健康寿命の延伸を実現する。 庁内8課連携することであらゆる年代へアプローチを行う。					
取組内容・実績 1 事業全体実績（令和7年3月1日現在） ・カード提出者数2,337人（前年度比+339人） ・カード提出枚数6,225枚（前年度比+43人）  2 各事業ごとの取組内容 【3款民生費 2項児童福祉費 6目子育て支援費 子育て支援対策事業】 子育て支援センターの利用や保育園、子育て支援センター等でのボランティアに対してポイントを付与。外出やボランティアによる地域貢献での健康増進を促した。 【4款衛生費 1項保健衛生費 1目保健衛生総務費 健康づくり事業】 健診・がん検診の受診や各種教室への参加など健康づくりに取り組んだ成果に対してポイントを付与し、個人インセンティブをきっかけに「自ら健康づくりに取り組む」市民を増やし、健康課題の改善やフレイル予防につなげた。					

分類	付与対象事業	詳細		参加者数
健康づくり事業	しまびと元気応援団	グループ参加者数		6,824人
		しまびと元気広場来場者数		764人
	健康推進協議会	研修会参加者数		990人
		各種教室参加者数		9,029人
	健康フェスティバル	来場者数		330人
温泉利用	温泉入浴	入浴者数（4施設）		165,756人
母子保健事業	パパママセミナー	出席者数		52組
		子育て講習会出席者数		50人
	離乳食講習会	ステップアップ講習会出席者数		25人
歯科保健事業	フッ化物歯面塗布	1.6歳健診時塗布者数		107人
		歯科医院塗布	受診者数	528人
			受診率	53.7%
	歯科健診	歯周病検診	受診者数	283人
			受診率	11.2%
		後期高齢者歯科健診	受診者数	197人
			受診率	11.5%
健康増進事業	健診・がん検診	健康診査・特定健診受診者数		7,787人
		胃がん検診受診者数		3,198人
		大腸がん検診受診者数		5,398人
		子宮頸がん検診受診者数		1,479人
		乳がん検診受診者数		1,676人
		前立腺がん検診受診者数		2,546人
		肺がん・結核検診受診者数		8,691人
		骨粗鬆症検診受診者数		552人

【10款教育費 6項保健体育費 1目保健体育総務費 スポーツ推進事業】

「健幸ぽいんと事業」について、市民向けスポーツ教室等の際に周知して参加を促した。

「ラジオ体操普及啓発事業」として、対象事業に従来のラジオ体操5回実施で1ポイント付与に加え、グループで実施すると5回実施で5ポイントを付与してラジオ体操の実施を推進した。また、保育園や企業での実施を依頼するとともに、職員自らも実践しようと週1回就業時間前にグループでのラジオ体操を行った。実績として6,225枚のカード提出のうちラジオ体操カードに関する提出が436枚あった。

【国民健康保険特別会計 4款保健事業費 2項保健事業費

1目保健衛生普及費 健幸ぽいんと事業】

特定健診やがん検診の受診、スポーツイベントなどへの参加でポイントを付与した。

国保加入者の取組人数 1,098名

【介護保険特別会計 3款地域支援事業費 1項介護予防・日常生活支援総合事業費 1目介護予防・日常生活支援総合事業費 一般介護予防事業】

介護予防教室や地域の茶の間への参加、介護保険施設等での施設ボランティア参加でポイントを付与することで、介護予防教室等の参加を促した。

成果

参加者アンケートでは、健康づくりに取り組むきっかけとなった者の割合は61.4%（2,337名中1,434名）、健幸ばいんとがきっかけで健診を受けた者の割合5.6%（1,823名中102名）、がん検診を受けた者の割合3.2%（1,752名中56名）や歯科健診を受けた者の割合3.2%（1,707名中54名）、健康教室や運動教室などに参加した者の割合5.2%（1,732名中90名）であった。このほか「健幸ばいんとをきっかけに昨年から運動教室や介護予防教室に通うようになりました。家にこもりがちな生活の改善につながりうれしく感じています。」など多数の健康づくりに寄与しているアンケート回答があり、健幸ばいんと事業の実施により、健康づくりに対する意識の高揚につながった。

また、令和5年度の課題であった、子どもや子育て世代の事業参加について、子ども若者課が参入することで参加者が増え、子どもの頃からの健康習慣や健康への意識付けに寄与した。

○事業参加者数の比較

事業全体

いいねかつちゃカード(生活習慣の改善)

年代別	R5	R6	前年比
10歳未満	26	229	781%
10代	11	29	164%
20代	4	24	500%
30代	32	102	219%
40代	68	97	43%
50代	123	133	8%
60代	511	511	0%
70代	793	784	-1%
80代	394	398	1%
90代	36	30	-17%
計	1,998	2,337	17%

年代別	R5	R6	前年比
10歳未満	0	177	-
10代	1	41	4000%
20代	2	0	-100%
30代	3	51	1600%
40代	14	31	121%
50代	33	17	-48%
60代	53	187	253%
70代	38	152	300%
80代	17	49	188%
90代	2	6	200%
計	163	711	336%

## 4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	高齢者保健事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		864,304円	3,761,500円	△2,897,196円	P174
		<p>◎高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施</p> <p>目的</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で可能な限り、自立した生活と社会参加ができるように、フレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、一人ひとりの状況に応じて医療専門職が積極的に支援に関わり、保健事業と介護予防を一体的に実施する。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>1 ハイリスクアプローチ</p> <p>(1) 栄養改善事業</p> <p>集団後期高齢者健康診査の結果、BMI18.5未満の方等に管理栄養士が個別に栄養指導を実施し、栄養状態の改善につなげた。</p> <p>1) 栄養指導実施率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回指導率 79.6% (113/142人)</li> <li>・指導完了率 87.6% (99/113人)</li> </ul> <p>2) 栄養指導実施者の4～6か月後の栄養等の状態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体重を維持又は増加した割合 77.8% (77/99人)</li> <li>・1日3食食べる割合 93.9% (93/99人)</li> <li>・1日1時間以上の身体活動を実施する割合 50.5% (50/99人)</li> <li>・肉か魚を1日2回以上毎日摂取する割合 64.6% (64/99人)</li> </ul> <p>(2) 生活習慣病重症化予防事業 (高血圧、糖尿病、貧血)</p> <p>集団後期高齢者健康診査の結果、保健師等が健診結果を説明し、適切な生活習慣、受療行動を選択し継続できるよう支援した。</p> <p>1) 初回指導率 (原則訪問、面接) 98.0% (50/51人)</p> <p>継続支援 (電話) 86.0% (43/50人)</p> <p>2) 医療機関受診率 60.8% (31/51人) (R7.2月受診分まで)</p> <p>【内訳】 血圧 59.3% (16/27人)、糖 66.7% (4/6人)</p> <p>貧血 61.1% (11/18人)</p> <p>(3) 健康状態不明者の実態把握事業</p> <p>健診や医療未受診者で、介護サービス等も利用していない健康状態等が不明な方に、保健師等が訪問により後期高齢者の質問票等で健康状態を把握した。</p> <p>1) 健康状態が不明な高齢者の実態把握率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送による回答率 61.7% (29/47人)</li> <li>・訪問又は電話による支援実施率 97.9% (46/47人)</li> </ul> <p>2) 必要なサービス等につながった者の割合 100% (10/10人)</p> <p>2 ポピュレーションアプローチ</p> <p>(1) フレイル予防普及啓発事業</p> <p>地区健康学習会、健康相談・健康教育の場で、医療専門職がフレイル予防について普及啓発を行った。通いの場で後期高齢者の質問票を活用した。</p> <p>1) 参加者数 1,955人 (うち質問票の回答数1,201人 : 61.4%)</p> <p>2) フレイルについての理解度 84.0% (1,187/1,413人)</p> <p>3) 学んだ内容を家族や知人に伝える 95.8% (1,319/1,377人)</p>			



		<p>(2)フレイル相談事業</p> <p>集団健診当日に医療専門職が相談を実施し、気軽に相談できる場を確保した。必要に応じて福祉・保健（介護保険・栄養改善・受診等）のサービスにつないだ。</p> <p>1)フレイル相談実施者数678人 健診受診者の26.0%（678/2,610人）</p> <p>【内訳】包括8.3%（217/2,610人）、栄養11.3%（294/2,610人）、口腔9.3%（242/2,610人） *重複あり</p> <p>2)必要時サービス等につないだ人数 53.9%（111/206人）</p> <p>【内訳】包括38.3%（36/94人）つながった人数/訪問等の約束や受診勧奨をした人数、栄養83.6%（51/61人）栄養改善事業につながった人数/フレイル相談者のうち栄養相談事業を勧めた人数、口腔 47.1%（24/51人）歯科受診者/歯科受診をすすめた人数</p>			
		<p>成果</p> <p>後期高齢者に対して、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の医療専門職が健診や訪問等で早期に相談・指導を実施することで、フレイル予防や疾病の重症化予防につなげることができた。</p> <p>経年的な関わりの中で定期的な健康行動につながっている方もおり、個別支援の対象者から除外した方もいた。また、健康状態不明者については、年々該当者数が減少しており、他の支援者や事業で状態把握ができています。</p>			
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	高齢者健康診 査事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		24,563,841円	24,343,013円	220,828円	P176
		<p>目的</p> <p>高齢者の生活習慣病の発症や重症化の未然防止及び年齢による体重減少や低栄養等のフレイル予防と改善を目的とする。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>後期高齢者医療保険加入者に、所定の検査を行う健康診査を実施し、健診結果を活用した保健指導による生活習慣の改善や必要があれば医療機関への受診勧奨を行った。</p> <p>集団健診会場及び医療機関での健診受診者数 2,610人 うち栄養改善指導対象者142名、生活習慣病重症化予防指導対象者51名</p>			
		<p>成果</p> <p>健康診査対象者のうち疾病の発症リスクの高い個人を各種保健指導の事業につなげることができた。</p>			

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費	出産・子育て 応援事業	21,416,949円	19,220,073円	2,196,876円	P176
		<p>目的</p> <p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与するとともに、出産及び育児に係る経済的負担の軽減を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○母子訪問指導</p> <p>妊婦・子育て世帯に対し、保健師による面談や助産師の訪問等の伴走型支援を実施する。</p> <p>妊婦 70人 延べ 70人 (前年度: 64人 延べ78人)</p> <p>産婦 151人 延べ 192人 (前年度: 162人 延べ378人)</p> <p>新生児 144人 延べ 144人 (前年度: 161人 延べ183人)</p> <p>○出産・子育て応援金 (1人につき5万円支給)</p> <p>出産応援金 (対象: 妊娠の届出をした方) 168人</p> <p>子育て応援金 (対象: 出生した子の養育者) 157人</p>			
		<p>成果</p> <p>悩みを抱える妊産婦の孤立感や不安感を軽減することにつながった。また、子育て世代の経済的負担の軽減につながった。</p>			
1項 保健衛生費 2目 予防費	予防接種費	160,661,780円	135,440,623円	25,221,157円	P176
		<p>◎带状疱疹予防接種費用助成</p> <p>目的</p> <p>带状疱疹による神経痛発症の防止を図り、健康維持を目的とする。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>任意接種である带状疱疹予防接種の接種費用の一部を補助した。(生ワクチン1回2,000円、不活化ワクチン1回5,000円)</li> <li>対象者は、50歳以上の市民。生涯に1クールのための補助とした。(生ワクチンは1回、不活化ワクチンは2回接種)</li> <li>带状疱疹予防接種の接種人数 350人</li> </ul> <p>接種実績 生ワクチン: 21人</p> <p>不活化ワクチン: 1回目 236人、2回目 218人</p>			
		<p>成果</p> <p>神経痛発症に伴うQOL低下の防止に寄与した。</p>			

## 4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 保健衛生費 3目 健康増進費	健康増進費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		75, 508, 189円	79, 542, 475円	△4, 034, 286円	P178
		目的 佐渡市は若い世代からの肥満、糖尿病、高血圧症が多く、新規に透析導入となる患者数が増加傾向にある。また、悪性新生物は死因・医療費ともに1位となっている。市民一人ひとりが健康づくりに関心をもち、生活習慣の改善を定着させるため、健康診査・がん検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を促進し、保健指導により生活習慣病の重症化予防を図る。			
		取組内容・実績 ◎R6健診診査実施状況 ・5月～7月全12会場にて健康診査・特定健康診査を実施した。 （前立腺がん・肝炎ウイルス・肺がん・結核検診同日実施） ①健康診査			
		対象年齢	対象者	受診者	受診率
		19～39歳の男女	7, 220人	354人	4. 9%
		75歳以上の男女	12, 694人	2, 992人	23. 6%
		②骨粗鬆症検診（対象年齢は40・45・50・55・60・65・70歳女性） ・5月、6月、8月全10会場にて骨粗鬆症検診を実施した。			
		対象者	受診者	受診率	
		2, 048人	552人	27. 0%	
③歯周病検診（対象年齢は40・50・60・70歳男女）					
対象者	受診者	受診率			
2, 523人	283人	11. 2%			
④各種がん検診 ・5月～9月全19会場にて胃がん・大腸がん検診を実施した。 1) 胃がん検診					
対象者	受診者	受診率			
36, 047人	3, 198人	8. 9%			
2) 大腸がん検診					
対象者	受診者	受診率			
36, 047人	5, 398人	15. 0%			
・5月～9月全10会場にて子宮頸がん・乳がん検診を実施した。 3) 子宮頸がん検診					
対象者	受診者	受診率			
19, 768人	1, 479人	7. 5%			

4) 乳がん検診（マンモグラフィ）

対象者	受診者	受診率
16,574人	1,676人	10.1%

5) 肺がん・結核検診

対象者	受診者	受診率
36,047人	8,691人	24.1%

6) 前立腺がん検診

対象者	受診者	受診率
14,198人	2,546人	17.9%

7) 肝炎ウイルス検診

対象者	受診者	受診率
36,047人	492人	1.4%

⑤健康相談 ※40～64歳の延べ人数

重点健康相談		総合健康相談	
回数	延べ人数	回数	延べ人数
0回	0人	92回	136人

⑥健康教育 ※40～64歳の延べ人数

集団健康教育	
回数	延べ人数
38回	94人

⑦訪問指導 ※40～64歳の人数

健診要指導者		閉じこもり予防		介護家族者	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
92人	103人	0人	0人	2人	2人

寝たきり者		認知症高齢者	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
1人	1人	1人	1人

成果

昨年度と比較し、がん検診の受診者数は減少したが、健康診査の受診者数は増加した。健診後の保健指導を家庭訪問や面談等対面で行うことで、動機づけができ生活習慣の改善につながった。

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 清掃費 1目 清掃総務費	リサイクル推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		43,650,082円	43,238,185円	411,897円	P186
		<p>目的</p> <p>ごみ分別の徹底を図ることにより、ごみ減量化の推進及び資源の有効活用を推進し、循環型社会の形成を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙収集運搬委託料 16,367,758円 市内の指定場所及び各クリーンセンターにおいて月1回の回収 回収量：851.70t（前年度：938.53t）</li> <li>・ペットボトル再商品化等委託料 4,525,411円 リサイクル量：132.71t（前年度：145.24t）</li> <li>・廃食用油収集運搬委託料 2,201,540円 市内29か所で11,580L回収（前年度：市内29か所で11,150L回収）</li> <li>・使用済自動車等海上輸送補助金 902,764円 5事業者・425台（前年度：6事業者・864台）</li> <li>・段ボールコンポスト作成業務委託料 683,445円 生ごみ発酵消臭剤 935,000円 186個（R6新規事業）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>市民や事業者の協力を得ながら、ごみの分別回収を徹底し、資源としての循環的な利用の推進につながった。</p> <p>また、段ボールコンポストの普及により、1世帯1日あたり生ごみ300gを堆肥化したと推定した場合、年間3,348kgの削減につながり、生ごみ排出抑制につながった。</p>			
	浄化槽事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		15,568,162円	17,004,580円	△1,436,418円	P188
		<p>目的</p> <p>合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽等設置費補助金(5人槽) 21基(前年度23基) 8,190,000円</li> <li>・浄化槽等設置費補助金(7人槽) 5基(前年度5基) 2,370,000円</li> <li>・浄化槽等設置費補助金(10人槽) 1基(前年度0基) 660,000円</li> <li>・単独処理浄化槽又はくみ取り便槽撤去費補助金 2件（前年度2件） 198,000円</li> <li>・浄化槽等設置に係る宅内配管工事費補助金 14件（前年度19件） 4,129,000円</li> <li>・県合併処理浄化槽推進協議会負担金 21,162円</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>公共用水域の水質を保全し、合併処理浄化槽への切替え費用の負担軽減と切替えに伴う改築等の需要増加が図られた。</p>			

## 4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
3項 医療推進費 1目 医療推進総務費	地域医療の人材育成・確保事業	82,037,570円	109,270,920円	△27,233,350円	P194
		<p>目的</p> <p>不足する医療従事者の人材育成と確保を推進し、安定した医療提供体制の構築を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <p>市内における医療技術者を確保するため、医療技術者養成校に進学する学生への奨学金の貸与等の事業を引き続き展開した。</p> <p>○就業支援補助金 1,497,000円 (1,893,000円)</p> <p>・面接旅費：計画3人 実績 0人 (0人)</p> <p>・見学旅費：計画3人 実績 7人 (8人)</p> <p>・就業支度金：計画25人 実績7人 (9人)</p> <p>○研修医等生活支援補助金 118,240円 (121,500円)</p> <p>計画1件 実績1件 (1件)</p> <p>○島外学生就学支援補助金186,000円 (186,000円)</p> <p>計画：新規2人、継続1人 実績：継続1人 (新規1人 継続0人)</p> <p>○島外学生就学支援補助金 (見学旅費) 5,000円 (新規)</p> <p>計画3人 実績1人</p> <p>○定着支援補助金 3,492,000円 (5,416,000円)</p> <p>計画：新規13人、継続23人 実績：新規1人、継続17人 (新規3人、継続20人)</p> <p>○研修医海外留学支援金 12,175,000円 (6,363,000円)</p> <p>長期的に佐渡医療圏に関わる人材確保に向けて研修医の海外留学を支援した。</p> <p>計画2人 実績2人 (1人)</p> <p>○看護師緊急確保事業補助金 1,400,000円 (700,000円)</p> <p>・面接旅費：計画1人 実績0人 (0人)</p> <p>・見学旅費：計画1人 実績0人 (0人)</p> <p>・就業支度金：計画1人 実績2人 (1人)</p> <p>○県医師養成修学資金負担金 5,400,000円 (3,000,000円)</p> <p>新潟県・北里大学と協定を結び医学生に対し修学資金を貸与した。</p> <p>計画：新規1人、継続1人 実績：新規1人、継続1人 (新規1人)</p> <p>○看護職員奨学金貸付金 57,702,400円 (91,530,400円)</p> <p>計画：新規19人、継続45人 実績：新規6人、継続40人 (新規16人、継続52人)</p>			
		<p>成果</p> <p>医療提供体制の維持において必要となる高いスキルを持つ看護人材の確保につなげることができた。</p>			

4款 衛生費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3項 医療推進費 2目 診療所費	診療所運営費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		27,621,583円	30,778,966円	△3,157,383円	P194
		目的 へき地における医療提供体制を確保し、地域住民の健康増進に寄与する。			
		取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績 ・赤泊診療所内科 延べ患者数 8,412人 (8,372人) ・赤泊診療所歯科 延べ患者数 4,372人 (4,794人) ・松ヶ崎診療所 延べ患者数 750人 (894人) ・小木診療所 延べ患者数 7,765人 (7,589人)			
		成果 南佐渡地域の診療体制を維持することができた。			
3項 医療推進費 3目 病院費	病院補助事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		167,000,000円	153,000,000円	14,000,000円	P196
		目的 市内の中核病院として重要な役割を果たしている公的病院の運営費を補助することにより、地域の医療提供体制の維持を図る。			
		取組内容・実績 ・公的病院運営費補助金（佐渡総合病院） 167,000,000円（前年度153,000,000円）			
		成果 市内の中核病院である佐渡総合病院に対して、運営費を補助することにより、医療提供体制の維持が図られた。			

## 5款 労働費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 労働諸費 1目 労働諸費	雇用促進の支援事業	34,811,526円	24,890,693円	9,920,833円	P196
		<b>目的</b> 市内事業所における人手不足を補うため、求職者と事業所を効率よくつなげ、就業機会の最大化を図るとともに、若者やUIターン者の雇用促進、就労支援、離職防止及び就業定着のため、関係機関と連携した取組を実施する。			
		<b>取組内容・実績</b> 1 サドジョブインターンシップ運営事業（実績額 6,028,000円） <b>【取組内容】</b> 企業の採用成功（成果）を目的とし、新卒採用の実績に重点を置き、通年で受入れを行う「佐渡島インターンシップ」と期間限定で行うイベント型インターンシップ「SADO JOB 2024」を実施した。 <b>【実績】</b> ・佐渡島インターンシップ：申込3名（登録事業所数42社） ・SADO JOB 2024：参加学生4名、受入企業3社 ※全員2年生 最終面接実施件数2件（2名の学生から申出） 内々定数2件（2名の学生が獲得） 2 さどマッチボックス運営業務（実績額 5,500,000円） <b>【取組内容】</b> 求職者が求める柔軟な働き方に対応し、島内企業の人手不足解消につなげるため、単発や短時間の仕事を基本とした求職求人マッチングシステム「さどマッチボックス」の運営及びPRを行った。 <b>【実績】</b> ・求人掲載企業数 186件 ・登録者数（求職者） 2,483人 ・採用件数 4,143件 ・長期雇用に結びついた人数 38人 3 さどUIターン・地元就職応援システム構築業務（実績額 11,693,000円） <b>【取組内容】</b> 学生などのUIターン就職を促進するため、市内企業の企業・求人情報を集約したポータルサイトを構築・公開した。（令和7年1月から運用） あわせて、親世代からの認知向上を目的として島内でのプロモーションを実施し、求職者のエントリーにつなげた。 <b>【実績】</b> ・求人掲載企業数 37件 ・求人エントリー数 16件 ・うち令和6年度中採用数 3件			
		<b>成果</b> 関係機関と連携し、学生、UIターン者、スポットワーカーなど多様なターゲットに対し、島内企業とマッチングする取組を実施したことにより、実際の雇用につなげたほか、企業の認知向上にも貢献した。また、求職者のニーズに合わせた様々な取組により求職者と企業のマッチングの機会を増やし、長期雇用につなげることもできた。			



## 6款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 農業費 1目 農業委員会費	農業委員会運営費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		34,878,550円	35,520,537円	△641,987円	P198
		<p>目的</p> <p>農地法その他の法令に基づき審査・決定する業務及び農地利用最適化業務（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等）、農業の担い手育成・確保等に関する業務を通じて、農業生産力の発展及び農業経営の合理化、農業者の地位向上を図る。</p> <p>取組内容・実績 ( ) 内数は前年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会総会 12回 (12回)</li> <li>・農地部会 (12回) ・農政振興部会 (4回) 16回 (18回)</li> <li>・代表者会議 2回 (3回)</li> <li>・広報・研修委員会 (3回) ・年金委員会 (0回) 3回 (3回)</li> <li>・各種研修会 3回 (4回)</li> <li>・農業委員会大会への参加 20名 (25名)</li> <li>・農業者との意見交換会 1回 (1回)</li> <li>・農地利用最適化推進会議 3回 (2回)</li> <li>・農地パトロール 1回 (2回)</li> </ul> <p>○農地法に基づく処理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地法第3条【売買・贈与・使用貸借】111件・298,692.55㎡ (103件・297,015㎡)</li> <li>・農地法第4条【自己所有農地の転用】8件・5,588.00㎡ (20件・5,314.14㎡)</li> <li>・農地法第5条【転用を目的とした権利移動】29件・22,643.76㎡ (31件・32,185.88㎡)</li> <li>・農地法第18条第6項【賃貸借契約の合意解約】446件・2,003,361㎡ (280件・1,142,147㎡)</li> <li>・その他【農地転用事実確認、非農地証明、2a未満届出（農地法第4条第1項第8号）、非農地通知】293件・526,295.41㎡ (66件・123,865.86㎡)</li> </ul> <p>○農地中間管理事業の特例（農地売買等事業）による処理状況</p> <p>認定農業者等の担い手に農地を集積するため、以下の申請を審議・決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買入 50件・231,511㎡ (34件・152,239㎡)</li> <li>・売渡 50件・231,511㎡ (34件・152,239㎡)</li> </ul> <p>○農業経営基盤強化促進法に基づく処理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用権等促進事業</li> </ul> <p>農業経営基盤強化促進法第18条による農地の利用権設定について、以下の申請を審議・決定した。</p> <p>2,050件・9,573,379㎡ (1,064件・4,604,197㎡)</p> <p>○農業者年金関係</p> <p>農業者年金の新規加入者について、以下の加入者を確保した。</p> <p>裁定請求事務のほか、各種処理を適切に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規加入者 3人 (1人)</li> <li>・既存加入者 56人 (67人)</li> <li>・農業者年金受給者数 469人 (556人)</li> </ul> <p>成果</p> <p>農地法等に基づく権利移動や利用権に関する審議・決定を行い、農地の効率的な利用に寄与するとともに、農業者年金の加入促進等により農業者の地位向上につながった。</p>			

## 6款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 農業費 3目 農業振興費	みどりの食料システム戦略推進事業	6,968,135円	9,337,388円	△2,369,253円	P204
		<p>目的</p> <p>佐渡版みどりの食料システムの実現に向け、食育等を含めた新しいかたちの農業を推進し、農業分野から低炭素社会実現の役割を果たす仕組みづくりを進める。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 水稻の無農薬無化学肥料栽培面積の拡大</p> <p>(1) 無農薬無化学肥料栽培の面積拡大の障壁となっている水田内除草の負担の軽減と土づくりのために有効な機器の導入経費を支援した。</p> <p>水田内除草機等の導入支援 8件</p> <p>(2) 有機農業に取り組む水稻生産者の省力化や栽培技術の安定化のための現地研修会のほか、有機農業を身近に感じてもらえるよう農家以外も参加できる研修会を実施した。</p> <p>①開催日 令和6年6月22日、令和7年3月11日</p> <p>②参加人数 約200人</p> <p>2 農業の価値を未来につなぐ食農教育の実施</p> <p>学校給食への無農薬無化学肥料栽培米の提供を2か月に増やしたほか、保育園に無農薬無化学肥料米及び野菜を提供した。</p> <p>保育園の保護者参観において、子ども若者課と連携して食農教育を実施した。</p> <p>総合的な学習の時間において、SDGsの取組から農業、林業、水産業について学習する機会を設け、「農」「食」「環境」について学ぶ取組を進めた。</p> <p>保育園 22園</p> <p>小・中学校 4校</p>			
		<p>成果</p> <p>園芸における無農薬無化学肥料栽培作物の栽培状況の把握と、水稻における有機栽培の省力化や収量向上が期待できる機器の導入を支援したことで、無農薬無化学肥料栽培に取り組む面積が増加した(64ha→69ha)。食農教育や給食への安全安心な食の提供とあわせて、保護者にも取組を紹介することで、「環境と調和した持続可能な農業」に対する理解の醸成につなげることができた。</p>			

6款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 林業費 2目 林業振興費	森林環境整備 事業	40,656,222円	11,283,533円	29,372,689円	P214
		<p>目的</p> <p>国の森林整備政策である「森林環境譲与税」を活用して、林業事業体の生産性を向上させ素材生産量の増加を図り、佐渡産材の普及啓発事業により木材の市内循環につなげるとともに、建設業などからの異業種参入も検討する。</p> <p>また、昨年度に引き続き重要インフラ事業で電線周辺等の伐採及び竹破砕機による放置竹林の整備を行うことで、防災力の強化につなげる。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 佐渡産材の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛込農村公園防護柵改修工事 防護柵22基 延べ44m 3,481,500円</li> <li>・公共施設木質化 2件（あいかわ開発総合センター、佐和田児童クラブ） 2,001,930円</li> <li>・佐渡緑のフェスティバル負担金 500,000円 参加者78名（前年度62名）</li> <li>・佐渡市地域林政アドバイザー業務委託 1,815,000円 国仲5地域の森林区分（ゾーニング）の見直し及び森林環境譲与税に関する事業、その他林業振興に資する業務の指導・助言等</li> </ul> <p>2 林業事業体の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業機械等レンタル支援事業 2,399,000円 利用団体数4件（前年度2団体）</li> <li>・林業技術者育成支援事業 455,000円 利用団体数2件 延べ25名（前年度2団体 延べ24名）</li> </ul> <p>3 重要インフラ施設周辺森林整備事業 21,424,700円（4.78ha実施） 箇所内訳 両津：2 金井：1 畑野：1 小木：3 赤泊：4 計11箇所 国県補助事業を活用して電線周りのスギ等を伐採し、広葉樹を植栽した。</p> <p>4 竹破砕機レンタル支援事業 1,275,800円（1台購入） 市で購入した竹破砕機を地域団体等は無償で貸し付けることで、放置竹林の解消につなげた。（延べ17団体が利用）</p> <p>5 異業種参入モデル事業 5,748,600円 伐採経験の少ない建設事業体に主伐作業を経験してもらい、素材生産活動への異業種参入を検討した。 新穂地区：1業者 作業面積8a（作業道整備・伐採・集積・運搬等） 赤泊地区：1業者 作業面積10a（準備工・伐採・集積・運搬等）</p>			
		<p>成果</p> <p>林業事業体の施業能力向上及び市内素材生産量の増加につながるとともに、木に親しめる環境整備及び佐渡産木材の利用促進と防災力の強化につながった。</p> <p>また、異業種参入に向けた課題や問題点を検証することができた。</p>			

6款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
3項 水産業費 2目 水産業振興費	水産振興事業	11,839,174円	16,573,870円	△4,734,696円	P218
		<p>目的</p> <p>漁業所得の向上と安定化、並びに新たな担い手確保に向けた取組を推進し、水産業の発展と地域の活性化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 兼業漁業者担い手総合支援事業 225,620円</p> <p>石名集落の空き家を活用して島外からの新規漁業就業者を受け入れ、集落及び指導者からのサポート体制を構築し、半漁半Xモデル事業をスタートした。</p> <p>改修不要な空き家が確保できたため、施設改修工事が不要となった。</p> <p>※半漁半Xモデル：漁業とそれ以外の人材不足となっている産業の組み合わせによる就業希望者を募集、育成、サポートすることで地域の担い手確保を図ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設修繕料 102,520円</li> <li>・手数料 23,100円</li> <li>・体験住宅借上料 100,000円</li> </ul> <p>2 新規漁業就業者支援事業 6,929,000円（継続者：6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規自営漁業者定着支援事業 4,524,000円（継続者：4名）</li> <li>・里親漁家研修支援事業 2,405,000円（継続者：2名）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>新規漁業就業者の定着のため、従来の指導者中心のサポート体制から新たに集落全体でのサポート体制を構築し、定着しやすい環境を整えた結果、県外からの移住者1名の受入れにつながった。この石名集落の取組で佐渡版半漁半Xモデルの方向性が見えてきた。</p>			

7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 商工費 3目 企業誘致推進費	企業誘致・スタートアップ支援事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		50,223,170円	85,827,148円	△35,603,978円	P226
		<p>目的</p> <p>主にスタートアップへの支援を強化し「起業成功率No.1の島」のブランドを構築するとともにワーケーションをきっかけとした関係企業の増加や、若者移住者の受入促進を図る。また、誘致企業の定着化を図るため、地元企業と連携したモデル事業を支援する。さらに、DX人材育成事業を展開することにより、若者の定着化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>①佐渡ビジネスコンテスト2025開催 1/18</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加申込 8社 (内訳：ビジネスモデル部門3社、課題解決型5社)</li> <li>・初の渋谷キューズにおける同時中継も実施し首都圏起業家へPR強化</li> </ul> <p>②SADOワーケーション受入体制構築業務委託 5,935,600円</p> <p>保育園留学9組の受入れ、ワーケーション受入れに係る情報発信の実施</p> <p>③SADOワーケーション誘致推進イベント企画運営委託 1,150,000円</p> <p>ワーケーション誘致イベントの開催 当日参加32人＋アーカイブ配信実施</p> <p>④佐渡ローカルイノベーションプログラム構築委託 2,299,000円</p> <p>市内高校における即戦力人材育成、定着促進を図るための活動委託</p> <p>⑤進出企業定着・地域活性化モデル支援事業 30,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校グラウンドを活用した新たな滞在拠点創出事業</li> </ul> <p>～SADO Stay&amp;Work Sweetground Project～</p>			
		<p>成果</p> <p>整備したサテライトオフィス等に4社の企業を誘致することができた。また、島外ベンチャー企業と地元企業の連携を促進し、地域活性化に資する取組を支援したことにより、DX人材育成や島外ベンチャー企業の定着が図られた。</p>			
	インキュベーションセンター運営事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		3,469,358円	(新規)	—	P228
		<p>目的</p> <p>令和3年度から令和5年度にかけて整備したインキュベーションセンター2箇所を維持管理・運営し、企業誘致を促進する。事業者への貸付収入による自立した運営体制構築のため、入居率100%を目指す。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>佐渡に進出したベンチャー企業のニーズに対応したインキュベーションセンターを維持管理・運営し、ベンチャー企業以外の企業誘致も推進した。</p> <p>○インキュベーションセンター河原田本町賃借料 2,400,000円</p> <p>【入居企業数 (R6年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーションセンター河原田本町：4社、1大学 (入居率83%)</li> <li>・インキュベーションセンター真野新町：2社 (入居率50%)</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>令和6年度には新たに1社が入居し、進出企業の定着につながった。</p>			

## 7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 商工費 3目 企業誘致推進費	お試しオフィス運営事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		12,860,689円	(新規)	—	P228
		<p>目的</p> <p>SADO PORT LOUNGE及び羽茂地区滞在型研修・ワーケーション施設の運営、SAPO PORT LOUNGEシェアオフィスの機能強化により、進出企業定着と更なる企業誘致を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>佐渡の玄関口の両津港の空きスペースを活用して整備したコワーキングスペース・シェアオフィス（SADO PORT LOUNGE）の機能強化整備工事を実施し、企業誘致の強化を図った。</p> <p>工事費3,677,300円</p> <p>また、羽茂地区の古民家を滞在型研修・ワーケーション施設として整備し、民間運営の仕組みを構築。民間と連携した誘致を進め、2社を誘致。</p> <p>委託費1,543,000円</p>			
1項 商工費 4目 観光費	戦略的観光誘客促進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		14,635,417円	29,558,427円	△14,923,010円	P230
		<p>目的</p> <p>佐渡観光の機会損失を避けるための対策や早春の需要喚起を行い、観光誘客の促進を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 貸切バス不足対策支援業務委託（10,769,152円）</p> <p>修学旅行等で佐渡市内の貸切バスが不足する際の旅行需要への対応と、春への団体旅行の分散を促すため、佐渡市外から確保する貸切バス・乗務員に係る航送料等の支援を実施した。</p> <p>(1) 実施期間 令和6年4月1日から6月30日まで</p> <p>(2) 実績 バス航送：178台 利用人数：5,664名</p> <p>2 春の航送料割引キャンペーン業務委託（3,866,265円）</p> <p>さどまる倶楽部会員かつ島内宿泊2泊以上9泊以内で滞在する佐渡への旅行者に対し、新潟港・直江津港発カーフェリーでの乗用車往復航送料運賃の割引を行った。</p> <p>(1) 実施期間 令和7年3月1日から3月31日まで（31日間）</p> <p>(2) 実績 乗用車航送台数：409台 旅客人数：899名</p>			
		<p>成果</p> <p>島内の貸切バスが不足した際にも団体旅行の旅行商品造成を促した。また、3月の航送料割引キャンペーンの効果もあり、乗用車実績が3,374台（前年度3,044台）と、前年度差330台、前年度比110.8%と乗用車による入込数が増加した。</p>			

7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 商工費 4目 観光費	観光地域づくり推進事業	79,505,399円	92,674,492円	△13,169,093円	P232
		<p>目的</p> <p>地域DMOである（一社）佐渡観光交流機構を中心に、地域事業者との連携による自然・文化を活用したコンテンツの提供、観光案内所を拠点とした効果的な情報発信、観光データを用いたマーケティング等を通じて、佐渡全体の観光地域としての底上げを図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○観光案内所運營業務委託（21,048,131円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3か所の案内所で対面、電話、メール等による観光案内を行った。</li> <li>・案内実績：59,574件（前年度60,325件）</li> </ul> <p>○観光情報発信業務委託（13,919,433円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内4 エリア（新潟県内、北陸新幹線沿線、関東地方、関西地方）を対象に、Instagram・Facebookを活用してさど観光ナビ、さどまる倶楽部へ誘導する広告配信を実施した。</li> <li>・市公式観光総合パンフレット「佐渡さんぽ」や観光マップ、エリアパンフレット等を作成し、旅ナカ（旅行中）情報の充実を図った。</li> <li>・アンテナショップでのイベントやインフルエンサーの活用等により、旅マエ（旅行前の検討時期）における情報発信の強化を図った。</li> </ul> <p>○佐渡観光交流機構負担金（44,066,701円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で稼ぐ仕組みづくりに向けて、地域事業者との連携強化による来訪者の受入体制強化、アドベンチャートラベルの推進等に取り組むとともに、観光地マーケティングにおける効果的な顧客管理(CRM)等の仕組みづくりを推進した。</li> <li>・トレッキングの情報発信・受入環境整備、広域連携によるインバウンド対策について、関係者と連携して実施した。</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>（一社）佐渡観光交流機構を中心として、地域事業者との連携による来訪者の受入体制の整備やコンテンツの提供、情報発信等を強化することにより、来訪者の利便性・満足度向上につながるとともに、地域内における観光消費の拡大に寄与した。</p> <p>【参 考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの観光消費額：前年度より4,606円増の56,100円</li> <li>・満足度：前年度より7.3%増の41.3%</li> </ul>			

## 7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 商工費 4目 観光費	観光デジタル 化推進事業	23, 149, 458円	29, 958, 468円	△6, 809, 010円	P234
		<p>目的</p> <p>公式観光情報サイト「さど観光ナビ」や会員システム「さどまる倶楽部」の運営において、顧客に合わせた情報発信や、来訪者属性調査や旅行満足度、観光消費額等の調査分析を実施する。CRM（顧客関係管理）の考えに基づいて、顧客との関係構築を行い、利便性の向上を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○観光ニーズ調査分析業務委託（5, 618, 140円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡汽船の航送実績による来訪者属性の分析を実施した。</li> <li>・来訪者に対して、来訪スポットや旅行満足度、旅行消費額などのアンケート調査を実施した。</li> </ul> <p>アンケート実施期間：令和6年5月29日から令和7年2月28日まで アンケートサンプル数：5, 474 旅行満足度：41. 3% 観光消費額：56, 100円</p> <p>○さど観光ナビ運營業務委託（5, 695, 360円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土産や昼食などに関する記事を島内ライターに依頼し、記事作成を行った。</li> <li>・さど観光ナビのサイトトップで使える写真素材や、体験に関する写真撮影を実施した。</li> </ul> <p>さど観光ナビPV数：5, 198, 020PV（前年比132. 6%） さど観光ナビ訪問回数：1, 821, 618回（前年比117. 8%）</p> <p>○佐渡アイランドサポーター「さどまる倶楽部」運営管理業務委託（7, 875, 600円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さどまる倶楽部の会員特典の手配や管理、新規会員獲得を行った。</li> <li>・さどまる倶楽部利用者からのアンケート結果をもとに、利便性を向上させるための改修を実施した。</li> </ul> <p>会員数：76, 762人（R6年度末時点）（前年度末時点 63, 160人） 新規入会者数：13, 690人 予約手配件数：5, 284件（12, 242人）</p> <p>○CRM運営管理業務委託（3, 935, 058円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さどまる倶楽部会員の顧客の基本情報、メール配信の反応履歴、乗船申込履歴、クーポンの利用履歴などをデータベースに蓄積し、顧客の旅行状況に合わせた情報を配信することで利便性向上を図った。</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>観光情報の充実を図ったことにより、さど観光ナビのPV数やさどまる倶楽部の会員数が順調に増加した。また、旅行満足度は41. 3%と前年から7. 3%増加させることができた。</p>			



7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 商工費 4目 観光費	ナイトツーリズム推進事業	65,957,320円	18,171,660円	47,785,660円	P234
		<p>目的</p> <p>文化財や歴史的建造物を活用したナイトツーリズムを推進し、来訪者の滞在時間の延長を促し、観光消費額の増加を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 夜の観光魅力創生業務委託 (65,808,320円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡金山桜並木ライトアップ 実施時期：令和6年4月1日から令和6年4月14日まで 来場者数：約4,000人</li> <li>・北沢浮遊選鉱場ライトアップ 実施時期：令和6年4月19日から令和7年1月5日まで 来場者数：22,340人</li> <li>・特別な体験コンテンツ造成 (※観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」を活用 国補助10/10) 佐渡ならではの歴史、文化、自然を活用した特別な体験コンテンツを造成することで誘客促進を図った。 実施内容：史跡を活用したナイトツアー 佐渡産品を使用したガストロノミーイベント 佐渡の芸能と連携したジャズイベント 相川エリア回遊チケット 自然や文化を活用した着地型コンテンツ 参加人数：1,817人</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>夜の楽しみ方が限られている中、ナイトコンテンツを実施したことで、来訪者の延泊による滞在時間の延長に寄与した。また、期間限定で実施した特別な体験コンテンツの造成を行うことにより、インバウンドを含めた新たな客層を誘客できた。</p>			

## 7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 商工費 4目 観光費	「佐渡島の金山」世界遺産登録応援誘客促進事業	43,036,534円	43,486,350円	△449,816円	P234
<p>目的</p> <p>「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録による認知向上を見据え、主要交通事業者やメディア等と連携し、ターゲットエリアに対して認知向上と来訪意欲向上のための広告展開を行う。</p> <p>取組内容・実績</p> <p>1 交通事業者と連携した誘客促進</p> <p>主要交通事業者（JAL、ANA、JR東日本、JR西日本、NEXCO東日本）の自社Webメディア及び広告配信プラットフォーム等を活用したプロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事アクセス数：180,038回 表示数：2,800,000回</li> </ul> <p>2 エアトリサイト内プロモーション</p> <p>四季にあわせた佐渡の観光情報の特集ページを制作し、エアトリ国内ツアー・ニーズツアーの2サイトのトップページにバナー掲載することで特集ページへ誘導するとともにメルマガ・SNS配信により既存ユーザーに対する情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集ページへの訪問回数 約6,500回</li> </ul> <p>3 新聞広告及びWebでのプロモーション</p> <p>首都圏向け、県内向けの新聞広告を活用したプロモーションにより、佐渡の観光コンテンツ等を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読売新聞1都3県版朝刊15段カラー広告（8/24掲載）</li> <li>・新潟日報朝刊5段カラー広告（10/1、10/19、1/18掲載）</li> <li>・新潟日報朝刊SADOプライド特集内全2段相当広告（10/30、3/8）</li> <li>・新潟日報SADOプライドHP内バナー広告（10/1～2/28）</li> <li>・新潟日報公式LINEを活用した広告配信（2/5）</li> <li>・新潟日報パスポートメールを活用した広告配信（2/7）</li> </ul> <p>4 YouTuberによる情報発信《けえ【島育ち】連携》</p> <p>「佐渡島の金山」をはじめとする地域資源について、島内児童の探求学習や修学旅行で佐渡を訪問する島外児童の事前学習に活用できる動画を作成することにより、地域資源に対する理解を深めるとともに認知度の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「佐渡島の金山」に関する学習教材動画の制作（データ納品）</li> <li>・「佐渡島の金山」および相川周辺のプロモーション動画制作（1/16けえ【島育ち】YouTubeチャンネルで公開）</li> </ul> <p>5 ケーブルテレビ事業者と連携した上越周辺エリア誘客促進プロモーション</p> <p>「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を契機に、ケーブルテレビ事業者（上越ケーブルビジョン）と連携した広告宣伝と、認知度向上のためのプロモーションを行い、佐渡への誘客促進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーション映像制作（4テーマ）</li> <li>・CM制作・放送（3/1～3/14 上越ケーブルビジョン及び近隣ケーブルテレビにて放送）</li> <li>・「上越妙高タウン情報」「雪国ジャーニー」へのCM掲載（3/10）</li> <li>・「雪国商店（東京交通会館店、KITTE大阪店、CoCoLo新潟店）」での放映</li> </ul> <p>成果</p> <p>世界文化遺産登録決定後、主要交通事業者等のWebメディア、新聞メディア、YouTube、ケーブルテレビといった多様な媒体で情報発信を展開することで、新規を含めた幅広い層に「佐渡島の金山」の認知と佐渡観光の意識付けを行うことができた。</p>					

## 7款 商工費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																		
1項 商工費 4目 観光費	持続可能な観光推進に向けた受け入れ環境整備事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書															
		38,622,002円	(新規)	—	P234															
		目的 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を見据え、来訪者の二次交通手段の確保や乗用車利用を抑制した行程を促すことなどによって、オーバーツーリズムの抑制を図るとともに、来訪者の満足度向上を目指す。																		
		取組内容・実績																		
		1 世界遺産ガイドツアー実証運行委託（6,792,800円） 「きらりうむ佐渡⇄鶴子銀山」及び「西三川ゴールドパーク⇄西三川砂金山」のガイドツアーを実施した。 (1) 実施期間 令和6年7月26日から8月31日まで（37日間） (2) 利用者数 「きらりうむ佐渡⇄鶴子銀山」 41名 「西三川ゴールドパーク⇄西三川砂金山」 50名																		
		2 ライナーバス運行業務委託（23,665,810円） (1) ライナーバス運行業務委託 花鑑賞・トレッキング・薪能等を目的とする来訪者に向けたライナーバスを運行した。																		
		<table><tr><td>バス種別</td><td>両津港⇄ ドンデン高原</td><td>両津港 ⇄白雲台</td><td>両津港 ⇄二ツ亀</td><td>島内宿泊施設 ⇄薪能会場</td></tr><tr><td>運行期間</td><td colspan="2">R6.4.27～R6.5.31</td><td>R6.5.25～R6.6.9</td><td>R6.5.4～R6.10.5</td></tr><tr><td>利用者数(名)</td><td>1,157</td><td>576</td><td>265</td><td>110</td></tr></table>				バス種別	両津港⇄ ドンデン高原	両津港 ⇄白雲台	両津港 ⇄二ツ亀	島内宿泊施設 ⇄薪能会場	運行期間	R6.4.27～R6.5.31		R6.5.25～R6.6.9	R6.5.4～R6.10.5	利用者数(名)	1,157	576	265	110
		バス種別	両津港⇄ ドンデン高原	両津港 ⇄白雲台	両津港 ⇄二ツ亀	島内宿泊施設 ⇄薪能会場														
		運行期間	R6.4.27～R6.5.31		R6.5.25～R6.6.9	R6.5.4～R6.10.5														
		利用者数(名)	1,157	576	265	110														
(2) 「佐渡島の金山」ライナーバス運行業務委託 ア 世界遺産ライナーバス運行業務委託 両津港⇄金井⇄佐和田⇄きらりうむ佐渡までのライナーバスを運行した。 (ア) 実施期間 令和6年7月26日から8月31日まで（37日間） (イ) 利用者数 154名 イ 相川周遊バス運行業務委託 きらりうむ佐渡を発着とし、史跡佐渡金山周辺エリアにおいて周遊バスを運行した。 (ア) 実施期間 令和6年4月26日から10月31日まで（189日間） (イ) 利用者数 延べ4,537名																				
3 貸切バス不足対策支援業務委託（6,286,492円） 修学旅行等で佐渡市内の貸切バスが不足する際の旅行需要への対応と、秋・冬への団体旅行の分散を促すため、佐渡市外から確保する貸切バス・乗務員に係る航送料等の支援を実施した。 (1) 実施期間 令和6年7月1日から12月31日まで (2) 実績 バス航送：140台 利用人数：3,809名																				
4 キャッシュレス決済導入支援業務（1,385,200円） 今後増加する見込みであるインバウンド（訪日客）のニーズに対応するため、クレジットカード決済や電子マネー・QRコード決済などに対応した端末の導入に係る費用の一部を補助するとともに、端末導入や使用方法に関する説明会を実施した。 (1) 実施期間 令和6年11月25日から令和7年2月7日まで (2) 実績 端末導入：19件 説明会参加者：27名（2回合計）																				
成果 各種ライナーバス・周遊バスの運行によって、一定数の来訪者の利便性を確保することができたと考えている。また、島内飲食店等にキャッシュレス決済端末を導入したことにより、多様な決済方法に対応することができる店舗が増加した。																				

## 7款 商工費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 商工費 4目 観光費	世界遺産登録 記念歴史・文化・自然体験 キャンペーン 事業	3,373,495円	(新規)	—	P236
		<p>目的</p> <p>世界文化遺産登録決定により増加が見込まれる来訪者をターゲットとして、レンタサイクル料金の割引や着地型体験プログラムを購入される方へのクーポンの付与を行うことで、アクティビティを通じた佐渡の魅力の再発見につなげるとともに、滞在時間の延長と観光消費額の拡大を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>1 エンジョイプラン（サドベンチャー）（乗船券付きプランを含む）及び体験クーポン付き企画乗船券への2,000円相当のクーポン付与</p> <p>2,000円以上のサドベンチャー体験商品の申込者に対してクーポン券を配布した。</p> <p>(1) 実施期間 令和6年10月1日から令和7年2月28日まで</p> <p>(2) 実績 クーポンの受取人数 合計768名</p> <p>※全配付枚数4枚セット×768名=3,072枚</p> <p>うち、回収枚数2,905枚（クーポン利用率94%）</p> <p>2 相川・小木周遊キャンペーン（レンタサイクル貸出し2時間無料）</p> <p>（一社）佐度観光交流機構で貸出しするレンタサイクルの2時間基本料金を無料とした。</p> <p>(1) 実施期間 令和6年8月24日から令和7年2月28日まで</p> <p>(2) 実績 レンタサイクル利用者数 646件</p>			
		<p>成果</p> <p>お得感のあるクーポンの付与やレンタサイクルの2時間無料貸出しにより、文化や自然等、佐渡ならではの魅力に触れていただく体験の利用促進につながり、滞在時間の延長などに一定程度の効果があった。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 土木管理費 2目 安全・安心ま ちづくり費	安全・安心ま ちづくり事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		211, 467, 873円	210, 726, 195円	741, 678円	P240
		◎安全・安心まちづくり事業(地域対策)			
		目的 道路及び河川施設等を適切に管理することにより、安全・安心なまちづ くりを推進する。			
		取組内容・実績 主に各集落（地域）からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的な バランスに配慮しつつ緊急度を勘案して実施した。			
		◎発注件数 委託料 40件（前年度17件） 8, 812, 540円 工事請負費 177件（前年度193件） 100, 878, 250円			
		・両津地区（夷26号線 道路舗装修繕工事 ほか37件） ・相川地区（相川100号線 道路舗装修繕工事 ほか22件） ・佐和田地区（河原田58号線 道路舗装修繕工事 ほか17件） ・金井地区（金井17号線 道路陥没修繕工事 ほか25件） ・新穂地区（瓜生屋・田野沢21号線 道路修繕工事 ほか22件） ・畑野地区（1区目黒町13号線 側溝改修工事 ほか29件） ・真野地区（滝脇1号線 道路修繕工事 ほか18件） ・小木地区（堂釜1号線 路肩修繕工事 ほか16件） ・羽茂地区（中素浜線 路肩修繕工事 ほか15件） ・赤泊地区（外山1号線ほか 道路舗装修繕工事 ほか6件）			
		成果 道路施設の補修及び修繕工事を行ったことにより、円滑な通行と安全 を確保した。また、地元建設業者へ継続的な雇用の確保につながった。			
		◎市道等環境保全事業（高齢化集落支援）			
		目的 高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業（道普請）を、地元 建設業者に請け負わせることにより、安全・安心なまちづくりを推進する。			
		取組内容・実績 各集落（地域）からの市道等の維持管理作業の要望に対し実施した。			
		◎発注件数 委託料 192件（前年度196件） 70, 253, 370円 ・両津地区（東強清水 道路維持業務委託 ほか49件） ・相川地区（北川内集落 道路維持業務委託 ほか28件） ・佐和田地区（田中集落 道路維持業務委託 ほか13件） ・金井地区（関根集落 道路維持業務委託 ほか1件） ・新穂地区（新穂武井集落 道路維持業務委託 ほか5件） ・畑野地区（下何代集落 道路維持業務委託 ほか20件） ・真野地区（背合集落 道路維持業務委託 ほか8件） ・小木地区（諏訪町 道路維持業務委託 ほか10件） ・羽茂地区（切越集落 道路維持業務委託 ほか30件） ・赤泊地区（柳沢集落 道路維持業務委託 ほか18件）			
		成果 地元建設業者の更なる地域貢献を促し、高齢化集落の生活環境の維持と 安全を確保した。対象集落 288集落、実施集落 192集落（66.7%）			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 道路橋りょう 費 2目 道路橋りょう 維持費	道路橋りょう 維持補修事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		337, 614, 770円	334, 379, 300円	3, 235, 470円	P242
		<p>目的</p> <p>道路維持管理計画等に基づき、適切に施設等を管理する。また、これに付随する施設等の管理も含め、交通の安全を確保する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路舗装等修繕工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 35件（前年度34件） 310, 695, 200円</p> <p>&lt;舗装修繕&gt; 16件（前年度17件） 146, 488, 200円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（城腰12号線 道路舗装修繕工事 ほかに3件）</li> <li>・相川地区（戸中41号線 道路舗装修繕工事）</li> <li>・佐和田地区（二宮幹線16号 道路舗装修繕工事）</li> <li>・金井地区（泉117号線 道路舗装修繕工事）</li> <li>・新穂地区（大野9号線 道路舗装修繕工事 ほかに1件）</li> <li>・畑野地区（峠 河内線 道路舗装修繕工事）</li> <li>・真野地区（四日町40号線ほか 道路舗装修繕工事）</li> <li>・小木地区（入舟町線ほか 道路舗装修繕工事）</li> <li>・羽茂地区（大峰線 道路舗装修繕工事 ほかに1件）</li> <li>・赤泊地区（外山3号線 道路舗装修繕工事 ほかに1件）</li> </ul> <p>&lt;側溝等修繕&gt; 9件（前年度9件） 60, 123, 800円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（吾潟39号線 安全施設修繕工事）</li> <li>・金井地区（金井21号線 側溝修繕工事(債務負担)）</li> <li>・真野地区（田切須12号線 道路側溝修繕工事 ほかに1件）</li> <li>・小木地区（小木半島巡環線 道路側溝改修工事 ほかに1件）</li> <li>・羽茂地区（上大谷線 道路側溝改修工事）</li> <li>・赤泊地区（赤泊1号線 道路側溝改修工事 ほかに1件）</li> </ul> <p>&lt;法面・盛土対策&gt; 9件（前年度8件） 103, 681, 700円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（海府幹線3号線 道路法面補修工事）</li> <li>・相川地区（戸中1号線 法面保護工事 ほかに1件）</li> <li>・佐和田地区（泉117号線 路肩改修工事）</li> <li>・畑野地区（飯持 野田線 法面对策工事）</li> <li>・小木地区（城山線 法面保護工事）</li> <li>・羽茂地区（飯岡線 法面对策工事）</li> <li>・赤泊地区（徳和19号線 法面修繕工事 ほかに1件）</li> </ul> <p>&lt;橋梁補修&gt; 1件（前年度0件） 401, 500円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑野地区（杉平橋（5区小倉29号線） 橋梁補修工事）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>計画的かつ経済的に事業を実施し、道路維持管理計画を推進することにより交通の安全を確保することができた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 道路橋りょう 費 2目 道路橋りょう 維持費	(繰明) 道路 橋りょう維持 補修事業	287, 826, 742円	—	—	P244
		<p>目的</p> <p>道路維持管理計画等に基づき、適切に施設等を管理する。また、これに付随する施設等の管理も含め、交通の安全を確保する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路舗装等修繕工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 50件 254, 647, 600円</p> <p>&lt;舗装修繕&gt; 8件 72, 983, 300円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区(海府幹線1号線 道路舗装修繕工事 ほかに2件)</li> <li>・相川地区(橋14号線 道路舗装修繕工事)</li> <li>・佐和田地区(沢根150号線 横断側溝改修 本復旧工事)</li> <li>・金井地区(金井5号線 道路舗装修繕工事)</li> <li>・畑野地区(2区畑野17・19号線 道路舗装修繕工事)</li> <li>・赤泊地区(徳和3号線 道路舗装修繕工事)</li> </ul> <p>&lt;側溝等修繕&gt; 4件 17, 313, 700円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相川地区(相川44号線 道路修繕工事 ほかに1件)</li> <li>・赤泊地区(赤泊2号線 道路側溝改修工事 ほかに1件)</li> </ul> <p>&lt;法面对策&gt; 6件 138, 387, 300円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区(海府幹線3号線 道路法面補修工事)</li> <li>・相川地区(戸中1号線 法面保護工事)</li> <li>・佐和田地区(二宮幹線6号 道路法面補修工事)</li> <li>・畑野地区(峠 河内線 法面对策工事 ほかに1件)</li> <li>・小木地区(小木半島巡環線 法面保護工事)</li> </ul> <p>&lt;橋梁補修&gt; 32件 25, 963, 300円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区(下久知2号橋(城腰4号線) 橋梁補修工事 ほかに10件)</li> <li>・相川地区(戸地4号橋 橋梁補修工事 ほかに5件)</li> <li>・佐和田地区(砂田橋(沢根8号線) 橋梁撤去工事)</li> <li>・畑野地区(畑野排水路4号橋(2区目黒町17号線) 橋梁補修工事ほかに3件)</li> <li>・真野地区(浜方橋(新町8号線) 橋梁補修工事 ほかに1件)</li> <li>・小木地区(田野浦橋1号橋(田野浦線) 橋梁補修工事)</li> <li>・羽茂地区(家戸川橋(西方線) 橋梁補修工事 ほかに3件)</li> <li>・赤泊地区(新高森橋(南新保16号線) 橋梁補修工事 ほかに2件)</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>計画的かつ経済的に事業を実施し、道路維持管理計画を推進することにより交通の安全を確保することができた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 道路橋りょう 費 2目 道路橋りょう 維持費	道路メンテナ ンス事業（橋 梁等の定期点 検及び修繕計 画策定）	2, 440, 900円	46, 231, 900円	△43, 791, 000円	P242
		目的 道路重要構造物（橋梁、トンネルなど）に対し5年に一度の定期点検を行い、長寿命化修繕計画の基礎資料とする。			
		取組内容・実績 調査地区や橋梁の重要度を考慮し、緊急度を勘案して計画的に実施した。			
		◎発注件数 委託料 4件 （前年度2件） 2, 440, 900円 ＜橋梁点検＞ ・金井地区（新夏渡橋） ・真野地区（中尾橋 ほか1橋） ・小木地区（舟下し橋）			
		成果 環境計量測定分析業務を実施し、PCBの無含有を確認し、次期長寿命化修繕計画に反映させることができた。			



8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 道路橋りょう 費 2目 道路橋りょう 維持費	社会資本整備 総合交付金事業（道路その他修繕）	17,358,100円	0円	17,358,100円	P242
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（法面）の修繕工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 1件 15,300,000円</p> <p>&lt;法面修繕&gt;</p> <p>・真野地区（椿尾1号線）</p>			
		<p>成果</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用し、長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			
	(繰明) 社会 資本整備総合 交付金事業 (道路その他 修繕)	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		22,111,100円	—	—	P244
		<p>目的</p> <p>「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（法面）の修繕工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 1件 22,111,100円</p> <p>&lt;法面修繕&gt;</p> <p>・真野地区（椿尾1号線）</p>			
		<p>成果</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用し、長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 道路橋りょう 費 2目 道路橋りょう 維持費	道路メンテナ ンス事業（橋 梁その他修 繕）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		79,497,900円	19,900,000円	59,597,900円	P242
		<p>目的 「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（橋梁等）の修繕工事を実施した。 ◎発注件数 工事請負費 6件（前年度2件） 78,859,900円 ＜橋梁修繕＞ ・両津地区（久知河内1号橋） ・相川地区（後尾5号橋） ・新穂地区（熊野橋） ・畑野地区（欠向橋） ・真野地区（新鳥居橋） ・小木地区（井坪橋）</p>			
		<p>成果 道路局所管補助金を活用し、長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			
	（繰明）道路 メンテナンス 事業（橋梁そ の他修繕）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		101,568,600円	—	—	P244
		<p>目的 「道路ストック総点検」及び「重要構造物の定期点検」に基づく長寿命化修繕計画により、適切に施設等を管理する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路施設（橋梁等）の修繕工事を実施した。 ◎発注件数 工事請負費 9件 96,662,600円 ＜橋梁修繕＞ 7件 86,200,700円 ・両津地区（久知河内1号橋） ・相川地区（後尾5号橋 2件） ・畑野地区（欠向橋） ・真野地区（高崎35号橋 2件） ・小木地区（井坪橋） ＜トンネル修繕＞ 2件 10,461,900円 ・小木地区（沢崎トンネル ほか1本）</p>			
		<p>成果 道路局所管補助金を活用し、長寿命化修繕計画を推進することにより適切な維持管理を図ることができた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 道路橋りょう 費 4目 道路橋りょう 新設改良費	道路橋りょう 改良舗装事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		159,486,922円	150,958,686円	8,528,236円	P244
		<p>目的 市民生活に密着した市道における安全性と利便性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 12件 (前年度13件) 140,605,600円</p> <p>&lt;道路改良&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区 (立野12号線 道路改良舗装工事 ほか1路線)</li> <li>・相川地区 (大倉1号線 道路改良工事)</li> <li>・佐和田地区 (二宮幹線2号ほか 道路改良工事 ほか2路線)</li> <li>・金井地区 (吉井本郷17号線 道路改良工事 ほか1路線)</li> <li>・新穂地区 (潟上103号線 道路改良舗装工事)</li> <li>・畑野地区 (5区小倉12・50号線 道路改良工事)</li> <li>・真野地区 (四日町40号線他 道路側溝改修工事 (債務負担))</li> <li>・赤泊地区 (下川茂23号線 道路舗装工事)</li> </ul>			
		<p>成果 狭小な道路を改良舗装工事することにより緊急車両が通行できるようになり、円滑な通行と安全を確保することができた。</p>			
	(繰明) 道路 橋りょう改良 舗装事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		178,587,307円	—	—	P246
		<p>目的 市民生活に密着した市道における安全性と利便性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績 施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 15件 121,930,400円</p> <p>&lt;道路改良&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区 (立野12号線 道路改良舗装工事 ほか1路線)</li> <li>・相川地区 (大倉1号線 道路改良工事 ほか1路線)</li> <li>・佐和田地区 (二宮幹線2号ほか 道路改良舗装工事 ほか1路線)</li> <li>・金井地区 (吉井本郷17号線 道路改良工事 ほか4路線)</li> <li>・新穂地区 (長畝90号線 道路改良舗装工事)</li> <li>・畑野地区 (4区宮川48号線 道路改良工事)</li> <li>・羽茂地区 (寺田線 道路改良工事 ほか1路線)</li> </ul>			
		<p>成果 狭小な道路を改良舗装工事することにより緊急車両が通行できるようになり、円滑な通行と安全を確保することができた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 道路橋りょう費 5目 市道整備費	社会資本整備 総合交付金事業 (改築系)	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		15, 149, 576円	88, 759, 827円	△73, 610, 251円	P246
		<p>目的</p> <p>主要な集落間をつなぐ路線や国県道などの主要幹線と接続する路線及び公共施設へのアクセス道について、利便性及び安全性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>道路改良舗装のための用地買収及び建物等の補償を実施した。</p> <p>土地購入費 281, 344円 物件補償費 14, 269, 393円</p> <p>&lt;道路改良&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（見立1号線）</li> <li>・佐和田地区（二宮85号線）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>用地取得及び物件補償が進展したことで道路改良舗装工事を実施する見通しが立ち、安全な道路づくりを推進することができた。</p>			
	(繰明) 社会 資本整備総合 交付金事業 (改築系)	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		99, 359, 134円	—	—	P246
		<p>目的</p> <p>主要な集落間をつなぐ路線や国県道などの主要幹線と接続する路線及び公共施設へのアクセス道について、利便性及び安全性の向上を図り、安全・安心な道路づくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や路線の重要度を考慮し、緊急度を勘案して道路改良舗装工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 2件 63, 805, 600円</p> <p>&lt;道路改良&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（平松2号線）</li> <li>・佐和田地区（二宮85号線）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路改良舗装工事を行うことで、線形が良くなり拡幅もされ、利便性と安全性が向上することで安全な道路づくりを推進することができた。</p>			

## 8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
2項 道路橋りょう費 5目 市道整備費	交通安全対策事業（通学路緊急対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		15,400,000円	0円	15,400,000円	P246
		<p>目的</p> <p>通学路等の交通安全確保に基づいた合同点検で抽出された対策必要箇所において、歩道整備を実施し、通学路における交通安全を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>通学路における交通安全を確保するため、歩道整備工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 1件 15,400,000円</p> <p>&lt;歩道整備&gt;</p> <p>・佐和田地区（二宮幹線11・18号）</p>			
		<p>成果</p> <p>歩道整備を実施し、通学路における交通安全の確保が図られた。</p>			
	（繰明）交通安全対策事業（通学路緊急対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		10,353,166円	—	—	P246
		<p>目的</p> <p>通学路等の交通安全確保に基づいた合同点検で抽出された対策必要箇所において、歩道整備を実施し、通学路における交通安全を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>通学路における交通安全を確保するため、歩道整備工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 1件 3,186,700円</p> <p>&lt;歩道整備&gt;</p> <p>・佐和田地区（二宮幹線11・18号）</p>			
		<p>成果</p> <p>歩道整備を実施し、通学路における交通安全の確保が図られた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 道路橋りょう 費 8目 除雪費	道路除雪事業	873,541,464円	586,737,726円	286,803,738円	P248
		<p>目的</p> <p>基幹道路を始め生活道路が積雪時においても充分機能するよう除雪体制等の整備を図り、安全安心な生活環境づくりを進める。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>国からの交付金（3ヵ年計画）を活用し、デジタル技術による除雪管理体制の機能向上と業務の効率化を図りながら、除雪事業を実施した。</p> <p>◎発注件数 委託料 1件（前年度1件） 8,360,000円</p> <p>・除雪運行管理システム導入委託</p>			
		<p>成果</p> <p>除雪作業を担う全事業者にGPS端末を貸与することにより、効率化が図られ、適正な事務処理ができた。</p>			

## 8款 土木費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
3項 河川費 1目 河川総務費	河川改修事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		26,166,824円	88,873,600円	△62,706,776円	P248
		<p>目的</p> <p>過去の台風や大雨等に際し幾度となく危機的な状況があり、隣接地や下流の道路に危険を及ぼしてきたため、護岸整備と河床掘削を実施することで、近隣住民の安全の確保を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や河川の重要度を考慮し、緊急度を勘案して河川・排水路整備工事と河川浚渫工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 4件 (前年度18件) 20,047,500円</p> <p>&lt;河川整備&gt; 1件 (前年度3件) 8,889,100円</p> <p>・両津地区 (名所川)</p> <p>&lt;排水路整備&gt; 1件 (前年度1件) 6,722,100円</p> <p>・小木地区 (港町線排水路)</p> <p>&lt;河川浚渫&gt; 2件 (前年度14件) 4,436,300円</p> <p>・相川地区 (立髪川)</p> <p>・佐和田地区 (正福寺川)</p>			
		<p>成果</p> <p>護岸工事及び浚渫工事を行い、線形の改善と流下能力が向上したことで安全を確保できた。</p>			
	(繰明) 河川改修事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		42,667,244円	—	—	P250
		<p>目的</p> <p>過去の台風や大雨等に際し幾度となく危機的な状況があり、隣接地や下流の道路に危険を及ぼしてきたため、護岸整備と河床掘削を実施することで、近隣住民の安全の確保を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>施工地区や河川の重要度を考慮し、緊急度を勘案して河川整備工事と河川浚渫工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 4件 35,645,300円</p> <p>&lt;河川整備&gt; 3件 35,029,300円</p> <p>・両津地区 (牛ヶ沢川 ほか1河川)</p> <p>・畑野地区 (盗人川)</p> <p>&lt;河川浚渫&gt; 1件 616,000円</p> <p>・両津地区 (蛭子川)</p>			
		<p>成果</p> <p>護岸工事及び浚渫工事を行い、線形の改善と流下能力が向上したことで安全を確保できた。</p>			

8款 土木費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
7項 住宅費 2目 住宅建設費	耐震診断改修等事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		3, 003, 040円	428, 050円	2, 574, 990円	P256
		目的 佐渡市耐震改修促進計画に基づき、木造住宅等における耐震性能の向上を促すことにより、地震災害から市民の生命・財産を守る。			
		取組内容・実績 木造住宅の耐震診断・改修等に係る補助金について、補助内容の拡充を行い取り組んだ。			
		耐震診断	13件(前年度 1件)	1, 300, 000円	
		耐震改修	1件(前年度 0件)	576, 000円	
除却	2件(R6年度新設)	600, 000円			
危険ブロック塀撤去等	5件(前年度 4件)	500, 000円			
成果 積極的な取組により、補助制度の利用促進が図られ、地震災害における市民の生命・財産の保護に寄与した。					



9款 消防費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 消防費 1目 常備消防費	救急救命対策事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		3, 273, 655円	3, 190, 755円	82, 900円	P260
		目的 救急医療の高度化等に対応するため、救急救命士を含む救急隊員の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図るとともに、救急講習を通じて応急手当の普及啓発を行う。			
		取組内容・実績 (1) 指導救命士の育成 指導的な立場となる救急救命士の育成のため、指導救命士養成研修に救急救命士1名を派遣した。			
		(2) 救急ワークステーション実習の実施 隊員の救急技術の維持向上を強化するため、年間を通じ佐渡総合病院内の救急ワークステーションで実習を実施した。			
		(3) 症例検証 救急医療機関と救急隊員の連携を強化するとともに、知識並びに技術の維持・向上のため、救急事案の症例検討会を実施した。			
		(4) 救急講習を通じた応急手当の普及啓発			
講習種類		講習回数（前年度）	受講者数（前年度）		
普通救命講習Ⅰ		13回（14回）	124人（120人）		
普通救命講習Ⅱ		28回（31回）	228人（226人）		
普通救命講習Ⅲ		1回（2回）	2人（19人）		
救急講習		109回（116回）	1, 907人（2, 150人）		
成果 指導救命士1名育成、救急ワークステーション実習、症例検証の実施により救急救命士を含む救急隊員の知識、技術の維持向上につながった。また、救急講習を通じてバイスタンダー（救命現場において、その場に居合わせた人のことで、傷病者に応急手当を行う人）の育成、応急手当に対する意識の啓発が図られた。					

## 10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 教育総務費 2目 事務局費	人件費・事務局費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		479,452,471円	415,295,682円	64,156,789円	P264
		◎スクール・サポート・スタッフ配置			
		目的 教職員が授業準備や教材研究、児童生徒への指導に専念できる環境を整備する。			
		取組内容・実績 スクール・サポート・スタッフを10名増員し25名とし、市内すべての小中学校に配置（兼務校による配置を含む。） ・報酬実績（25名分） 13,433,609円			
1項 教育総務費 3目 教育振興費	国際教育AL T事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		6,610,883円	2,724,356円	3,886,527円	P270
		目的 小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を図る。			
		取組内容・実績 外国語指導助手を5名増員し13名とし、市内すべての中学校に配置 中学校区内の小学校及び幼稚園で英語指導を実施			
		成果 児童・生徒の英語コミュニケーション能力の向上、異文化理解の促進、国際社会への意識向上、教員の指導力向上につなげることができた。			
	奨学金貸与事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		81,487,170円	167,143,860円	△85,656,690円	P270
		目的 奨学金を貸与することにより、教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに将来にわたる定住を促す。			
		取組内容・実績 令和6年度貸与者：91名（前年度：187名） ・高校 4名（継続： 4、新規：0） ・専門、短大、大学 80名（継続： 80、新規：0） ・誘致校 7名（継続： 7、新規：0）			
		成果 意欲的に学業に専念できるよう教育の機会均等に寄与した。			

## 10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 教育総務費 3目 教育振興費	がんばる若者 支援事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		8, 530, 320円	11, 253, 534円	△2, 723, 214円	P270
		目的 誠実で豊かな人間性に基づいた、社会に貢献する人材、佐渡市勢の発展に寄与する人材育成を図る。			
		取組内容・実績 令和6年度支援生：8名（前年度：10名） ・新規支援生：0名、継続支援生：8名 支援金の支払い ・入学支援金 0円 ・月額支援金 8, 088, 000円			
		成果 平成20年度から令和6年度末までに33名を支援し、大学卒業後は、医師、看護師、教師等として各方面で活躍している。			
	学校 I C T 推 進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		92, 638, 163円	(新規)	—	P272
		目的 ICTを活用して学校教育の質を高め、児童・生徒の学力向上や情報活用能力の育成を図る。			
		取組内容・実績 ○タブレット端末用学習ソフトの購入 個別の学習進度に応じた問題提供、即時のフィードバック、学習履歴の詳細な記録と分析が可能なソフトのライセンスを購入した。 ・AIドリル使用料 3, 005人分 11, 014, 300円 ・クラウド版デジタル教科書システム使用料（小学校分）14, 225, 200円 ○小中学校タブレット端末購入 110台 8, 816, 500円 ○校務用ノートパソコン購入 70台 7, 161, 000円 ○電子黒板購入 8台 5, 170, 000円			
		成果 AIドリル等の導入によって生徒一人ひとりの学習進度に応じた教育ができるようになり、教師の負担を軽減し、データに基づいて事業や教材を評価・改善できる環境が整備された。			

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 教育総務費 3目 教育振興費	学校再編統合 関連事業	1,609,200円	(新規)	—	P274
		<p>目的</p> <p>令和4年9月に策定した「佐渡市小学校・中学校再編統合計画」を推進するため、「佐渡市学校再編統合協議会設置要綱」に基づき協議会を設置し、検討、協議を行う。</p> <p>また、再編統合により閉校となる学校の閉校記念事業の実施を支援するため、当該事業を行う団体に対し補助金を交付する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○令和8年4月の統合に向けた決定すべき事項の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相川小学校・七浦小学校・金泉小学校合同再編統合協議会（4回）</li> <li>・新穂小学校・行谷小学校合同再編統合協議会（3回）</li> </ul> <p>○再編統合計画の計画期間10年のうち前期5年間に計画されており、統合の可否について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河原田小学校再編統合協議会（1回）</li> <li>・八幡小学校再編統合協議会（2回）</li> <li>・両津小学校再編統合協議会（2回）</li> <li>・河崎小学校再編統合協議会（2回）</li> </ul> <p>○閉校記念事業補助金 1,000,000円</p> <p>令和7年4月南佐渡中学校と赤泊中学校統合に係る赤泊中学校閉校記念事業に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉校式、惜別の会</li> <li>・閉校記念誌の制作</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>前期計画における再編統合に向けた検討、協議がなされた。</p> <p>赤泊中学校の閉校記念事業に対する補助金の交付により、閉校記念事業運営に寄与した。</p>			

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
5項 社会教育費 1目 社会教育総務費	学校・家庭・地域の連携促進事業	8,762,458円	6,548,795円	2,213,663円	P286
		<p>目的</p> <p>子どもの家庭における学習時間の確保、学習習慣の確立のため、地域人材や大学生等を利用した「土曜学習」や「地域未来塾」等の学校外で学習する機会の充実を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○土曜学習</p> <p>市内の中学3年生を対象に、土曜日の午前中に、対面、オンライン授業で実施した。</p> <p>授業科目：英語（対面） 数学（オンライン）</p> <p>授業回数：11回 参加人数：74名（延べ）</p> <p>○地域未来塾</p> <p>市内の中学3年生を対象に、水曜日の放課後に、新潟大学と佐渡出身の大学生を講師に招き、オンライン授業で実施した。</p> <p>授業科目：英語 数学</p> <p>授業回数：20回 参加人数：121人（延べ）</p>			
		<p>成果</p> <p>学習機会の充実を図ったことにより、生徒の学習への意欲の向上につながった。</p>			

## 10款 教育費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																																																																																																										
5項 社会教育費 1目 社会教育総務費	地域文化クラブ活動推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																																																																																							
		907, 148円	440, 619円	466, 529円	(地域文化クラブ) P286																																																																																																							
		5, 737, 289円	3, 873, 725円	1, 863, 564円	(地域運動クラブ) P300																																																																																																							
6項 保健体育費 1目 保健体育総務費	地域運動クラブ活動推進事業	目的 少子化が進む中、将来にわたって子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実を図る。																																																																																																										
		取組内容・実績 令和5年度より本市では、学校の働き方改革と部活動の持続可能な形の実現を目的として、週末における部活動地域展開をスポーツ・文化を並行して段階的に実施してきた。 地域クラブ活動は、学校部活動にある種目に通年で取り組む「スキップ型」と、活動日ごとに様々な種目を選択して取り組める「エンジョイ型」の2形態で実施している。 令和5年度は月1回の開催で、スキップ型191名、エンジョイ型99名（延べ）、指導者116名が参加。 令和6年度は月2回・計21回へ拡充し、スキップ型245名、エンジョイ型264名（延べ）、指導者118名に増加した。																																																																																																										
		【令和6年度実施種目】																																																																																																										
		<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">スポーツ</th><th colspan="2">文化</th></tr><tr><th>種目</th><th>参加数</th><th>種目</th><th>参加数</th></tr><tr><td rowspan="6">スキップ型</td><td>野球</td><td>82 名</td><td>吹奏楽</td><td>7 名</td></tr><tr><td>バドミントン</td><td>19 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ソフトテニス</td><td>64 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>卓球</td><td>21 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>44 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>8 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="17">エンジョイ型</td><td>マリンスポーツ</td><td>17 名</td><td>競技かるた</td><td>14 名</td></tr><tr><td>トレッキング</td><td>5 名</td><td>美術</td><td>7 名</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>2 名</td><td>ギター</td><td>11 名</td></tr><tr><td>水泳</td><td>2 名</td><td>将棋</td><td>6 名</td></tr><tr><td>空手</td><td>4 名</td><td>民謡・三味線</td><td>4 名</td></tr><tr><td>スキー</td><td>29 名</td><td>写真</td><td>7 名</td></tr><tr><td>ダンス</td><td>6 名</td><td>プログラミング</td><td>6 名</td></tr><tr><td>陸上</td><td>6 名</td><td>裂き織り</td><td>16 名</td></tr><tr><td>自転車</td><td>4 名</td><td>英会話</td><td>12 名</td></tr><tr><td>ゴルフ</td><td>2 名</td><td>佐渡探究</td><td>6 名</td></tr><tr><td>剣道</td><td>1 名</td><td>華道</td><td>13 名</td></tr><tr><td>柔道</td><td>1 名</td><td>習字</td><td>2 名</td></tr><tr><td>体操</td><td>4 名</td><td>人形芝居</td><td>4 名</td></tr><tr><td>ボルダリング</td><td>12 名</td><td>茶道</td><td>23 名</td></tr><tr><td>硬式テニス</td><td>1 名</td><td>イラスト</td><td>18 名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>漫画</td><td>12 名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>吹奏楽(初級)</td><td>7 名</td></tr></table>					スポーツ		文化		種目	参加数	種目	参加数	スキップ型	野球	82 名	吹奏楽	7 名	バドミントン	19 名			ソフトテニス	64 名			卓球	21 名			バスケットボール	44 名			バレーボール	8 名			エンジョイ型	マリンスポーツ	17 名	競技かるた	14 名	トレッキング	5 名	美術	7 名	サッカー	2 名	ギター	11 名	水泳	2 名	将棋	6 名	空手	4 名	民謡・三味線	4 名	スキー	29 名	写真	7 名	ダンス	6 名	プログラミング	6 名	陸上	6 名	裂き織り	16 名	自転車	4 名	英会話	12 名	ゴルフ	2 名	佐渡探究	6 名	剣道	1 名	華道	13 名	柔道	1 名	習字	2 名	体操	4 名	人形芝居	4 名	ボルダリング	12 名	茶道	23 名	硬式テニス	1 名	イラスト	18 名			漫画	12 名			吹奏楽(初級)	7 名
	スポーツ		文化																																																																																																									
	種目	参加数	種目	参加数																																																																																																								
スキップ型	野球	82 名	吹奏楽	7 名																																																																																																								
	バドミントン	19 名																																																																																																										
	ソフトテニス	64 名																																																																																																										
	卓球	21 名																																																																																																										
	バスケットボール	44 名																																																																																																										
	バレーボール	8 名																																																																																																										
エンジョイ型	マリンスポーツ	17 名	競技かるた	14 名																																																																																																								
	トレッキング	5 名	美術	7 名																																																																																																								
	サッカー	2 名	ギター	11 名																																																																																																								
	水泳	2 名	将棋	6 名																																																																																																								
	空手	4 名	民謡・三味線	4 名																																																																																																								
	スキー	29 名	写真	7 名																																																																																																								
	ダンス	6 名	プログラミング	6 名																																																																																																								
	陸上	6 名	裂き織り	16 名																																																																																																								
	自転車	4 名	英会話	12 名																																																																																																								
	ゴルフ	2 名	佐渡探究	6 名																																																																																																								
	剣道	1 名	華道	13 名																																																																																																								
	柔道	1 名	習字	2 名																																																																																																								
	体操	4 名	人形芝居	4 名																																																																																																								
	ボルダリング	12 名	茶道	23 名																																																																																																								
	硬式テニス	1 名	イラスト	18 名																																																																																																								
			漫画	12 名																																																																																																								
			吹奏楽(初級)	7 名																																																																																																								
		成果 令和6年度には参加者が増加しており、地域クラブ活動が児童生徒や保護者に認知、定着しつつある。																																																																																																										

## 10款 教育費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
6項 保健体育費 1目 保健体育総務費	国際教育SEA事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		2, 281, 558円	（新規）	—	P300
		目的 スポーツに関する専門的な知識と技能を有する外国青年を招致し、学校や地域においてスポーツ指導や交流活動を行うことにより、児童生徒の国際的視野を広げ、地域全体での国際理解と交流の推進を図る。			
		取組内容・実績 スポーツ国際交流員（SEA）として、野球及びバドミントンの専門的指導者が8月に来島し、地域の子どもたちへの指導や交流活動を行った。			
		【スポーツ国際交流員（SEA）】 R7. 3. 31現在			
		名前		種目	出身国
		ソエトジョ サトリオ		バドミントン	インドネシア
		キャメロン マッキントッシュ		野球	アメリカ
		○佐渡市地域クラブ活動 部活動の地域展開として実施している佐渡市地域クラブ活動について、全会場へ訪問するとともに指導補助を延べ10回行った。			
		○中学校部活動 中学校の部活動では、指導補助の希望を受けた一部学校へ訪問。野球では、両津・畑野・真野・南佐渡・赤泊において指導補助を延べ64回行った。バドミントンでは、高千・前浜・南佐渡で指導補助を延べ44回行った。			
○保育園訪問 公立保育園には各園3回ずつ訪問し延べ43回、英語を交えたゲームエクササイズを実施した。					
○自主企画 野球については、小学生を対象に自身で企画した野球教室を秋に4回、冬に14回、年度末に2回実施し、延べ20回、170名が参加した。					
成果 本事業より、子どもたちはスポーツ国際交流員（SEA）との活動を通じて、英語に触れながら身体を動かす機会を得たことで、異文化への興味や親しみを感じるようになった。SEAによる専門的な指導は、普段とは異なる視点や技術にふれる貴重な機会となり、参加者の活動意欲や表現の幅が広がる様子も見られた。 また、自主企画の野球教室に参加した子どもの保護者からは、「好きな野球がもっと好きになったようだ。」「教えてもらった英語を家族に教えていた。」など満足した声が多くあり、スポーツを通じた国際交流の推進が図られた。					

【歳入】

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																								
(歳入)	社会教育施設の利用料金及び受講料の無償化	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																					
		—	—	—	(教育使用料) P21 (教育費雑入) P61																					
		目的 健康寿命日本一に向け、感染症や物価高騰等の影響により外出を控えている高齢者の健康維持・増進や親睦・交流、学習機会の増加を図る。																								
		取組内容・実績 社会教育施設を利活用していただくとともに、社会教育に関する講座等に参加していただく方策として、社会教育施設の利用料金及び講座等の受講料を無償化した。																								
		(1) 事業期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで																								
		(2) 無償化対象 65歳以上の佐渡市民（団体の場合は65歳以上の佐渡市民が2/3以上の団体）																								
		(3) 令和6年度無償化実績（ ）内数は前年度実績 【施設使用料】※社会教育施設（公民館等）、社会体育施設（体育館等）等																								
		<table><tr><th>分類</th><th>利用者数</th><th>無償化金額</th></tr><tr><td>社会教育施設</td><td>40,767名（37,874名）</td><td>2,668,898円（1,919,781円）</td></tr><tr><td>社会体育施設</td><td>18,176名（2,298名）</td><td>461,160円（128,180円）</td></tr><tr><td>博物館等</td><td>1,430名（1,613名）</td><td>504,500円（493,120円）</td></tr><tr><td>文化会館</td><td>230名（267名）</td><td>44,450円（43,600円）</td></tr><tr><td>合計</td><td>60,603名（42,052名）</td><td>3,679,008円（2,584,681円）</td></tr><tr><td>前年度比</td><td>+18,551名</td><td>+1,094,327円</td></tr></table>				分類	利用者数	無償化金額	社会教育施設	40,767名（37,874名）	2,668,898円（1,919,781円）	社会体育施設	18,176名（2,298名）	461,160円（128,180円）	博物館等	1,430名（1,613名）	504,500円（493,120円）	文化会館	230名（267名）	44,450円（43,600円）	合計	60,603名（42,052名）	3,679,008円（2,584,681円）	前年度比	+18,551名	+1,094,327円
		分類	利用者数	無償化金額																						
		社会教育施設	40,767名（37,874名）	2,668,898円（1,919,781円）																						
社会体育施設	18,176名（2,298名）	461,160円（128,180円）																								
博物館等	1,430名（1,613名）	504,500円（493,120円）																								
文化会館	230名（267名）	44,450円（43,600円）																								
合計	60,603名（42,052名）	3,679,008円（2,584,681円）																								
前年度比	+18,551名	+1,094,327円																								
【受講料】※市民大学講座、公民館講座等																										
<table><tr><th>分類</th><th>利用者数</th><th>無償化金額</th></tr><tr><td>講座受講料</td><td>879名（885名）</td><td>813,900円（805,000円）</td></tr><tr><td>合計</td><td>879名（885名）</td><td>813,900円（805,000円）</td></tr><tr><td>前年度比</td><td>▲6名</td><td>+8,900円</td></tr></table>				分類	利用者数	無償化金額	講座受講料	879名（885名）	813,900円（805,000円）	合計	879名（885名）	813,900円（805,000円）	前年度比	▲6名	+8,900円											
分類	利用者数	無償化金額																								
講座受講料	879名（885名）	813,900円（805,000円）																								
合計	879名（885名）	813,900円（805,000円）																								
前年度比	▲6名	+8,900円																								
成果 高齢者の活動を多方面から支援することができ、健幸ばいんと事業等と併せて健康寿命日本一の地域づくりに資することができた。																										



## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 農林水産施設 災害復旧費 1目 農地農業用施設 災害復旧費	農地単独災害 復旧事業	7,209,400円	28,000,600円	△20,791,200円	P306
		目的 令和6年能登半島地震及び令和6年度の豪雨により被災した農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧作業委託料(2件) 614,900円 ○災害応急復旧工事 (1件) 1,171,500円 ○農地農業用施設災害復旧事業補助金(29件) 5,423,000円			
		成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。			
	(繰明) 農地 単独災害復旧 事業	9,433,200円	—	—	P306
		目的 令和5年度の豪雨及び令和6年能登半島地震により被災した農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧工事 (2件) 4,985,200円 ○農地農業用施設災害復旧事業補助金(24件) 4,448,000円			
		成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。			
	令和6年災農 地・農業用施 設災害復旧事 業	90,552,800円	(新規)	—	P306
		目的 令和6年能登半島地震及び令和6年の豪雨により被災した農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○測量設計業務委託料 (8件) 36,921,500円 ○農地農業用施設災害復旧工事(15件) 53,631,300円			
		成果 被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。			

## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 農林水産施設 災害復旧費 1目 農地農業用施設 災害復旧費	(繰明) 令和 6年災農地・ 農業用施設災 害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		16,020,400円	—	—	P306
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震により被災した農地・農業用施設を復旧することにより、農業経営の安定化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○測量設計業務委託料(3件) 13,051,500円</p> <p>○災害応急復旧工事(5件) 2,968,900円</p>			
		<p>成果</p> <p>被災した農地農業用施設を早急に原型復旧することにより農業生産を維持し、農業経営の安定化の確保ができた。</p>			
1項 農林水産施設 災害復旧費 2目 林業施設災害 復旧費	林業施設単独 災害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		29,434,857円	23,141,800円	6,293,057円	P306
		<p>目的</p> <p>令和6年度の豪雨により被災した林業施設を復旧することにより、林業経営の安定化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○災害応急復旧作業委託料(45件) 13,643,587円</p> <p>○災害応急復旧工事(23件) 15,791,270円</p>			
		<p>成果</p> <p>被災した林業施設を早急に原型復旧することにより林業生産を維持し、林業経営の安定化の確保ができた。</p>			
	(繰明) 林業 施設単独災害 復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		8,320,400円	—	—	P306
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震により被災した林業施設を復旧することにより、林業経営の安定化を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○災害応急復旧作業委託料(27件) 8,320,400円</p>			
		<p>成果</p> <p>被災した林業施設を早急に原型復旧することにより林業生産を維持し、林業経営の安定化の確保ができた。</p>			

## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
1項 農林水産施設 災害復旧費 2目 林業施設災害 復旧費	令和6年災林 業施設災害復 旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		30,182,900円	(新規)	—	P306
		目的 令和6年能登半島地震及び令和6年の豪雨により被災した林業施設を復旧することにより、林業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○測量設計業務委託料 (5件) 10,285,000円 ○林業施設災害復旧工事(2件) 19,897,900円			
		成果 被災した林業施設を早急に原型復旧するため、国の災害査定から工事着手までを年内に行うことができた。			
	(繰明) 令和 5年災林業施 設災害復旧事 業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		11,517,000円	—	—	P306
		目的 令和6年能登半島地震により被災した林業施設を復旧することにより、林業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○測量設計業務委託料 (3件) 11,517,000円			
		成果 被災した林業施設を早急に原型復旧することにより林業生産を維持し、林業経営の安定化の確保のため、事前準備を進め融雪後早期に工事着手できた。			
1項 農林水産施設 災害復旧費 3目 漁港施設災害 復旧費	漁港施設単独 災害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		973,500円	0円	973,500円	P306
		目的 令和6年度中に冬季風浪等により被災した漁港施設を復旧することにより、漁業経営の安定化を図る。			
		取組内容・実績 ○災害応急復旧作業委託料 (2件) 973,500円			
		成果 被災した漁港施設を早急に原型復旧することにより漁業生産を維持し、漁業経営の安定化の確保ができた。			

11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 公共土木施設 災害復旧費 1目 土木施設災害 復旧費	土木施設単独 災害復旧事業	32,164,110円	67,894,590円	△35,730,480円	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震及び令和6年度の豪雨等により被災した道路・河川等の施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>被災規模や緊急度を勘案して復旧工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 30件（前年度27件） 21,432,730円</p> <p>&lt;道路災&gt; 4件（前年度3件） 3,883,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（水津2号線）</li> <li>・畑野地区（下日向線 ほか1件）</li> <li>・小木地区（強清水海岸線）</li> </ul> <p>&lt;河川災&gt; 1件（前年度0件） 110,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新穂地区（大野第一号排水路）</li> </ul> <p>&lt;応急工事&gt; 25件（前年度24件） 17,439,730円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（河崎幹線10号線 ほか2件）</li> <li>・佐和田地区（泉117号線）</li> <li>・新穂地区（瓜生屋田野沢21号線 ほか3件）</li> <li>・畑野地区（5区栗野江79号線 ほか7件）</li> <li>・真野地区（下黒山21号線 ほか2件）</li> <li>・小木地区（強清水海岸線）</li> <li>・羽茂地区（二枚田開拓線 ほか3件）</li> <li>・赤泊地区（徳和12号線）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路復旧工事等を行い円滑な交通と洪水に強い治水対策施設ができたことにより市民への安全を確保することができた。</p>			

11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 公共土木施設 災害復旧費 1目 土木施設災害 復旧費	(繰明) 土木 施設単独災害 復旧事業	55,690,800円	—	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和5年度の豪雨及び令和6年能登半島地震等により被災した道路の施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>被災規模や緊急度を勘案して復旧工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 工事請負費 62件 51,451,400円</p> <p>&lt;道路災&gt; 53件 43,430,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区(夷22号線 ほかに11件)</li> <li>・相川地区(北狄51号線 ほかに6件)</li> <li>・佐和田地区(泉117号線 ほかに2件)</li> <li>・金井地区(金井7号線 ほかに8件)</li> <li>・新穂地区(潟上132号線 ほかに2件)</li> <li>・畑野地区(3区三宮3号線 ほかに6件)</li> <li>・真野地区(浜中31号線 ほかに5件)</li> <li>・小木地区(浜町線 ほかに4件)</li> <li>・赤泊地区(莚場43号線)</li> </ul> <p>&lt;応急工事&gt; 9件 8,021,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区(海府幹線2号線 ほかに1件)</li> <li>・佐和田地区(泉117号線)</li> <li>・畑野地区(5区栗野江5号線 ほかに2件)</li> <li>・真野地区(笹川44号線 ほかに2件)</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路復旧工事等を行い円滑な交通ができたことにより市民への安全を確保することができた。</p>			

11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 公共土木施設 災害復旧費 1目 土木施設災害 復旧費	令和6年災公共土木施設災害復旧事業	156,300,530円	(新規)	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震及び令和6年の豪雨により被災した道路施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>災害査定後、早急に災害復旧工事を実施した。</p> <p>◎発注件数 10件 127,187,700円</p> <p>&lt;道路災&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両津地区（虫崎4号線 ほか4件）</li> <li>・相川地区（関9号線 ほか1件）</li> <li>・羽茂地区（二枚田開拓線 ほか1件）</li> <li>・赤泊地区（徳和12号線）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路復旧工事等を行い円滑な交通ができたことにより市民への安全を確保することができた。</p>			
	(繰明) 令和6年災公共土木施設災害復旧事業	15,167,900円	—	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震により被災した道路施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>被災した箇所に対して、災害復旧事業を実施するため測量設計を実施した。</p> <p>◎発注件数 6件 15,167,900円</p> <p>&lt;道路災&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相川地区（関9号線 ほか5件）</li> </ul>			
		<p>成果</p> <p>道路復旧工事に必要な測量設計を実施し、迅速に災害査定を行うことにより、早期に災害復旧工事に取り組むことができた。</p>			

## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
2項 公共土木施設 災害復旧費 1目 土木施設災害 復旧費	令和6年災公 共土木施設 (都市公園) 災害復旧事業	1,302,400円	(新規)	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震により被災した都市公園施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>国庫負担金を活用する等、早急な復旧に取り組んだ。</p> <p>都市公園災 2件 1,302,400円 福浦公園 (工事2件)</p>			
		<p>成果</p> <p>復旧工事を実施し、施設利用者の安全性を確保することにより、安全・安心なまちづくりの推進に寄与した。</p>			
3項 厚生施設災害 復旧費 1目 衛生施設災害 復旧費	廃棄物処理施 設災害復旧事 業	590,059,138円	(新規)	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震の発生により、佐渡クリーンセンター1・2号炉ガス冷却塔が被災した。設備を復旧することで、安定的な一般廃棄物処理を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○ごみ処理手数料 (新潟市新田清掃センター) 91,010kg 1,183,130円 ○一般廃棄物運搬業務委託料(燃やすごみ) 11,289,168円 ○工事請負費(2件) 577,580,300円 佐渡クリーンセンター1・2号炉ガス冷却塔災害復旧工事 佐渡クリーンセンター路盤陥没復旧工事</p>			
		<p>成果</p> <p>被災した1・2号炉ガス冷却塔のうち、2号炉については令和6年12月中旬の工事完成により通常稼働となった。1号炉については繰越事業となり、工事完成は令和7年5月となる予定である。一般廃棄物処理について、支障なく最低限の対応を行うことができた。</p>			

11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
3項 厚生施設災害 復旧費 2目 民生施設災害 復旧費	(繰明) 温泉 施設災害復旧 事業	9,075,000円	—	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震による被災のため営業停止となった入浴施設について、復旧することにより、営業再開をし、継続した経営を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○畑野温泉松泉閣</p> <p>①機械室等災害復旧工事      3,190,000円</p> <p>②紅梅の湯災害復旧工事      5,885,000円</p>			
		<p>成果</p> <p>復旧することにより、営業を再開し、健康増進事業等の活動の場として寄与できた。</p>			
	(繰明) 保育 施設災害復旧 事業	2,139,490円	—	—	P308
		<p>目的</p> <p>令和6年能登半島地震で被災した施設を復旧することにより、安全な保育運営を図る。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>○保育施設災害復旧工事</p> <p>両津東保育園 遊戯室天井修繕工事      2,123,000円</p>			
		<p>成果</p> <p>被災した箇所を修繕したことにより、児童の安全と健やかな成長に寄与する保育環境を確保することができた。</p>			



## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
4項 その他公共施設・公用施設 災害復旧費 1目 その他公共施設・公用施設 災害復旧費	農村公園災害復旧事業	9,738,300円	(新規)	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した農村公園を復旧することにより、農村生活環境の充実を図る。			
		取組内容・実績 天神の杜農村公園ゲートボール場天井修繕工事 9,738,300円			
		成果 被災した農村公園を復旧したことにより、農村生活環境が確保され、住民の健康増進に寄与した。			
	(繰明) 農村公園災害復旧事業	1,969,000円	—	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した農村公園を復旧することにより、農村生活環境の充実を図る。			
		取組内容・実績 測量設計業務委託料（天神の杜農村公園ゲートボール場天井） 1,969,000円			
		成果 被災した農村公園を復旧したことにより、農村生活環境が確保され、住民の健康増進に寄与した。			
	(繰明) 駐車場施設災害復旧事業	984,500円	—	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した駐車場施設を復旧することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。			
		取組内容・実績 その他公共施設災 1件 984,500円 市営湊駐車場（工事1件）			
		成果 復旧工事を実施し、施設利用者の安全性を確保することにより、安全・安心なまちづくりの推進に寄与した。			

## 11款 災害復旧費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
4項 その他公共施設・公用施設 災害復旧費 1目 その他公共施設・公用施設 災害復旧費	(繰明) 観光施設災害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		14,710,300円	—	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した観光施設を復旧することにより、施設利用者の安全性を確保する。			
		取組内容・実績 ○観光施設災害復旧工事(4件) 14,710,300円 佐渡インフォメーションセンター災害復旧工事(建物部分) 佐渡インフォメーションセンター災害復旧工事(駐車場及び外構部分) サンライズ城が浜災害復旧工事 城の山展望台災害復旧工事			
		成果 被災した観光施設を早期に復旧することにより、施設利用者への影響を最小限に抑えることができた。			
5項 文教施設災害復旧費 1目 公立学校施設災害復旧費	(繰明) 令和6年災公立学校施設災害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		9,409,400円	—	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した学校施設を復旧することにより、学校教育活動の安全性を確保する。			
		取組内容・実績 ○学校施設災害復旧工事(3件) 9,409,400円 ・赤泊小学校施設復旧工事 2,919,400円 ・二宮小学校体育館外壁復旧工事 4,510,000円 ・新穂中学校縦樋復旧工事 1,980,000円			
		成果 学校施設の復旧により、学校教育活動の安全安心が確保できた。			
5項 文教施設災害復旧費 2目 社会教育施設災害復旧費	(繰明) 社会教育施設災害復旧事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		78,010,130円	—	—	P310
		目的 令和6年能登半島地震により被災した社会体育施設(両津総合体育館・佐渡スポーツハウス)を復旧することにより、市民の健康増進と体力増強の場を確保する。			
		取組内容・実績 ○災害復旧工事被害調査手数料(両津総合体育館1件) 72,930円 ○災害復旧工事(両津総合体育館2件、スポーツハウス2件) 77,937,200円			
		成果 被災した社会体育施設を復旧することにより、市民の健康増進と体力増強の場を提供できるようになった。			

12款 公債費

項・目	事業名	成 果 説 明（実 績 内 容）					
1項 公債費	○目的別地方債現在高及び元利償還状況						
2目 元金	(単位：千円)						
1項 公債費 2目 利子	区分	令和5年度 現在高	令和6年度 発行額	令和6年度元利償還金			令和6年度末 現在高
				元金	利子	計	
	総 務 債	488,423	26,900	22,724	1,462	24,186	492,599
	民 生 債	622,143	52,100	26,571	3,984	30,555	647,672
	衛 生 債	641,269	700	42,947	5,854	48,801	599,022
	農林水産業債	931,762	241,400	111,428	7,853	119,281	1,061,734
	商 工 債	2,430	0	803	20	823	1,627
	土 木 債	2,196,272	796,000	188,433	13,034	201,467	2,803,839
	消 防 債	224,628	16,500	23,448	258	23,706	217,680
	教 育 債	2,777,589	1,005,000	121,317	20,181	141,498	3,661,272
	辺地対策 事業債	5,899,685	1,342,300	976,833	9,722	986,555	6,265,152
	過疎対策 事業債	4,705,470	757,400	730,363	8,918	739,281	4,732,507
	合併特例債	18,295,763	1,121,100	3,051,252	86,164	3,137,416	16,365,611
	災害復旧債	376,997	348,100	57,517	567	58,084	667,580
	減税補てん債	16,567	0	9,712	21	9,733	6,855
	臨時財政 対策債	11,602,322	49,179	1,339,927	14,662	1,354,589	10,311,574
	減収補填債	65,948	0	3,861	39	3,900	62,087
	猶予特例債	0	0	0	0	0	0
	小 計	48,847,268	5,756,679	6,707,136	172,739	6,879,875	47,896,811
	一 時 借 入 金	0			87	87	0
	合 計	48,847,268	5,756,679	6,707,136	172,826	6,879,962	47,896,811
○地方債資金引受先別現在高							
(単位：千円)							
借入先		令和5年度 現在高	令和6年度 発行額	令和6年度 償還額	令和6年度末 現在高		
財 政 融 資 資 金		22,669,332	1,746,979	2,952,841	21,463,470		
旧 郵 政 公 社 資 金		49,235	0	26,009	23,226		
金 融 機 構 資 金		10,621,013	1,706,300	515,910	11,811,403		
銀 行 等 引 受 資 金		14,729,610	2,128,400	3,142,360	13,715,650		
共 済 等 引 受 資 金		778,078	175,000	70,016	883,062		
新 潟 県		0	0	0	0		
計		48,847,268	5,756,679	6,707,136	47,896,811		

## (7) 原油価格・物価高騰対策に関する成果（令和6年度分）

### 2款 総務費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 総務管理費 23目 定額減税補足 給付費	定額減税補足 給付金事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		395,935,302円	（新規）	—	P116
		取組内容・実績 ・定額減税補足給付金支給者数 9,575人 ・給付金額 384,090,000円			

### 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務 費	令和6年度物 価高騰支援給 付金給付事業 （原油価格・ 物価高騰対 策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		99,563,482円	（新規）	—	P132
		取組内容・実績 ・住民税非課税世帯支給世帯数 532世帯 ・住民税均等割のみ課税世帯支給世帯数 447世帯 ・給付金額 97,900,000円 ・支給額 1世帯あたり100,000円			
	物価高騰支援 給付金給付事 業（令和6年 度補正予算 分・原油価 格・物価高騰 対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		189,041,260円	（新規）	—	P132
		取組内容・実績 ・住民税非課税世帯支給世帯数 6,231世帯 ・給付金額 186,930,000円 ・支給額 1世帯あたり30,000円			
	冬季生活支援 事業（原油価 格・物価高騰 対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		31,155,000円	35,105,000円	△3,950,000円	P134
		取組内容・実績 ・支給世帯数 6,231世帯（前年度7,021世帯） ・支給額 1世帯あたり5,000円			
	令和6年度物 価高騰支援給 付金（子ども 加算）給付事 業（原油価 格・物価高騰 対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		7,968,575円	（新規）	—	P166
		取組内容・実績 物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯（住民税所得割が非課税世帯）に対して児童1人あたり5万円の給付金を給付。  給付実績 住民税非課税世帯 39世帯（児童数68人） 住民税均等割課税世帯 55世帯（児童数90人）			

10款 教育費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
6項 保健体育費 4目 学校給食費	学校給食費補助事業（原油価格・物価高騰対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		30,419,446円	(新規)	—	P306
		<p>取組内容・実績</p> <p>学校給食費を値上げせずにバランスや質を保った給食を提供するため、物価高騰に伴う食材の値上げ分に対する費用の補助を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象者：市内小中学校児童・生徒の保護者</li> <li>・1食当たりの補助額 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校児童 @49円</li> <li>中学校生徒 @55円</li> </ul> </li> <li>・補助金交付額実績 30,419,446円 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校児童 1,969名 18,939,131円</li> <li>中学校生徒 1,171名 11,480,315円</li> </ul> </li> </ul>			

# （８）原油価格・物価高騰対策に関する成果（令和５年度からの繰越分）

## 3款 民生費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費	（繰明）物価高騰支援給付金給付事業（原油価格・物価高騰対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		51, 040, 005円	—	—	P134
		取組内容・実績 ・住民税均等割のみ課税世帯支給世帯数 505世帯 ・給付金額 50, 500, 000円 ・支給額 1世帯あたり100, 000円			
	（繰明）みんなの暮らし応援事業（原油価格・物価高騰対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		58, 896, 595円	—	—	P134
		取組内容・実績 物価高騰対策として、令和5年12月1日現在に佐渡市内に住民票のある世帯のうち、「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」及び「冬季生活支援事業」の対象とならない世帯に対し、1世帯あたり5, 000円分の暮らし応援券を配布した。 利用期間は、令和6年3月1日から5月31日まで 配布世帯数 計画：15, 700世帯 実績：15, 476世帯 登録店舗数 480店舗			
2項 児童福祉費 6目 子育て支援費	（繰明）物価高騰支援給付金（子ども加算）給付事業（原油価格・物価高騰対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		17, 702, 765円	—	—	P166
		取組内容・実績 ・電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）に対して児童1人あたり5万円の給付金を給付。 給付実績 住民税非課税世帯 27世帯（児童数53人） ・物価高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯（住民税均等割のみ課税世帯等）に対して児童1人あたり5万円の給付金を給付。 給付実績 住民税均等割課税世帯 151世帯（児童数300人）			

## 6款 農林水産業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 農業費 3目 農業振興費	（繰明）農業資材等物価高騰対策支援事業（原油価格・物価高騰対策）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		42,473,056円	—	—	P204
		取組内容・実績 エネルギー・肥料など農業資材の価格が高騰しており、農業経営を圧迫しているほか、夏の猛暑における品質の低下などの影響により、さらに厳しい経営環境となっていることから、農業者の経済的負担を軽減するため、緊急的に支援した。 水稻 3,500円／10a 460件 39,622,800円 園芸 3,000円／10a 72件 2,285,850円 他、事務費 564,406円			

## 4 国民健康保険特別会計

成果説明（実績内容）						
R 6 決算額		R 5 決算額		増減	決算書	
5, 528, 828, 881円		5, 568, 370, 653円		△39, 541, 772円	P1	
取組内容・実績						
1. 一般状況						
(1) 世帯状況						
令和6年度末総数		国民健康保険加入状況				
		令和6年度末			令和6年度平均	
		加入状況	加入割合			
世帯総数	22, 406世帯	7, 670世帯	34. 23%	7, 832世帯		
総 人 口	47, 458人	11, 170人	23. 54%	11, 486人		
※総数は、住民基本台帳による。						
(2) 被保険者の状況						
		令和6年度末				
		年度末現在 被保険者数	(再掲) 未就学児	(再掲) 前期高齢者	(再掲) 70歳以上一般	(再掲) 70歳以上 現役並み所 得者
被 保 険 者 総 数		11, 170人	136人	5, 828人	3, 221人	100人
2. 保険税状況						
		調 定 額	収 入 済 額		徴 収 率	
現 年 度 分	一般被保険者分	892, 272千円	857, 775千円		96. 13%	
	退職被保険者等分	0千円	0千円		－	
	計	892, 272千円	857, 775千円		96. 13%	
滞納繰越分	一般被保険者分	131, 117千円	35, 828千円		27. 33%	
	退職被保険者等分	155千円	0千円		－	
	計	131, 272千円	35, 828千円		27. 29%	
合 計		1, 023, 544千円	893, 603千円		87. 30%	
3. 経理状況						
歳 入			歳 出			
費 目	収 入 済 額	構成比	費 目	支 出 済 額	構成比	
国民健康保険税	893, 603千円	15. 84%	総務費	78, 085千円	1. 41%	
国庫支出金	7, 550千円	0. 13%	保険給付費	4, 094, 105千円	74. 05%	
県支出金	4, 174, 794千円	74. 00%	国民健康保険事業費納付金	1, 261, 313千円	22. 81%	
一般会計繰入金	448, 010千円	7. 94%	保健事業費	63, 791千円	1. 16%	
基金繰入金	0千円	0. 00%	基金積立金	21千円	0. 0%	
繰越金	107, 712千円	1. 91%	諸支出金等	31, 514千円	0. 57%	
その他収入	10, 381千円	0. 18%				
合 計	5, 642, 050千円	100. 0%	合 計	5, 528, 829千円	100. 0%	
歳 入 歳 出 差 引 額					113, 221千円	

4款 保健事業費

項・目	事業名	成果説明 (実績内容)			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 特定健康診査等事業費 1目 特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業	30,334,849円	37,409,220円	△7,074,371円	P22
		<p>目的</p> <p>内臓脂肪の蓄積に着目した保健指導を行うことで、その要因となっている生活習慣の改善を促し、生活習慣病を予防する。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>40～74歳の国保加入者に所定の検査を行う特定健康診査を実施し、健診結果を速やかに対象者に通知。生活習慣の改善や医療機関への受診等が必要な者には適切な保健指導を行った。</p> <p>集団健診会場での特定健診受診者 4,246名            特定保健指導対象者 491名            早期介入保健指導37名            生活習慣病重症化予防事業116名            CKD（慢性腎臓病）対策事業123名</p>			
		<p>成果</p> <p>減塩や食事量などの適切な各種保健指導の実施により、行動変容につなげることができた。</p>			
2項 保健事業費 1目 保健衛生普及費	服薬情報通知事業	3,129,710円	1,816,046円	1,313,664円	P24
		<p>目的</p> <p>健康被害の防止・医療費適正化のため、重複服薬者や多剤服薬者、併用禁忌発生者に対して服薬情報を通知し、かかりつけ医やかかりつけ薬局において処方内容の見直しにつなげる。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>国民健康保険加入者で①に該当する者及び①に該当する者のうち②③のいずれかに該当する者に服薬情報通知を送付し、電話、又は特に心配される者には訪問により保健指導を実施した。</p> <p>①多剤服薬者（複数の医療機関から月14日以上の内服薬を6種類以上処方されている方）            ②重複服薬者（2医療機関以上から同一の成分・同一の作用の医薬品            ③併用禁忌発生者（飲み合わせに注意が必要な医薬品が処方されている方）</p> <p>国保加入者40～74歳の該当者150名に服薬情報通知を送付</p>			
		<p>成果</p> <p>服薬情報の通知により、一定の医療費削減効果と服薬状況が改善された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重複服薬改善者割合 71.4%</li> <li>・慎重投与改善者割合 15.2%</li> <li>・重複服薬削減割合 25.6%</li> <li>・慎重投与削減割合 11.4%</li> </ul>			



## 5 後期高齢者医療特別会計

成果説明（実績内容）			
R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
922, 431, 552円	834, 545, 105円	87, 886, 447円	P1

取組内容・実績

1. 一般状況

年度末人口	後期高齢者医療被保険者数	加入率
47, 458 人	12, 488 人	26. 31 %

2. 保険料状況

保険料収納額			
現年度(特別徴収)分(千円)	現年度(普通徴収)分(千円)	滞納繰越分(千円)	合 計(千円)
475, 378	181, 464	3, 030	659, 872

3. 経理状況

歳 入(千円)						合 計
科 目	保険料	手数料	他会計繰入金	その他収入	繰越金	
金 額	659, 872	91	263, 217	11, 858	3, 840	938, 878
構成比	70. 28 %	0. 01 %	28. 04 %	1. 26 %	0. 41 %	100 %

歳 出(千円)					合 計
科 目	一般管理費	徴収費	広域連合納付金	その他支出	
金 額	34, 174	3, 588	883, 064	1, 605	922, 431
構成比	3. 71 %	0. 39 %	95. 73 %	0. 17 %	100. 00 %

歳入歳出差引額(千円)	16, 447
-------------	---------

## 6 介護保険特別会計

### 2款 保険給付費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																																																									
1項 介護サービス等諸費～ 6項 その他諸費	介護サービス等諸費～審査支払手数料	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																																						
		7, 550, 537, 619円	7, 692, 618, 621円	△142, 081, 002円	P18																																																						
		目的 介護保険法の規定に基づき、市が保険者となり、被保険者が負担する保険料と国・県・市の公費負担を財源として、介護が必要となったときに、その状態に応じて必要となる介護サービスを利用者の選択により、総合的に給付を行う。																																																									
		取組内容・実績 1. 第1号被保険者数（令和7年3月31日現在） <table><tr><th>年齢区分</th><th>被保険者数</th></tr><tr><td>65歳以上75歳未満</td><td>8,018 人</td></tr><tr><td>75歳以上85歳未満</td><td>7,583 人</td></tr><tr><td>85歳以上</td><td>4,960 人</td></tr><tr><td>計</td><td>20,561 人</td></tr></table>				年齢区分	被保険者数	65歳以上75歳未満	8,018 人	75歳以上85歳未満	7,583 人	85歳以上	4,960 人	計	20,561 人																																												
		年齢区分	被保険者数																																																								
65歳以上75歳未満	8,018 人																																																										
75歳以上85歳未満	7,583 人																																																										
85歳以上	4,960 人																																																										
計	20,561 人																																																										
2. 要介護・要支援認定申請件数（令和6年4月～令和7年3月） <table><tr><th>区分</th><th>件数</th></tr><tr><td>新規申請</td><td>987 件</td></tr><tr><td>更新申請</td><td>2,283 件</td></tr><tr><td>変更申請</td><td>525 件</td></tr><tr><td>計</td><td>3,795 件</td></tr></table>				区分	件数	新規申請	987 件	更新申請	2,283 件	変更申請	525 件	計	3,795 件																																														
区分	件数																																																										
新規申請	987 件																																																										
更新申請	2,283 件																																																										
変更申請	525 件																																																										
計	3,795 件																																																										
		3. 要介護・要支援認定状況（令和7年3月31日現在）（単位：人） <table><tr><th>区分</th><th>要支援 1</th><th>要支援 2</th><th>要介護 1</th><th>要介護 2</th><th>要介護 3</th><th>要介護 4</th><th>要介護 5</th><th>計</th></tr><tr><td>第1号被保険者(A)</td><td>430</td><td>519</td><td>990</td><td>756</td><td>538</td><td>584</td><td>388</td><td>4,205</td></tr><tr><td>65歳以上75歳未満</td><td>34</td><td>41</td><td>81</td><td>67</td><td>53</td><td>46</td><td>30</td><td>352</td></tr><tr><td>75歳以上</td><td>396</td><td>478</td><td>909</td><td>689</td><td>485</td><td>538</td><td>358</td><td>3,853</td></tr><tr><td>第2号被保険者(B)</td><td>3</td><td>8</td><td>11</td><td>7</td><td>8</td><td>3</td><td>7</td><td>47</td></tr><tr><td>計(A) + (B)</td><td>433</td><td>527</td><td>1,001</td><td>763</td><td>546</td><td>587</td><td>395</td><td>4,252</td></tr></table>				区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	第1号被保険者(A)	430	519	990	756	538	584	388	4,205	65歳以上75歳未満	34	41	81	67	53	46	30	352	75歳以上	396	478	909	689	485	538	358	3,853	第2号被保険者(B)	3	8	11	7	8	3	7	47	計(A) + (B)	433	527	1,001	763	546	587	395	4,252
区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計																																																			
第1号被保険者(A)	430	519	990	756	538	584	388	4,205																																																			
65歳以上75歳未満	34	41	81	67	53	46	30	352																																																			
75歳以上	396	478	909	689	485	538	358	3,853																																																			
第2号被保険者(B)	3	8	11	7	8	3	7	47																																																			
計(A) + (B)	433	527	1,001	763	546	587	395	4,252																																																			
		4. 保険料の賦課徴収状況（第1号被保険者） (1) 所得段階区分別被保険者数（令和7年3月31日現在）（単位：人） <table><tr><th colspan="2">区分</th><th>被保険者数</th></tr><tr><td>第1段階</td><td>・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方</td><td>2,661</td></tr><tr><td>第2段階</td><td>・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方</td><td>2,390</td></tr><tr><td>第3段階</td><td>・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方</td><td>2,357</td></tr><tr><td>第4段階</td><td>・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方</td><td>1,641</td></tr></table>				区分		被保険者数	第1段階	・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	2,661	第2段階	・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	2,390	第3段階	・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	2,357	第4段階	・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	1,641																																							
区分		被保険者数																																																									
第1段階	・生活保護受給者、市民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者等 ・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	2,661																																																									
第2段階	・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	2,390																																																									
第3段階	・市民税世帯非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	2,357																																																									
第4段階	・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	1,641																																																									

第5段階	・世帯内に市民税課税者がいるが、本人は非課税で、かつ課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	3,688
第6段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が120万円未満の方	3,629
第7段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が120万円以上210万円未満の方	2,646
第8段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が210万円以上320万円未満の方	866
第9段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が320万円以上420万円未満の方	294
第10段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が420万円以上520万円未満の方	144
第11段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が520万円以上620万円未満の方	56
第12段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が620万円以上720万円未満の方	46
第13段階	・市民税本人課税で、合計所得金額が720万円以上の方	143
計		20,561

(2) 保険料賦課徴収状況

区分		調定額(円)	収入済額(円)	収納率
現年度分	特別徴収分	1,333,363,200円	1,333,363,200円	100.0%
	普通徴収分	100,798,400円	97,737,010円	97.0%
過年度分	滞納繰越分	13,077,020円	5,685,159円	43.5%
計		1,447,238,620円	1,436,785,369円	99.3%

5. 保険給付の状況

(1) 保険給付額（令和6年4月～令和7年3月審査分）

区分		保険給付費	件数	1件当たり給付費
介護・予防サービス等諸費	居宅介護(予防)サービス給付費	2,343,188,718円	48,950 件	47,869円
	介護(予防)地域密着型サービス給付費	1,471,456,791円	8,394 件	175,299円
	施設介護サービス給付費	2,878,058,769円	10,795 件	266,610円
	居宅介護(予防)福祉用具購入給付費	12,141,626円	335 件	36,244円
	居宅介護(予防)住宅改修給付	15,340,640円	140 件	109,576円
	居宅介護(予防)サービス計画給付費	354,704,546円	24,902 件	14,244円
	計	7,074,891,090円		
高額介護サービス等諸費		172,498,958円	15,278 件	11,291円
特定入所者介護サービス等費		280,304,789円	17,151 件	16,343円
高額医療合算介護サービス等諸費		17,824,292円	758 件	23,515円
その他諸費(審査支払手数料)		5,018,490円	92,935 件	
合計		7,550,537,619円		

(2) 介護サービス延べ受給者数（令和6年4月～令和7年3月審査分）

区分	居宅介護(予防)サービス受給者	地域密着型介護(予防)サービス受給者	施設介護サービス受給者	合計
第1号被保険者	26,889 人	8,245 人	10,647 人	45,781 人
第2号被保険者	449 人	50 人	35 人	534 人
計	27,338 人	8,295 人	10,682 人	46,315 人

成果

保険給付総額は、7,550,537,619円で、歳出総額の88.3%を占めている。要介護認定者数の減少により、昨年度の給付費総額7,692,618,621円と比較して、額で142,081,002円減少しているが、必要となるサービスを提供できた。

3款 地域支援事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・生活支援サービス事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		166, 919, 961円	161, 861, 043円	5, 058, 918円	P22
		目的 事業対象者及び要支援1・2の方に対して、訪問型・通所型サービス及び介護予防ケアマネジメントを提供し、要介護状態になることの予防・状態の軽減・悪化防止及び地域で自立した日常生活の実現を図る。			
		取組内容・実績 ① 訪問型サービス			
		サービス区分	内容	延べ利用者数	
		介護予防訪問介護相当(従前相当)	自立した生活ができるよう、ホームヘルパーによる生活支援を行う	2,130 人	
		サービスA(基準緩和)	人員・設備の基準を一部緩和した訪問介護サービスで生活支援サービスのみを行う	62 人	
		サービスC(短期集中)	保健師や栄養士が訪問し、介護予防に関する相談指導等を行う	0人	
		② 通所型サービス			
		サービス区分	内容	延べ利用者数	
		介護予防通所介護相当(従前相当)	デイサービスセンターで、食事・入浴などの基本的サービスや生活行為向上のための支援を行う	3,967 人	
		サービスA(基準緩和)	人員・設備の基準を一部緩和した通所介護サービス(半日のミニデイ)	311 人	
		サービスC(短期集中)	運動プログラム(器械使用)	957 人	
			運動・栄養・口腔プログラム(複合型)	324 人	
			小計	1,281 人	
		③ 介護予防ケアマネジメント 介護予防及び日常生活支援を目的として、要支援者が心身の状況・環境に応じてその状態にあった適切なサービスが受けられるよう支援した。			
		ケアマネジメントA			
成果 要支援者が適切な介護予防プランによりサービスを受けることで、要介護状態への悪化を防止し、住み慣れた地域で引き続き生活するための支援をすることができた。					

## 3款 地域支援事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 介護予防・日常生活支援総合事業費	一般介護予防事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		48,647,071円	42,799,428円	5,847,643円	P22
		目的 住民主体の介護予防活動の育成及び支援を行うことで、地域の高齢者が人と人のつながりを実感でき、通いの場が継続的に拡大するような地域づくりを推進するとともに、リハビリ専門職等を活かした自立支援に向けた取組を推進し、高齢者が要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できるよう各種事業を実施する。			
		取組内容・実績 ○ 介護予防把握事業 包括支援センター・ランチなどが高齢者宅を訪問し、基本チェックリストの実施や生活状況を確認・把握し、関係機関と連携を図り、要支援者の早期発見・介護予防につなげた。			
		実態把握実施者数(訪問者数)		1,914 人	
		うちチェックリスト該当者(要支援者数)		783 人	
		○ 介護予防普及啓発事業 地域の高齢者が介護予防に向けた取組を主体的に行えるよう、市内各地で各種教室を実施し、参加者へ健幸ばいんとを付与することで、介護予防教室参加の動機付けを行った。			
		事業	開催回数	延べ人数	
委託	介護予防教室	佐渡市社会福祉協議会	779 回	8,197 人	
		佐渡ふれあい福祉会	143 回	658 人	
		えんや健康くらぶ	223 回	1,485 人	
		えんや健康くらぶ(運動)	247 回	5,981 人	
		元気×2トキめきクラブ	184 回	2,743 人	
		佐渡スポーツ推進委員協議会	23 回	155 人	
		佐渡市スポーツ協会	176 回	2,555 人	
		南佐渡地域医療センター	35 回	215 人	
		サードフィールドさど(太鼓)	83 回	779 人	
		アイマーク環境(旧・佐渡健康アシスト)	24 回	243 人	
		社会福祉協議会(生きがいデイ)	37 回	217 人	
		小計	1,954 回	23,228 人	
		出前教室	サードフィールドさど(太鼓)	3 回	38 人
	第一興商(音楽健康教室)		17 回	183 人	
	えんや健康くらぶ		13 回	132 人	
	スポーツ協会		1 回	15 人	
	小計		34 回	368 人	
	委託 計		1,988 回	23,596 人	
	直営	地区健康学習会		145 回	1,309 人
		健康教育		188 回	1,781 人
健康相談		56 回	125 人		
認知症予防教室(えびすの会)		12 回	93 人		
しゃきつと教室(脳の健康教室)		144 回	1,179 人		
しゃきつと教室事業評価		12 回	92 人		

		直営 計		557 回	4,579 人
		自主	しゃきっと教室自主グループ活動	45 回	611 人
		合計		2,590 回	28,786 人
		○ 地域介護予防活動支援事業			
		介護予防教室や地域の茶の間の実施にあたり、担い手となる人材の育成のための研修などを行った。			
		事業		開催回数	延べ人数
		自主活動組織支援(地区組合育成・支援事業)		11 回	172 人
		太鼓サポーター育成教室		24 回	259 人
		脳の健康教室学習サポーター養成研修		8 回	56 人
		サポーター養成講座		1 回	7 人
合計		44 回	494 人		
成果					
高齢者の社会参加を促し、健康寿命の延伸につなげるとともに、地域において自立した生活を営むことができるよう支援ができた。					
2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業・任意事業費	任意事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		53, 231, 338円	56, 383, 828円	△3, 152, 490円	P24
		目的			
		地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行う。			
		取組内容・実績			
		① 家族介護支援事業			
		要介護被保険者の状態の維持・改善を目的として、適切な介護知識及び技術の習得並びに外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催するとともに、介護者の負担減のために介護用品を支給した。			
		家族介護教室		25 人	
		家族介護出前教室		10 人	
		介護用品支給事業		468 人	
② 住宅改修支援事業					
住宅改修費の支給申請にかかる理由書を作成した場合の経費の助成を行った。					
住宅改修支援事業補助金		13 人			
③ 成年後見制度利用支援事業					
認知症などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、成年後見制度を円滑に利用できるように支援を行った。					
成年後見制度利用支援事業助成金		84 人			
成年後見市長申立		4 人			

		<p>④ 配食サービス事業</p> <p>65歳以上の一人暮らし、高齢者のみ世帯又は身体障がい者で自立支援の観点からサービスの必要があると認められる方を対象にして、高齢者の食生活に配慮した食事を定期的に宅配するとともに安否確認を実施した。</p> <table><tr><td>配食サービス</td><td>331 人</td></tr></table>				配食サービス	331 人																		
配食サービス	331 人																								
		<p>成果</p> <p>高齢者の住み慣れた地域での生活の維持向上及び介護者の介護に対する不安の解消や介護負担の軽減に寄与した。</p>																							
2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業（地域包括支援センター運営）	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																				
		115, 711, 871円	108, 122, 153円	7, 589, 718円	P24																				
		<p>目的</p> <p>高齢者の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助・支援を行う地域の中核機関として、地域包括支援センターを設置し運営する。</p>																							
		<p>取組内容・実績</p> <p>① 相談・対応等件数</p> <table><tr><td></td><td>新規</td><td>継続</td><td>合計</td></tr><tr><td>介護予防ケアマネジメント</td><td>337 件</td><td>7, 425 件</td><td>7, 762 件</td></tr><tr><td>総合相談</td><td>1, 661 件</td><td>2, 271 件</td><td>3, 932 件</td></tr><tr><td>権利擁護</td><td>73 件</td><td>144 件</td><td>217 件</td></tr><tr><td>包括的・継続的ケアマネジメント</td><td>148 件</td><td>294 件</td><td>442 件</td></tr></table>					新規	継続	合計	介護予防ケアマネジメント	337 件	7, 425 件	7, 762 件	総合相談	1, 661 件	2, 271 件	3, 932 件	権利擁護	73 件	144 件	217 件	包括的・継続的ケアマネジメント	148 件	294 件	442 件
			新規	継続	合計																				
介護予防ケアマネジメント	337 件	7, 425 件	7, 762 件																						
総合相談	1, 661 件	2, 271 件	3, 932 件																						
権利擁護	73 件	144 件	217 件																						
包括的・継続的ケアマネジメント	148 件	294 件	442 件																						
<p>② 地域包括支援センター運営協議会の開催</p> <p>2 回</p>																									
		<p>成果</p> <p>市内4か所に地域包括支援センターを設置し、各種相談を幅広く受け付け、高齢者等の支援を行ったことにより、高齢者の福祉の向上につながった。</p>																							

## 3款 地域支援事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																		
2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業・任意事業費	在宅医療・介護連携推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書															
		5, 429, 528円	5, 066, 340円	363, 188円	P26															
		目的 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護の関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を目指す。																		
		取組内容・実績																		
		<table><tr><td>佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 通常総会・理事会</td><td>5 回開催</td></tr><tr><td>多職種連携研修会</td><td>3 回開催</td></tr><tr><td>『入退院調整ルール』にかかる検討会</td><td>1 回開催</td></tr><tr><td>「ゆいノート」出前講座</td><td>20 回開催</td></tr><tr><td>医療・介護連携推進センターの運営</td><td>1 カ所</td></tr></table>				佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 通常総会・理事会	5 回開催	多職種連携研修会	3 回開催	『入退院調整ルール』にかかる検討会	1 回開催	「ゆいノート」出前講座	20 回開催	医療・介護連携推進センターの運営	1 カ所					
		佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 通常総会・理事会	5 回開催																	
多職種連携研修会	3 回開催																			
『入退院調整ルール』にかかる検討会	1 回開催																			
「ゆいノート」出前講座	20 回開催																			
医療・介護連携推進センターの運営	1 カ所																			
成果 入退院時の連絡調整を円滑に行うためのルールについて、運用状況の実態調査を行うとともに検討会を実施したことにより、関係者の連携強化が図られた。 また、医療・介護関係者へ研修会を実施したことにより、多職種間の相互理解や情報共有が図られ、「顔の見える関係づくり」等のネットワーク化が図られた。																				
認知症総合支援事業		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書															
		941, 071円	830, 300円	110, 771円	P26															
		目的 「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に沿って、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、医療、介護等が連携するネットワークの構築を図るとともに、認知症への理解を深めるための普及・啓発等を推進する。																		
		取組内容・実績																		
		<table><tr><th>事業名</th><th>開催数</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>物忘れ相談会</td><td>32回開催</td><td>47 人</td></tr><tr><td>認知症カフェ</td><td>76回開催</td><td>692 人</td></tr><tr><td>認知症サポーター養成講座</td><td>31回開催</td><td>292 人</td></tr><tr><td>認知症初期集中支援チーム員会議</td><td>8回開催</td><td>－</td></tr></table>				事業名	開催数	参加人数	物忘れ相談会	32回開催	47 人	認知症カフェ	76回開催	692 人	認知症サポーター養成講座	31回開催	292 人	認知症初期集中支援チーム員会議	8回開催	－
		事業名	開催数	参加人数																
物忘れ相談会	32回開催	47 人																		
認知症カフェ	76回開催	692 人																		
認知症サポーター養成講座	31回開催	292 人																		
認知症初期集中支援チーム員会議	8回開催	－																		
成果 認知症について正しく理解し、認知症本人やその家族を支援するサポーターを育成したことにより、認知症になっても住み慣れた地域で生活していける環境づくりに寄与した。																				



3款 地域支援事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）											
2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業・任意事業費	生活支援体制整備事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書								
		43, 879, 770円	33, 049, 829円	10, 829, 941円	P26								
		目的 医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加を促し、各地域の特性に寄り添った支え合いを推進する。											
		取組内容・実績 ・協議体、各種講座の開催 生活支援コーディネーターを8名（1層2名、2層6名）配置し、地域の課題・ニーズ、資源把握及び広報活動等を実施した。多様な主体のネットワークの構築を図るための協議体を開催するとともに、出前講座等で支え合いの意識啓発を行い、担い手養成講座で生活支援等の担い手の養成を図った。											
		<table><tr><td>支え合い地域づくり講座</td><td>19 回開催</td></tr><tr><td>第1層協議体</td><td>2 回開催</td></tr><tr><td>第2層協議体</td><td>7 回開催</td></tr><tr><td>担い手養成講座等</td><td>6 回開催</td></tr><tr><td>出前講座（講話・ワークショップ等）</td><td>47 回開催</td></tr></table>				支え合い地域づくり講座	19 回開催	第1層協議体	2 回開催	第2層協議体	7 回開催	担い手養成講座等	6 回開催
支え合い地域づくり講座	19 回開催												
第1層協議体	2 回開催												
第2層協議体	7 回開催												
担い手養成講座等	6 回開催												
出前講座（講話・ワークショップ等）	47 回開催												
		・常設の居場所「ほっとてらす」の開設 生活支援コーディネーターの事務所を活用し、誰もが立ち寄れる常設の居場所を開設した。											
		成果 民間企業と連携した移動販売により、買い物・移動に困難を抱える高齢者の日常生活支援につながった。また、移動販売運行を契機として地域の居場所づくりが広がった。 佐渡全域を対象として居場所づくり勉強会を行い、居場所の開設や有償ボランティアの立ち上げ支援を行い、新たな居場所やボランティアの創出につながった。 また、常設の居場所「ほっとてらす」の開設により、子どもから高齢者まで様々な世代の方が集う場となっている。											

## 3款 地域支援事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）											
2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業・任意事業費	地域ケア会議 推進事業	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書								
		610, 497円	526, 800円	83, 697円	P26								
		目的 高齢者等の地域の人々や介護支援専門員等の専門職の声を地域包括ケアの推進に活かし、地域の実態に合致した地域包括ケアシステムを構築するために、個別ケースの支援内容の検討、また、個別ケースの検討より抽出された地域課題を地域ケア会議で情報共有するとともに課題解決に向けた検討を行い、地域づくり、資源開発並びに政策形成につなげる。											
		取組内容・実績 <table><tr><td>地域包括ケア会議</td><td>3 回開催</td></tr><tr><td>担当圏域包括ケア会議</td><td>8 回開催</td></tr><tr><td>地域ケア個別会議</td><td>12 回開催</td></tr><tr><td>介護予防のための地域ケア個別会議</td><td>10 回開催</td></tr></table>				地域包括ケア会議	3 回開催	担当圏域包括ケア会議	8 回開催	地域ケア個別会議	12 回開催	介護予防のための地域ケア個別会議	10 回開催
		地域包括ケア会議	3 回開催										
担当圏域包括ケア会議	8 回開催												
地域ケア個別会議	12 回開催												
介護予防のための地域ケア個別会議	10 回開催												
成果 高齢者の支援にかかる課題について、地域包括支援センター及び関係する専門機関が情報共有を行うとともに課題解決に向けた検討を行ったことにより、悩みを抱える当事者家族や地域への適切な支援につながった。													

## 7 小水力発電特別会計

### 1款 農林水産事業費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
		R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
1項 農業費 1目 発電事業費	小水力発電事業	37,091,292円	23,729,159円	13,362,133円	P1
		<p>目的</p> <p>既存の農業水利施設（小倉ダム）が有する包蔵水力と未利用落差を活用した小水力発電事業を行う。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>年間発電量：991,407kwh</p> <p>○発電施設修繕積立金 1,815,000円</p> <p>○発電施設更新積立金 6,420,000円</p> <p>○一般会計繰出金 24,898,773円</p> <p>・発電施設整備費返済金 9,250,000円</p> <p>・土地改良施設維持管理管理費充当 15,648,773円</p>			
		<p>成果</p> <p>土地改良施設の維持管理費の節減及び温室効果ガス排出抑制を図った。</p> <p>売電料収入：991,407kwh×37.4円÷37,078,618円</p> <p>（前年度：634,446kWh×37.4円÷23,728,277円）</p>			

## 8 歌代の里特別会計

### 1款 特別養護老人ホーム費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）															
1項 施設費 1目 一般管理費	人件費・一般管理費  一般管理費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書												
		168, 412, 186円	340, 686, 179円	△172, 273, 993円	P10												
		26, 599, 751円	52, 529, 493円	△25, 929, 742円	P10												
		目的 職員の資質向上と入所者が安全で快適な生活が営めるよう施設の維持管理に努める。 令和6年9月1日開設の民間移行に伴う新施設に、入所者が安心・安全に引き継ぐことができるように施設全体で取り組む。															
		取組内容・実績 定員：介護老人福祉施設 105人 短期入所生活介護施設 7人 職員数：4/1現在 76人（正規職員30人、会計年度任用職員46人） 9/1現在 42人（正規職員27人、会計年度任用職員15人） ＜施設費＞ ○診療業務委託料、施設維持管理委託料等															
成果 施設内研修に重点を置き研さんに努めることで、介護技術向上につながった。 新施設に入所者を安心・安全に引き継ぐことができた。																	
2項 介護サービス費 1目 介護サービス費	介護サービス費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書												
		21, 499, 679円	55, 981, 892円	△34, 482, 213円	P12												
		目的 利用者の処遇を向上し、医学健康管理の充実、残存能力の維持及び医療・介護の連携を図る。															
		取組内容・実績 ＜介護サービス費＞（ ）内数は前年度実績 ○介護サービス費 賄材料費、介護消耗品費、物品賃借料等 ○介護老人福祉施設 令和6年度：8/31現在 85人（88人） <table><tr><td colspan="2">要介護度別人数</td></tr><tr><td>要介護1</td><td>1人（1人）</td></tr><tr><td>要介護2</td><td>1人（1人）</td></tr><tr><td>要介護3</td><td>5人（7人）</td></tr><tr><td>要介護4</td><td>58人（51人）</td></tr><tr><td>要介護5</td><td>20人（28人）</td></tr></table> 平均介護度 4.12（4.18） ○短期入所生活介護施設 令和6年度：8/31現在 0人（9人）				要介護度別人数		要介護1	1人（1人）	要介護2	1人（1人）	要介護3	5人（7人）	要介護4	58人（51人）	要介護5	20人（28人）
		要介護度別人数															
要介護1	1人（1人）																
要介護2	1人（1人）																
要介護3	5人（7人）																
要介護4	58人（51人）																
要介護5	20人（28人）																
成果 老人福祉法に基づき、入所者の人格を尊重し、明るく楽しく健康で生きがいを持って、家庭的な雰囲気の中で可能な限り自立した生活を提供できた。																	

## 9 すこやか両津特別会計

### 1款 介護老人保健施設費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）			
1項 施設費 1目 一般管理費	人件費・一般管理費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書
		405,852,132円	341,731,778円	64,120,354円	P10
	一般管理費	112,693,919円	116,536,708円	△3,842,789円	P10
		<p>目的</p> <p>入所者が安全で快適な生活を営むことができるよう施設の維持管理に努める。</p>			
		<p>取組内容・実績</p> <p>入所者の安全で充実した施設での生活を支援するため、消毒等の感染症対策を徹底し、施設行事等の運営を行った。また、オンライン面会を行い、家族が遠隔地に住んでいても交流が図られるよう支援した。</p> <p>入所者が安全で快適な生活を営めるよう、施設の維持管理を行った。</p> <p>定員：介護老人保健施設 90人 通所リハビリテーション 8人</p> <p>職員数：4/1現在 66人（正規職員32人、会計年度任用職員34人） 10/1現在 86人（正規職員48人、会計年度任用職員38人）</p> <p>&lt;施設費&gt;</p> <p>○一般管理費</p> <p>消耗品費、光熱水費、施設維持管理委託料等</p>			
		<p>成果</p> <p>消毒等の感染症対策を徹底した施設行事等の運営や、オンライン面会を通じて遠隔地に住む家族との交流を図ったことにより、入所者の安全で充実した生活の確保につながった。</p>			

1款 介護老人保健施設費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）																																					
2項 介護サービス費 1目 介護サービス費	介護サービス費	R 6 決算額	R 5 決算額	増減	決算書																																		
		36, 525, 283円	40, 289, 189円	△3, 763, 906円	P12																																		
		目的 ひとりでも多くの在宅介護で困っている要介護者、家族に安定したサービスを提供し、要介護者の在宅復帰を目指す。																																					
		取組内容・実績 ＜介護サービス費＞ 介護消耗品、医薬材料、薬品管理委託、物品賃借料等 〔年度末入所者数（令和7年3月末現在）〕（ ）内数は前年度実績 ○介護老人保健施設（一般・短期入所）																																					
		<table><tr><td>介護度別人数</td><td>一般入所</td><td>短期入所</td><td>計</td></tr><tr><td>要介護1</td><td>16人（15人）</td><td>0人（0人）</td><td>16人（15人）</td></tr><tr><td>要介護2</td><td>19人（18人）</td><td>2人（2人）</td><td>21人（20人）</td></tr><tr><td>要介護3</td><td>17人（17人）</td><td>2人（1人）</td><td>19人（18人）</td></tr><tr><td>要介護4</td><td>7人（8人）</td><td>0人（2人）</td><td>7人（10人）</td></tr><tr><td>要介護5</td><td>5人（5人）</td><td>0人（0人）</td><td>5人（5人）</td></tr><tr><td>計</td><td>64人（63人）</td><td>4人（5人）</td><td>68人（68人）</td></tr></table>				介護度別人数	一般入所	短期入所	計	要介護1	16人（15人）	0人（0人）	16人（15人）	要介護2	19人（18人）	2人（2人）	21人（20人）	要介護3	17人（17人）	2人（1人）	19人（18人）	要介護4	7人（8人）	0人（2人）	7人（10人）	要介護5	5人（5人）	0人（0人）	5人（5人）	計	64人（63人）	4人（5人）	68人（68人）						
		介護度別人数	一般入所	短期入所	計																																		
		要介護1	16人（15人）	0人（0人）	16人（15人）																																		
		要介護2	19人（18人）	2人（2人）	21人（20人）																																		
		要介護3	17人（17人）	2人（1人）	19人（18人）																																		
		要介護4	7人（8人）	0人（2人）	7人（10人）																																		
要介護5	5人（5人）	0人（0人）	5人（5人）																																				
計	64人（63人）	4人（5人）	68人（68人）																																				
平均介護度 2.47（前年度2.56）																																							
○通所リハビリテーション （介護予防通所リハビリを含む） （3月利用延べ人数）																																							
○訪問リハビリテーション （介護予防訪問リハビリを含む） （3月利用延べ人数）																																							
<table><tr><td>介護度別人数</td><td>通所リハビリ</td><td>介護度別人数</td><td>訪問リハビリ</td></tr><tr><td>要支援1</td><td>3人（14人）</td><td>要支援1</td><td>8人（26人）</td></tr><tr><td>要支援2</td><td>41人（31人）</td><td>要支援2</td><td>50人（28人）</td></tr><tr><td>要介護1</td><td>22人（44人）</td><td>要介護1</td><td>62人（46人）</td></tr><tr><td>要介護2</td><td>85人（55人）</td><td>要介護2</td><td>49人（74人）</td></tr><tr><td>要介護3</td><td>20人（30人）</td><td>要介護3</td><td>42人（6人）</td></tr><tr><td>要介護4</td><td>8人（6人）</td><td>要介護4</td><td>10人（28人）</td></tr><tr><td>要介護5</td><td>0人（0人）</td><td>要介護5</td><td>26人（16人）</td></tr><tr><td>計</td><td>179人（180人）</td><td>計</td><td>247人（224人）</td></tr></table>				介護度別人数	通所リハビリ	介護度別人数	訪問リハビリ	要支援1	3人（14人）	要支援1	8人（26人）	要支援2	41人（31人）	要支援2	50人（28人）	要介護1	22人（44人）	要介護1	62人（46人）	要介護2	85人（55人）	要介護2	49人（74人）	要介護3	20人（30人）	要介護3	42人（6人）	要介護4	8人（6人）	要介護4	10人（28人）	要介護5	0人（0人）	要介護5	26人（16人）	計	179人（180人）	計	247人（224人）
介護度別人数	通所リハビリ	介護度別人数	訪問リハビリ																																				
要支援1	3人（14人）	要支援1	8人（26人）																																				
要支援2	41人（31人）	要支援2	50人（28人）																																				
要介護1	22人（44人）	要介護1	62人（46人）																																				
要介護2	85人（55人）	要介護2	49人（74人）																																				
要介護3	20人（30人）	要介護3	42人（6人）																																				
要介護4	8人（6人）	要介護4	10人（28人）																																				
要介護5	0人（0人）	要介護5	26人（16人）																																				
計	179人（180人）	計	247人（224人）																																				
平均介護度 1.68（前年度1.58）平均介護度 1.93（前年度1.89）																																							

	<p>○居宅介護支援事業所 (ケアプラン作成料、介護予防ケアマネジメント業務委託) (3月実績)</p> <table border="1"> <tr> <th>介護度別人数</th><th>居宅介護支援事業</th></tr> <tr> <td>要支援1</td><td>4人 (3人)</td></tr> <tr> <td>要支援2</td><td>2人 (3人)</td></tr> <tr> <td>要介護1</td><td>8人 (16人)</td></tr> <tr> <td>要介護2</td><td>16人 (13人)</td></tr> <tr> <td>要介護3</td><td>6人 (10人)</td></tr> <tr> <td>要介護4</td><td>6人 (5人)</td></tr> <tr> <td>要介護5</td><td>3人 (2人)</td></tr> <tr> <td>計</td><td>45人 (52人)</td></tr> </table> <p>平均介護度 2.21 (前年度2.00)</p> <p>成果 質の高いケアサービスを提供することができ、利用者の機能回復につながった。</p>	介護度別人数	居宅介護支援事業	要支援1	4人 (3人)	要支援2	2人 (3人)	要介護1	8人 (16人)	要介護2	16人 (13人)	要介護3	6人 (10人)	要介護4	6人 (5人)	要介護5	3人 (2人)	計	45人 (52人)
介護度別人数	居宅介護支援事業																		
要支援1	4人 (3人)																		
要支援2	2人 (3人)																		
要介護1	8人 (16人)																		
要介護2	16人 (13人)																		
要介護3	6人 (10人)																		
要介護4	6人 (5人)																		
要介護5	3人 (2人)																		
計	45人 (52人)																		

## 2款 公債費

項・目	事業名	成果説明（実績内容）					
1項 公債費 1目 元金  1項 公債費 2目 利子	公債費元金    公債費利子	R 6 決算額	R 5 決算額	増減			決算書
		2, 806, 287円	43, 095, 271円	△40, 288, 984円			P14
		40, 595円	962, 221円	△921, 626円			P14
		取組内容・実績					
	(単位：千円)						
	区分	令和5年度 末現在高	令和6年度 発行額	令和6年度元利償還額			令和6年度 末現在高
				元金	利子	計	
	介護サービス施設整備事業債	22, 417	0	2, 581	28	2, 609	19, 836
	辺地対策事業債	4, 100	0	225	13	238	3, 875
合計	26, 517	0	2, 806	41	2, 847	23, 711	